岡三慶著

岡氏之支那文典

下

柳田文庫
文庫11
A1537
2

歇止詞ノ雜例

則吾不知也、○是地利不如人和也、○戰必勝矣、○是亦不屑去已、○反求諸己而已矣、○可以保民乎哉、○豈能獨樂哉、○惟見利而不聞義焉

岡氏之支那文典巻之下

辞學篇

第五段　歇止詞

首節　歇止詞 舊名歇語辞 又舊俗名置字

歇止詞ハ何ソ、

三二六。歇止詞即チ置キ字ハ、則チ一語ノ尾即チ一句ノ尾ニ押ス、以テ其句ノ辞勢ヲ歇メ止ル所ノ者也、

歇止詞ノ大畧ハ何ニ属ス可キ辞ナルヤ、

三二七。其十ノ八九ハ宜ク助動詞ニ属スヘキ者也、何ナレハ常ニ多ク動詞ヲ助ルヲ爲セハ也、

然ラハ則チ何ヲ以テ之ヲ助動詞ニ属セス、而ルニ分チ一個ノ種属ト爲スヤ、

文庫11
A1537
2

耳、○可謂遠也而已矣、

斷歇詞ノ例

東都固士大夫之冀北也、動詞、此文王之勇也、動詞、○避水火

三二八●其故二有リ、此詞ヤハ、一ハ則チ往々動詞ト其作用ヲ同クスル者有ルカ故也、一ハ則チ其形質大ニ夫ノ動詞及ニ助動詞ト異ニスルカ故也、

歇止詞ヲ分ケ、以テ幾許ト爲スヤ、

三二九●分チ以テ斷歇詞不斷歇詞問疑歇詞撲滅歇詞指示歇詞ノ五ト爲ス也、

二節　斷歇詞

斷歇詞ヲ教誨セヨ、

三三〇●凡ソ文章ニ於テ、一句斷言スルノ時ニ當リ、其語尾即チ句尾ニ押ムニ一ノ辞ヲ以シ、而シテ其語氣ヲ歇止シ以テ其斷定ノ意ヲ示ス者、之ヲ斷歇詞ト謂フ、其概ハ則チ左圖ノ如シ、

也、助動詞、是動天下之兵也、助、○子言則然矣、宰相知子矣、助、○愚者雖讀此不曉也、助、不作可焉、動、○唐之末路是已、動、○此中庸之義疏爾、動、○蓋尋常尺寸之間耳、動、○曰朕故人嚴子陵共臥耳、○孟軻氏而止耳、揚雄氏而止耳、而止耳ハ而已耳ト同シ、○爲

斷歇詞ノ圖

也デアリマス●ゴザリマス孟軻騶人也、騶人デアリマス●動詞、其久也、久クゴザリマス●助動詞、矣同上之四方者、幾千人矣、千人デアリマス●動詞、焉同上聯爲大卷、家有之焉、之ヲ所有シマス●助動詞、也矣同上夫デアリマスサテ〳〵●マスハア必子之言夫、言デアリマスサテ〳〵●動詞、惟我與爾有是夫、是レ有リマスハア●助動詞、已デゴサル此大惑已、惑ヒデゴザル●助動詞、爾同上バカリ司諫七品官爾、官デゴザル●動詞、獨盲於目爾、盲スルハカリデゴザル●助動詞、耳同上三子者三匹夫耳、匹夫デゴザル●動詞、弗爲耳、爲サヌノデゴザル●助動詞、而已同上亦觀其意之所嚮而已、觀ルバカリデゴザル●助動、而已耳同上乃一人而已耳、一人バカリデゴザル●動、焉已同上彼其始本焉已、始本バカリデゴザル●動、焉爾同上蓋其始焉爾、始メバカリデゴザル●動、也已同上

帝者七年矣、動、○始可與言詩也已矣、○亂臣割據、四分五裂、是伐之而已也、○滕王閣又無因而至焉矣、○其可哀也夫、○其勸耳矣、

不斷歇詞ノ例

其在斯人歟、其在斯人歟、斯人ニアリマセウヨ、●助、

可謂靈也已、可キバカリデゴザル、●助、耳矣同上無責耳矣、無キハカリデゴザル、●助、耳矣同上可謂備至耳矣、可キバカリデアリマス、●助、而已矣、バカリデアリマス●オリマス則山林而已矣、山林バカリデアリマス、●動詞、會計當而已矣、當リテオリマス、●助、也已矣同上亦各言其志也已矣、言フバカリデアリマス、●助、而已也同上是安之而已也、安スルバカリデアリマス、●助、已夫バカリサテモ〳〵古人之糟粕已夫、糟粕バカリサテ〳〵、●動、也夫デアリマスサテモ〳〵其命也夫、命デアリマスサテモ〳〵、●動詞、矣夫同上其足以爲大臣矣夫、足ルモノデアリマスサテモ〳〵、●助、

三節　不斷歇詞　舊名不了語

不斷歇詞ハ何如ソヤ、

三三一●不斷歇詞ノ作用ハ、大都斷歇詞ニ異ナラス、唯之ヲ斷スルニ不明了ナル口氣ヲ以テス、此レ之ヲ

○我得其正、其大人歟、大人デアリマセウヨ、●動、嗚呼此其所爲子房歟、所テアリマセウヨ、●助、○先覺者是賢乎、賢テアリマスヨ、必也射乎、射デアリマスヨ、●動、必也使無訟乎、シメマセウヨ、●助、○銘如是、可以示于今與後也歟、可キモノデアリマセウヨ、●助、憂々乎其難哉、ムヅカシクアリマス、●助、○其亦微矣

異ト爲ス耳、其レ宜マサニ左圖ヲ看ヨ、

不斷歇詞ノ圖

歟マスヨ●デアリマスヨ●デアリマセウヨ、從吾者其由歟、由デアリマセウヨ、●動詞、孝弟也者、其爲仁之本歟、本デアリマスヨ、●動、夫子之求之也、其諸異乎人之求之歟、求ルニチガヒマスヨ、●助動、也歟同上天將復興王氏也歟、興サントスルノデアリマセウヨ、●助動、乎デアリマスヨ●デアリマセウヨ●ナサレヨ、子曰其怒乎、怒デアリマスヨ、●動、知吾者其天乎、天デアリマスヨ、●動、辭、子曰毋以與爾鄰里鄉黨乎、與ヘナサレヨ、●助、矣乎マセウヨ、子曰已矣乎、ヤメマセウヨ、●助、哉マスヨ●マセウヨ●デアリマスヨ、子曰、沽之哉、沽之哉、ウリマスヨ、●助、子曰管仲之器小哉、小サクアリマスヨ、●助、硜々然小人哉、小人デアリマスヨ、●動、乎哉デアリマスヨ●マセウヅ、子貢方人、子曰、賜也賢乎哉、賢デアリマスヨ、●動、子曰、禮云禮云玉帛

哉、微デアリマス・助、○乎哉ナサレヨ吾知其必有合也、董生勉乎哉、勉メナサレヨ・助、

發問ニ用ル所ノ問疑歇詞例

此心之所以合於王

云乎哉、云ヒマセウゾ・助、矣哉デアリマスヨ雲亦雲怪矣哉怪デアリマスヨ・助、也哉デアリマスヨ嗚呼增亦人傑也哉、人傑デアリマスヨ・動詞、

四節　問疑歇詞

問疑歇詞トハ何ノ謂ソヤ、

三三二・或ハ問ヒヲ起スノ語尾即チ句尾ニ一ノ詞ヲ添ヘ押ミ以テ其發問ノ意ヲ顯ハシ、或ハ故意疑ヒヲ帶ヒ語ル所ノ語尾即チ句尾ニ一ノ詞ヲ押ミ、以テ其疑ヒ語ルノ意ヲ現ハス、夫レ此レ之ヲ問疑歇詞ト謂フ、

發問ヲ現ス爲ニ用ル所ノ問疑歇詞ハ如何ン、

三三三・此ハ則チ專ラ也、カ・ヤ・ソヤ）ナル辭ヲ用ヒ、哉同上乎同上ナル辞モ亦用フ、即チ其新之也、曰新之新ニシマセウ

者何也、○則疾視其長上之死而不救、如之何則可也、可ナルゾヤ・助、○曰王之所大欲可得聞歟、助○然則何時而樂邪、樂ミマスカ・助、○曰禮後乎、後テアリマスカ、○然則管仲知禮乎、知テオリマスカ・助、○然則禹之賢不及於堯與舜也歟、○可以爲有道之士乎哉、可キカ曰ク之ヲ新ニシマセウヨ）ノ句ノ也ノ字其故何哉ノ句ノ哉ノ字發七國之難者誰乎ノ句ノ乎ノ字等ノ如シ、且夫レ疑フテ問ヲ起ス者ハ、專ラ歟カ・ヤ・ゾヤ乎哉同上ノ両辞ヲ用フ、即チ求之歟抑與之歟ノ句ノ歟ノ字曰若寡人者可以保民乎哉ベキデアリマセウカヤ）ノ句ノ乎哉ノ字等ノ如シ、

疑ヒヲ帶ヒ語ル所ノ問疑歇詞ハ如何ン、

三三四・此ハ類多シ、乃チ左ノ概圖ノ如シ、

帶疑發問歇詞ノ圖

乎デアリマセウカ・マセウカ有二子之材而不流者、其惟賈生乎、賈生デアリマセウカ・動、矣乎マシタカ嗚呼仲以爲威公果能不用三子矣乎、爲シマシタカ・助、而已乎バカリカ笑曰子詩如是而已乎、子ガ詩ハコンナノバカリカ・助動、焉爾乎マシタカ子游爲武城宰、子曰、

モノデアリマスカ、○疇昔之夜飛鳴而過我者、非子也邪、子デハコサラヌカ、○功不至於百姓者、獨何欤、何等ノ故デアリマスゾ、

女得人焉爾乎、得マレタカ、●助、歟マセウカ子在陳曰、歸與歸與、皈リマセウカ、●助、邪マスカ●デアリマセウカ其餘仲能悉歟而去之邪、去リマスカ●デアリマセウカ●助、

嗚呼後之春秋、乱邪僭邪散邪、乱デアリマセウカ●僭デアリマセウカ●助、

哉マシタカ彼管仲者、何以死哉、シニマシタカ●助、

也邪マスカ汝其知也邪、其不知也邪、知リマセウカ●助、

五節　撲滅歌詞

撲滅歌詞ナル義ヲ釋ケヨ、

撲滅歌詞トハ、既ニ語リ去リシ一語意即チ一句意ヲ撲滅スル所ノ辭ヲ謂フ、

撲滅歌詞ヲ用ルニ大畧定リ有リヤ、

凡ソ其句頭ニ可ナル辭若クハ不亦ナル辭ヲ蒙ル所ノ句ニ於テ、『乎哉ノ字ヲ其尾ニ押ミ之ヲ撲

撲滅歌詞ノ例

得於所傳蓋如此、是可盡信乎、○可不鑑焉哉、○可不以是爲戒也乎、

又例

爲人謀而不忠乎、忠ハゴザラヌカ與朋友交而不信乎、信デハゴザラヌカ、○子曰、吾有知乎哉、知ルコトガアリマセウゾヤ無知也、

滅即チ打チ消スヲ以テ常程ト爲ス也、

可ノ字ヲ句頭ニ蒙ムル者ヲ撲滅スルヲ教ヘヨ、

三三七●慎ナル辭ヲ以テ、先ツ之ヲ撲滅シ可不慎ト云ヒレヲ、次ニ乎ナル辭ヲ以テ、復之ヲ撲滅シ可不慎乎ト言ヒ、以テ本ノ慎ナル意ニ還スガ如シ、

不亦ナル辭ノ撲滅法ヲ教ヘヨ、

三三八●亦樂ナル語ニ就テ之レヲ言ヘハ、不ナル辭ヲ以テ、先ツ之ヲ不亦樂ト撲滅シ、次ニ乎ナル辭ヲ以テ不亦樂乎ト撲滅セハ、則チ本ノ意ニ還ル也、

其他ヲ敎ヘヨ、

三三九●乎哉ナル辭ヲ以テ遠ト多シナル辭ヲ撲滅シ

三三五●撲滅歌詞ナル義ヲ釋ケヨ、

撲滅歌詞トハ、既ニ語リ去リシ一語意即チ一句意ヲ撲滅スル所ノ辭ヲ謂フ、

撲滅歌詞ヲ用ルニ大畧定リ有リヤ、

三三六●凡ソ其句頭ニ可ナル辭若クハ不亦ナル辭ヲ蒙ル所ノ句ニ於テ、『乎哉ノ字ヲ其尾ニ押ミ之ヲ撲

○不亦輕朝廷羞當代之士邪、○斯不亦威而不猛乎、○不亦君子乎、

遠乎哉（トホカラウゾヤ）多乎哉（オホカラウゾヤ）ト言ヘハ、則チ不遠也、不多也ト同意ナル語ト成ル也、乃チ論語ノ子曰仁遠乎哉我欲仁斯仁至矣ト、君子多乎哉不多也ノ両句ノ乎哉ノ如シ、

不斷問疑撲滅ノ三歇詞ハ皆其形質ヲ同クシ、而シテ其用ヲ異ニスルハ何ノ故ゾヤ、

三四〇、蓋斯三歇詞ノ本性ヲ言ヘハ、則チ昔人カ號シ置キ字ト云ヒシ如ク、常ニ他語ノ尾ニ押ミ、僅ニ其意ヲ助ル、猶我（アリマス（マセウ（カ（ゾヤ）等ノゴトキ也、夫レ然リ、其戴ク所ノ句意ニ随ヒ、其用變化シ一定スル無シ、夫レ是ヲ以テ其義同一ナラサル也、

然ラハ則チ斯三歇詞ハ、互ニ用テ可ナルカ、

指示歇詞例

以羊易之、不識有諸、○子又禮葬、敢不諾而銘諸、○故愈毎自進而不知愧焉、書丞上足數及門而不知止焉、○今有一人焉、

三四一、曰可也、唯其句意ヲ斟酌シ、以テ其宜キヲ擇フヲ要スル耳、

又問フ翻滅動詞及ニ助動詞ヲ冒スルノ句尾ニ押ム所ノ哉乎歟邪等ハ、皆此類ニ属ス可キカ、

三四二、曰然リ、

六節　指示歇詞

指示歇詞ハ如何ン、

三四三、ソハ或ハ指示代名詞ト用ヲ同スルアリ、或ハ動詞ト代名詞トノ合辞ノ若キアリテ一様ナラス、即チ左圖ノ如シ、

指示歇詞ノ圖

諸（コレ）堯舜其猶病諸焉（コレ・コ、コレヨリ）有樹環焉（コレヲ）有泉懸

又有一人焉、○吾未見能見其過而内自訟者也、○於是有托而逃焉者也、○抑有甚者焉、コレヨリ○而況于讀書與處事之大焉者乎、○在御史猶爾、○若果爾、○及命下果然、

焉、コ、ニ大舜有大焉、コレヨリ焉耳矣、コ、ニ‖バカリデアリマス勿之有悔焉耳矣、焉而已矣、コ、ニ‖バカリデアリマス則日月至焉而已矣、焉矣、コレヲ‖バカリデアリマス皆不得而見焉矣、然カクノゴトシ・ミギノトホリ蓋有待而然、爾同上其習俗從古而爾、云然イフカクノコトシ・イフコトミギノトホリ蓋發於有感而云然、云爾同上則亦庶乎行遠升高之一助云爾、云者イフモノハ・イフコトハ凡吾所謂道德云者、者モノ・ヒト・コト・トコロ天下之人烏有如周公之後之可與者、人ヲ指ス、天下之患最不可爲者、患ヲ指ス、取古文之有資於場屋者、文ヲ指ス、行其泉於高者、所ヲ指ス、者夫モノ‖マス而有大謬不然者夫、

第六段　副詞

首節　副詞　舊名虛字

副詞ノ雜例

浪ミタリニ不責汝浪戰、○幾テウドアタカモ幾若華胥、○殆マコトニホンニ殆爲天下美觀、○自然オノヅト自然消耗至盡、○善用兵、○切爲將軍不取也、○專留心喪事、○曰子原與秀吉善、○秀吉既與毛利氏相待、○先サキニイセンニ字伯魚先卒、

副詞ハ何ナル用ヲ爲ス辞ソヤ、

三四四●副詞ナル辞ハ常ニ動詞ニ副ヒ、以テ其作用ノ狀勢ヲ形容シ顯ハス所ノ者也、夫レ然リ、故ニ彼ノ形容詞ハ名詞ヲ形容シ、而シテ此副詞ハ動詞ヲ形容ス、是故ニ其用ハ並ニ同一也、

起而強爲之ナル句ノ孰ガ、東京大盛ナル句ノ何ガ副詞爲ルヤ、

三四五●強大ナル両辞カ、則チ是レ副詞也、何ナレハ唯起而爲之トノミ云テハ、善ク爲セシヤ惡ク爲シタルヤ、遂ニ其爲ス所ノ作用ヲ知ル可カラス、因テ強ナル辞ヲ以テ動詞ニ副ヘ、以テ其爲シタルハ強テセシ者ナルノ義ヲ顯ハセリ、而シテ唯東京盛ト云テハ、少

●其嗣允恭先卒、此ノ先ハ時王黼先一年已罷ノ先トハ大ニ異レリ、

尋常副詞ハ用字明辨ノ五類助語襯語辞門ニ之ヲ詳ニス、故ニ此ニ之ヲ畧ス、

循尋副詞ノ例

イ 一有聰明者、○痛掃溉、○愈熾、○恒無變其初、○長貧賤、

ハ 夐出人表、○優入ク盛ナリシヤ甚タ盛ナリヤ、卒ニ得テ知ル可カラス、因テ大ナル辞ヲ動詞ニ副ヘ、以テ其盛ナルハ甚シカリシヲ形シ顯ハセリ、凡ソ此ノ如ク動詞ニ添副シ以テ動詞ノ状勢ヲ形容露現スル者ハ、皆副詞也、

副詞ノ尋常ナル者ハ至テ多シ、而ルニ其概ヲ知ラント欲セハ、則チ之ヲ如何シテ可ナルヤ、

三四六●ソハ(イロハ)ノ號ヲ以テ之ヲ區別シ、其一班ヲ擧ケ、其全豹ヲ知ラシムルヨリ善キ莫シ、

尋常副詞ノ圖

イ	一 イチニンモ	痛 イタクテヒドク	聊 イサヽカチヨツト	恒 イツモシジウ	長 同上
	永 同上	至 イタツテシゴク	幾 イクタビモナンドモ	猛 イチガイニジウブンニ	愈 イヨ〳〵●マス〳〵逾ト弥ハ是ニ同ジ
ハ	夐 ハルカニタカク	邈 ハルカニトホク	優 ハルカニマサリテ	迴 ハルカニヘタヽリ	蚤 ハヤク●早モ同ジ、
	晨 ハヤクツトニ				

聖域、○甚不喜、

ニ 驟致富強、○頓挫、

ホ 殆過於融、○粗知古今、○恣行欺罔、○横溢、○楊墨肆行、

ト 俱亡、○偕出、○具興、○二禮兼行、

オ 大呼、○率一皈、○後待命、凡十有九日、

ワ 私議、○絶両事耳、

カ 必精、○堅不可破、○不苟幸生、○代領、

甚 ハナハタ太モ同ジ、 酷 ハナハタヒドク 切 ハナハタシクテヒドク 始 ハジメテ 初 ハジメニ首モ同ジ、

ニ 卒 ニワカニタチマチ 驟 ニワカニイツソクトビニ 猝 ニワカニイチガイニ 頓 ニワカニバツタリト 遽 ニワカニチヨイト

ホ 殆 ホシニマサニ 幾モ同ジ、 粗 ホヾアラマシ、同 麁モ同ジ、 擅 ホシヒマヽニジマヽニ 横 ホシヒマヽニゾンブンニ 縱モ

同ジ 恣 ホシヒマヽニオモフマヽニ 畧 ホヾタイリヤク 誠 ホンニ 苟モ同ジ 側 ホノカニ 外 ホカニソトニ

ヘ 別 ベツニホカニ

ト 十 トタビ 時 トキニオリ〳〵 具 トモニイツシヨニ、ハ皆同ジ、 與俱偕共竝 兼 トモニフタツトモニ 侫モ

同ジ 疾 トクハヤク 駿 トクスルトク 熟 トクト●ジツツク〳〵

チ 近 チカク

オ 公 オホヤケニアラハニ 多 オホクタクサン 晏 オソク 晩 オソククレマデ 夜 オソクヨルマデ 凡 オヨソスベテ 率

オホ 概類モ ムネ亦同ジ、 蓋 オホムネオヨソ

ワ 煩 ハヅラハスニ●メンドウナオモヒヲサセルニ 私 ワタクシニカツテニ 僅 ワヅカニホヾ 纔 屢 財モ 畧相同ジ

カ 必 カナラズキツト 固モ亦畧同ジ 苟 カリソメニウカツニ 幸 カリソメニ 嘗 カツテイセンカラ 曾常

モ相同ジ、 假 カリニマニアハセニ 權 カリニ 代 カハリニ 重 カサネテ、累モ同ジ 申 カサネテクリカヘシ

○反臣之、○假行、

ヨ 能分、○善知馬、

タ 輕許、○既輙加之、○互答、○遞相循環、

ツ 常所來往、○竟頼其力、○毎自進、○継起、○國亦尋滅、

ナ 可長用、○永思、

ヤ 旋覚、○良久、○稍盛、○其法寝備、

マ 益振、○正在此也、○適成、○實大、○良

反 カヘ却還モツテ同ジ、
顧 カヘツテフリカヘツテ
偏 カタオトシニカタ〳〵

ヨ 善 ヨク能モ大抵同ジ
克 ヨク能ヨリ勁ナリ

タ 輕 タヤスクテガルニ
易 同上
輙 タヤスク
乍 タチマチヂキニ
忽 タチマチフテンニ
奄 タチマチニハカニ
偶 タマ〳〵
互 タガヒニタガヒチガヒニ
更 タガヒニオタガヒニ
交迭モ同ジ
遞 タガヒニジユンバンニ
絶 タヘテ

ツ 常 ツネニツネ〳〵 恒モ同ジ
毎 ツネニタビ〳〵
繼 ツヾキテヒキツヾキ
尋 ツヾキテマモナク
踵 ツヾキテアトニツキテ
連 ツヾキテシキリニ
務 ツトカモメテ同ジ
遂 ツヒニトウ〳〵
卒 ツヒニハテニ 終竟訖ハ皆同ジ
了 ツヒニオワリニ
曲 ツブサニクハシク
具 ツブサニノコラズ 備モ同ジ
歴 ツブサニアマネク
詳 ツマビラカニ審モ同ジ

ナ 尚 ナホ●スラサイモ 由猶モ並ニ同ジ、
仍 ナホカサネテ
永 ナカリイツモ
長 同上

ヤ 優 ヤサシクオトナレク
稍 ヤヽシタイニ 差モ同ジ
旋 ヤヽタイブ 良モ同ジ
始 ヤウ〳〵ニヤツト
漸 ヤウヤクシダイニ 寝浸寝モ亦皆同ジ、
徐 ヤウヤクソロ〳〵
動 ヤヽモスレバトカク
妄 ヤタラニ 猥謾輕暴モ畧同ジ

マ 益 マス〳〵 加倍滋モイヨ〳〵 亦同ジ
正 マサニホンニ 端モ同ジ、
適 マサニホドヨキ
方 マサニ
亦 マタ●モ
●コレモマタ
又 マタカサネテ
復 マタフタヽビ
還 マタカヘリテマタ
先 マヅ
全 マツタク 完モ同ジ、
偶 マレニ

有以也、○人跡罕至、

ケ 梓宮決不可還、

コ 悉数、○交侵、○雜陳、○細書、○喜讀書、

ア 周知、○旁及、○敢行、○豫言、○預圖、○逆知、○專篤志于学、

サ 幸未死、○疾比劇、

キ 緊接、○競尚文藝、

ミ 謾言、○猥自枉屈、

シ 頻降、○薦饑、○繁興、○暫休、○子姑去、

交 マセコゼニゴタマゼニ
罕 マレニタマニ
信 マコトニホントウニ 真誠實固良諒允寔モ皆同ジ
苟 マコトニホンニ

ケ 決 ケツシテキツト
斷 上ニ同ジ

フ 深 フカク
再 フタヽビ
復 同

コ 喜 コノミテスキテ
殊 コトニハナハタ
特 コトニトクベツニ
細 コマカニ
雜 ゴタ〳〵トコタマゼニ
交 同上

盡 コト〳〵クミナ〳〵 悉畢殫ハ大抵皆同ジ、
交 コモ〳〵イリカハリタチカハリ

ア 恰 アタカモテウド
明 アキラカニメイハクニ 章モ同ジ、
陽 アラハニオモテムキニ
豫 アラカジメマイモツテ 預モ同ジ、
逆 アラカジメギヤクニ
肯 アヒテケツシテ
敢 アヘテヤミクモニ
篤 アツク 厚敦モ亦畧相同ジ、
相 アヒアヒ
トモニタガヒニ
周 アマネクノコルクマナク 遍歴モ同ジ
旁 アマネクソバマデ
新 アラタニシンキニ
畧 アラマシ

サ 比 サキコロサキダツテ 頃モ同ジ
幸 サヰハヒニシアハセニ
往 サキニイセンニ 向前先逆モ皆同ジ
更 サラニ

キ 急 キウニスミヤカニ
嚴 キビシクゲンシウニ
緊 キビシクシカト
暴 キウニニハカニ
果 キツトハタシテ
固 キツト

ミ 妙 ミヤウニタクミニ
輕 ミダリニカロ〳〵シク
謾 ミダリニデマカセニ
妄 ミタリニヤタラニ 猥モ同ジ
紛 ミダリニムホウニ

シ 姑 シバラクザンジ 且モ同ジ、
頻 シキリニサイ〳〵
荐 シキリニシゲ〳〵 薦モ同ジ
連 シキリニヒキツヾキテ
勇 シキリニ
イサミタチテ
暫 シバラクチツトノマ
轉 シダイニダン〳〵
數 シバ〳〵タビ〳〵
亟 シバ〳〵サイ〳〵
屢 シバ〳〵シゲ〳〵
静 シヅカニ

默々在此行一年矣、
又行ハ(マタ〳〵)ノ義也、
使孫策坐大遂並江東○雖兩倍其遍數、
○小者立變○時有以助之○間出內藏之積○是故舍我而從人邪○首(サキボウトナリ・首倡者ノ義)、首爲四韻之詩、
・陛下首還中書之政、

二收メ、其概ヲ知ラシム、

循常副詞ノ異ナル者ノ圖

行(ユキナカラアルキナカラ)	行且罵	飲(ノミナガラ)	置酒而飲語	坐(井ナカラスワリテ井テ)	觀(ミナガラ)	置(キ)	
觀其變	兩(フタツナガラフタツトモニ)	況問與舉又兩失之者					
酒對山以觀飲		立(タチトコロニソクザニ)	爲(ル)文章操紙筆立書(ク)タヒラ				
デ晨往而夕忘(ル)故焉		時(オリ〳〵・時有テノ義)	學而時習(ヒ)之		聞(オリ〳〵・聞有テノ義)		
『闚』邊(ノ)、		故(コトサラニ・故意ノ義、非(ル)故欲(ス)發(ヲ)余乎、					

二節　音讀副詞

音讀副詞ノ形質ハ異ナル者ナルヤ、

三四八・異ナル者ニ非ナル也、抑ナガラ此辭ハ其訓ノ施シ難キノ故ヲ以テ、古ヨリ音ヲ以テ讀ミ來リ今ニ至ル、故ニ分チテ一類ト爲ス、即チ其概ヲ左圖ニ擧ク、

○靜坐、○徐爲圖、
(ヒ)私怪、○竊謂、○陳來、○汎愛、○博学、
(モ)最親、○舊游、○專学、○尚指觀察使、
(ス)少魄、○徵見、○速成、○頗知、○莫若亟去其位、

又例

日吉既出行意(ノ行キナカラ)、
思(フ)、○純友敗走、行暴掠土藝周等國、○

尋常副詞ノ中ニ其作用ノ異ナル者有リ、

三四七・曰有リ、行ナル辭ハ(ユキナカラ・ユク〳〵)ト訓ミ、或ハ途ヲ行クノ際ニ――スルヲ顯ス、即チ忠顯行收兵ノ行ノ如シ、或ハ後來ニ於テ――スルヲ顯ハス、即チ又何ヲ以テ行且謀也ノ行ノ如シ、因テ其異ナル者ヲ次圖

(ヒ)一(ヒトリモヒトソモ)	徐(シヅカニソロ〳〵)	強(レヒテムリニ)	疆同上	稍(シダイニ)	切(シキリニ)	聊(シバシ)	
均(ヒトシクオナレク同シ)	私(ヒソカニナイ〳〵)	竊(ヒソカニナイ〳〵)	陰(ヒソカニソソト)	潛(ヒソカニヒソミテ)	齊(ヒトシクトモ〳〵ニ)		
(モ)最(モツトモシゴク)	尤(モツトモハナハダ)	舊(モトフルカラ故モ亦相同シ)	專(モツパラ尚モ同シ)	純(モツパラマジリナク)			
本(モトネカラ)	原同上	素(モトイセンカラ)	固(モトウマレツキ)				
(ス)頗(スコブルナカ〳〵)	趣(スミヤカニキウニソク)	小(スコシクセウ〳〵)	少(スコシクチヨツト)	微(スコシクワヅカニ)	毫(スコシクケヅシホドモ)	速(スミヤカニ・サツソク)	
巫(スミヤカニニハカニ)	既(スデニ已モモハヤ同シ)	凡(スベテ總都モ亦畧同シ)					

音讀副詞ノ例

恬(ウカ〳〵ト ウツカリトシ)恬不知問、○茫(ボンヤリト)茫如醉夢之中、○漫(ポントシ バアツトシ)近伴食中書、漫不可否事、○凜(モノスゴク モノサビシク)凜若霜晨、○屹(スクレテ ヒイデ、)兒時屹如巨人之志、○隱(イカメシク ●シカト)上歎曰、呉公差強人意、隱若一敵國、○蕩(アトカタナク ●アレハテ)交出焚掠、文武第宅、蕩爲荒野、

音讀副詞ノ圖

屹(キツ ムツリト タカ〳〵ト)大隄雲横、屹如山岳、恬(テン ヘイキデ)恬不知恥、森(シン ムク〳〵ト コヽロウゴキ)真心一發、森不可禦、茫(ホウ パアツトシ)茫如捕風也、漫(マン ウカ〳〵ト バアツトシ)漫不知何事、恍(クウ ボンヤリト カスカニ)元賓之聲容、恍若相接、鬱(ウツ タクハヘ フクミ)鬱不得吐、●鬱(ウツ スクレテ ヌカレテ)鬱爲選首、萬(バン ケツシテ ●万)萬無母子俱往理、坦(タン ノヅラデ ヘイキデ)坦若無人、凜(リン イカメシク コハラシク)至今凜有生氣、焯(タク タカク)焯有聲烈、蕩(タウ アトカタナク)覆宗絶祀、蕩無吹火、杳(イウ パツトシ ハルカニシ)杳不知其所止、昧(マツ クラニシ クラクシ)昧不見泰山、紛(ミダレテ イリミタレテ)紛不可治、牢(ラウ シツカリトシ カタクシ)牢不可破、

三節 熟字副詞

熟字副詞ハ分ケ幾許ト爲スヤ、

三四九●乃チ重沓累字有尾ノ三副詞ニ分ツ也、

重沓副詞

三五〇●ソハ二字ヲ重ネタル熟字ヲ用ヒ、以テ副詞ト爲ス者ヲ謂フ也、其畧ハ左圖ノ如シ、

重沓副詞ノ圖

茫洋(ハテシナク クモヲカスミニ)茫洋窮乎玄間、蒼茫(アホクパアツトシ)抑蒼茫無端而蹔寓其間邪、慌惚(ボンヤリト ウヤ〳〵ト)海之百靈秘怪、慌惚畢出、軒豁(ヒロ〳〵ト ハテナク)乾端坤倪、軒豁呈露、汎濫(タクサン ニ●アフレル ホドニ)汎濫停蓄、綽約(オトナシク スナホニテ)綽約如處女、幾微(スコシモ)獨無幾微出於言面、秋毫(スコシモ)秋毫不敢有所近、

同ク其稍近キ者ヲ重沓スル所ノ圖

愈益(イヤマシニ)其褒貶成敗人愈益顯、一凡(イツハン ニ)一凡人譽之、壹是(スヘテ)壹是皆以脩身爲本、都盡(スヘテ)都盡

后不惟毫髮無妒心、○丁寧顧婢子語、○必也キツト必也臨事而懼、○必也使無訟乎、

累字副詞例

紛々ヘツタヤタラニヤミクモニ彼紛々謀利計功之徒、○歷々イチ〳〵書習之最久、歷々可記臆、○卓々リツパニ皆一時卓々有名位者、○万々ケツシテスコシモ万々無恨、○赫々アリ

聚東與俱トモニトモ〳〵先生所與俱學、相與トモ〳〵相與慶於庭、

累字副詞ノ概ヲ擧ケ之ヲ示セヨ、

三五一● 乃チ次ノ圖ノ如シ、

累字副詞ノ圖

常々イツモフタンニ是疾也江南之人常々有之、婆々オモシロクユクハイニ婆々嬉遊、時々オリ〳〵時々冦之、紛々コク〳〵諸本紛々傳訛、累々カサネ〳〵イクラモ至州佐縣令者、累々有焉、歷々イチ〳〵●ノコルクマナク論前世事、歷々可聽、戚々シホ〳〵不利則戚々以泣、卓々ハツキリト足下厠其間、獨無卓々可道說者、欝々シホ〳〵欝々適茲土、万々ケツシテスコシモ況万々無此理、便々シトヤカニシツ〳〵在宗廟朝廷便々言、孳々セツ〳〵ト●イツセウケンメイ孳々爲善者舜之徒也、帖々オチツキ來大學帖々坐諸生下、灼々アリ〳〵トハツキリト灼々明矣、章々同上不爲卑且貧章々矣、慊々ヘリクタリ慊々若不足、僕々ヘイ〳〵僕々乞憐、

有尾副詞ハ幾類有ルヤ、

三五二● 四有リ、其概ノ如キハ、則チ次圖ノ如シ、

第一 爾字類ノ圖

鏗爾チーント鏗爾舍瑟而作、俶爾スーツトタチマチ俶爾遠逝、

第二 乎字類ノ圖

沛乎イキホヒヨキ沛乎如巨魚縱大壑、翼乎フワ〳〵翼乎如鴻毛遇順風、恤々乎カアヒソウニ恤々乎饑不得食、魏々乎イカメシク魏々乎可畏、廣々乎ヒロ〳〵廣々乎其無不容也、浩乎ヒロ〳〵浩乎不知其津涯、炳乎ヒカ〳〵炳乎其相輝、茫乎ハテナク茫乎不知其畔岸、洋々乎ステキモナクキヤフサンニ

然字類ノ例

昂然（キグライタカク）昂然自得、○嶄然（タカ〳〵ト）嶄然見頭角、○屹然（シヂヤクト）獨郢屹然不動爲四隣之障、○惻然（カアヒヲウニオモフ）惻然有哀憐無辜之心、○俄然（ニワカニ）俄然覺、○悍然（アレダシテ）悍然執兵與我從事於遠鄙、亦幸矣、○闕然（スレカケテ）闕然久不報、塡然（ドン〳〵ト・ドロドロト）塡然鼓之、爽然（キヌケシテ）又爽然自失矣、○粲然（アリ〳〵ト）粲然復明、于世、○隆然（セヲタカクシテ）隆然病癯、○洞然（ポカント）洞然向明、○援然（タスケアゲテ）援小石、○淵然（アマネクフカシ）淵然深知、○曼然（ゴフ〳〵ト）曼然長鳴、○窪然（ガンヤト）窪然若穴、○泓然（タヽヘテ）泓然爲池、○凄然（モノサビシク）凄然似秋、○恍然（ボーットシテキヌケシ）恍然如醒得醒、○油然（ムク〳〵ト）天油然作雲、○沛然（ジヤア〳〵ト）沛然下雨、○渙然（サラリト）渙然氷釋、○隱然（ゴロ〳〵ト）隱然在空者謂之雷、○焦然（イラタチテ）焦然不安、○卓然（ハツキリト）卓然知其惡、○巍然（イカメシクタカ〳〵ト）巍然高、○悚然（ゾツトシテ）悚然、○悚然（ゾツトシテ）悚然徹懼、○屹然（シツカリト）屹然不作也、○惠然（ニコ〳〵ト）惠然見臨、○陶然（オモシロク）陶然以樂、○蹙然（アハタヾシ）蹙然（ナウゼツシテ）闕然（フサタシテ）塡然（ドン〳〵ト・ドロ）塡然鼓之、（キヌケシテ）又爽然自失矣、○粲然（アリ〳〵ト）粲然復明、（セヲタカクシテ）病癯隆然伏行、○援（タスケアゲテ）小石、○洞然（ポカント）洞然有聲、○灣然（ワングリト）灣然爲溪、○淵然（アマネクフカシ）淵然深知、○曼然（ゴフ〳〵ト）曼然長鳴、○窪然（ガンヤト）窪然若穴、○泓然（タヽヘテ）泓然爲池、○凄然（モノサビシク）凄然似秋、○恍然（ボーットシテキヌケシ）恍然如醒得醒、○油然（ムク〳〵ト）天油然作雲、○沛然（ジヤア〳〵ト）沛然下雨、○渙然（サラリト）渙然氷釋、○隱然（ゴロ〳〵ト）隱然在空者謂之雷、○焦然（イラタチテ）焦然不安、○卓然（ハツキリト）卓然知其惡、○巍然（イカメシクタカ〳〵ト）巍然高、○悚然（ゾツトシテ）悚然、○悚然（ゾツトシテ）悚然徹懼、○屹然（シツカリト）屹然不作也、○惠然（ニコ〳〵ト）惠然見臨、○陶然（オモシロク）陶然以樂、○蹙然（アハタヾシ）蹙然、○勃然（ムツトシ）韓王勃

洋々乎大哉、蔚乎（サカンニアラハニ）蔚乎其相章（章ハアラハル也彰ノ古字、）

第三　然字類ノ圖

飄然（トビハナレテフワ〳〵ト）飄然脫去世俗之樂、頹然（グタ〳〵ニドロンケンニ）頹然就醉、同然（イコフドウオシニ）和而倡之、同然一辭、汪然（ハラ〳〵ト）汪然出涕、索然（同上）索然出涕、潛然（サメ〳〵ト）潛然出涕、一旦豁然（ノコルクマナクアリ〳〵ト）一旦豁然貫通焉、廓然（ハラオホキニ・キモフトク）廓然有大志、樂然（タノシミテヨロコビテ）樂然相約、頓然（ニハカニ）頓然改節、截然（タチキリテ）截然不同、儼然（ギヤウ〳〵シク）儼然造焉、二十七人儼然造焉、翕然（アタカ〳〵ト）翕然如春、蕩然（キマヽホウニ）蕩然肆意、芒然（ボーットシテミトレテキヌケシ）芒然喪其天下矣、闇然（ヒクツニ）闇然媚於世也哉、諸大夫芒然喪其所懷來、宵然（ヨロコビテ）宵然喪其天下矣、闇然（ヒクツニ）闇然媚於世也哉、

然作色、○灑然サツハリトクハラリト
群臣莫不灑然變色
易容者、○温然オトナシク・ニコヤカニ
樂易慈祥之氣、
温然可挹、○卒然イキナリニ・フテンニ
卒然問曰、○惴
々然ビク〳〵ト惴々然
恐其不伸、○表々然アリ〳〵トアラワニ
表々然出於
常情俗慮之外、

シク 蹵然改容更貌、釋然サラリトトケテ亦將釋然無疑矣、傲然シブンテングニテ
傲然自足、奮然ヤツキトナリテフルイタチテ奮然勁悍、與怯
相反者、小勇也、凛然フルヒタチテ凛然有向敵之意、怵然ビツクリシテオソレテ
獨怵然戒、靡然ワアツトナビキテ靡然鄉風矣、灑然サバ〳〵ト・キヨラカニ
灑然若執熱者之濯清風者也、侃然イタケダカニナリチヤントシテ侃
然正色、累字謙々然ヘリクダリテ謙々然若不足、循々然キマリヨク・ギヤウギタヾシク
循々然莫不有規矩、恐々然オソレテ恐々然惟懼、

第四 焉字類ノ圖

忽焉ヘイキナカホシテ忽焉不加喜戚於其心、兢々焉ブル〳〵トオソレテ
兢々焉懼不任、峨々焉タカ〳〵ト峨々焉纓其冠、

四節 諾否副詞

諾否副詞トハ何ナル辞ゾヤ、

諾否副詞ノ重累スル者ノ例

有間秦王復請、范雎曰唯々、ハイ〳〵アイ〳〵○義経笑曰否々、イヱ〳〵イヤ〳〵

兼動副詞ノ例

漸將荒廢、○上實憐軾尋移汝州、且復用

三五三・ソハ人ト人ト相應對スルノ際ニ於テ、之ヲ肯スルト肯セサルニ因テ、直ニ其口ヨリ發スル所ノ音ヲ寫ス者也、則チ其肯スルノ音ヲ寫ス者ハ、汝記之・對曰諾ハイ・アイ)ノ句ノ諾ナル辞ト・曾子曰唯ハイ・アイ)ノ句ノ唯ナル辞ノ如ク、其肯セサルノ音ヲ寫ス者ハ、高綱哂曰否イヱ・イヤ)ノ句ノ否ナル辞ノ如シ、而シテ諾々ハイ〳〵)ハ諾ノ重累スル者、唯々ハイ〳〵)モ亦唯ノ重累スル者ニシテ、否々イヤ〳〵)ハ否ヲ重ネ言フ者也、

五節 兼動副詞

兼動副詞ハ何ソ、

三五四・ソハ副詞而ルニ動詞ノ作用ヲ兼有スル者是レ也、即チ將マサニ―ス・トス)且同上宜ヨロシク―ヘク・ヘシマサニ―ヘク・ヘシ)當マサニ―ヘク・

矣、○方將・且將・方且ノ三ハ將ノ重沓スル者也、乃チ召公入且將用之・朝廷方將用之・淺見之士方且以敗爲辱ノ如シ、○必須力言、○宜備近側、○今見老子、其猶龍乎、○時或應思爾、○曰爲臣當忠、爲子當孝是也、○姦或不誅吏將焉用、○

(ヘシ)應 同上 須(スヘカラク||ヘク・ヘシ カナラス||ヘク・ヘシ)猶(ナホ||ノコトシ テウド||ノコトシ)由 同上 未(イマタ||セズ・セザル)等ノ如シ、而シテ方(マサニ||ス・トス)モ時トシ將ト互用シ、殆(マサニ||ス・トス)モ亦將ノ如シ、即チ和議殆破ノ殆ノ如シ、

兼動副詞ノ異ナル者ヲ引誨セヨ、

三五五・ソハ古人カ危キノ辞ト註セシ殆(スンデノコト||トコロナリ)幾 同上 ナル辞也、乃チ殆死潼關ノ句ノ殆ナル辞ト・流離辛苦幾死朔北之野ノ句ノ幾ナル辞ノ如シ、

其他ノ異ナル者ハ若何ン、

三五六・ソハ願望ノ辞ナル庶(ドウカ・ドウゾ・ドウゾシテ・オカゲデ・ナニトゾ・サスレバ・コヒネガハクハ||ナラン・ニヲレヨ)庶幾 同上 是レ也、即チ庶執事察之也(ドウゾ||之ヲ察シ玉ヘヨ)ノ庶ナル辞ヤ、庶幾一來(ナニトゾコラレヨ)ノ庶幾ナル辞ノ如シ、

或ナル副詞ハ何如ゾヤ、

庶竭駑鈍攘除姦凶、興復漢室還于舊都、○庶幾復見天地日月、

命令副詞例

曰賊脫據天王山、非吾利也、二子其往、○勅曰諸國官軍、汝其帥之以滅國賊、○孺子其圖之以告舅犯、舅犯曰、孺子其辞焉、○朕以汝爲股肱、汝

三五七・ソハ或(ナカニハ||アリ)ト訓ミ、能ク二義ニ渉ル所ノ意ヲ言ヒ現スノ辞也、即チ或謀迎駕・或窺京師ノ両ハ或ナル辞ノ如シ、

六節 命令副詞

命令副詞トハ何如ナル辞ゾ、

三五八・ソハ命令スル有ラント欲スル時、先ツ一聲叫ヒ以テ其命令スルノ意ヲ示ス所ノ詞ニシ、而シテ其(ソレ・サア・ヤア)ナル辞是レ也、即チ曰道古汝其觀察鄂岳ノ句ノ其ナル辞ト・曰度汝長御史其往視師ノ句ノ其ナル辞ノ如シ、

七節 助響副詞

助響副詞ヲ用ルハ何ノ故ゾヤ、

其愛〇孝公下令賓客群臣有能出奇計強秦者吾其尊官與之分土

三五九● 凡ソ文章ハ單音ハ響ヲ成シ趣ヲ成シ難ク而シテ複音ハ易シ夫レ然リ是ヲ以テ作家其單ナル音ニ遇ヘハ往々他ノ字ヲ副ヘ以テ響ヲ成シ且趣ヲ成ス此レ助響副詞ノ用有ル所以也

助響副詞ヲ教ル爲メニ其レ以テ例ヲ引ケヨ

三六〇● 城汴州功勞居多ノ句ニ於テ多ナル辭ノ單音ヲ助ル爲ニ居ナル辭ヲ副ヘ以テ響趣ヲ成ス方ニ以テ例ス可シ而シテ居一ニ許ニ作ル

八節 代名副詞

代名副詞ハ幾類ニ分ツヤ

三六一● 疑問ト指現ノ二ニ分ツ也其概ヲ教示スル爲ニ左ニ其圖ヲ設ク

第一類 疑問副詞ノ圖

馬トコニ●イヅクニ● 何所ト同シ	陸秀夫曰度宗皇帝一子尚在將焉		
置之	奚同上	而彼且奚適也	何同上 王見之曰牛何
之●	捨我何之	安同上	羽曰沛公安在 安所トコニ●イヅクニ●已
欲求其名	安所逃其患	奚所同上	奚所諮而處焉 何
所同上	何所取哉	惡乎●イヅクニ●同上	卒然問曰天下惡
乎定	惡トコニ●イヅクニ● 何所ト同シ	安在其爲民父母也	何時イツコロ
漢王謂陳平曰天下紛々何時定乎			何日同上 問何
日清平	奚●ドチラ●ドレ	其一鴈能鳴一鴈不能鳴請奚殺	何
同上	於斯三者何先	曰去兵	孰ドチラ●タレ 朔客程嬰公
孫杵臼相與謀曰立孤與死熟難		何所●ドチラ●ドレ	宜何所
法守也宜クドチラニ法トリ守ルヘキソヤノ義			何ナニヲ 春申君曰何

何處ドコイヅク 棄我何處

〇何同上 帝驚曰何

行● 不知何去● 其將何求〇馬同上 行賢而去自賢之心焉往而不美● 魯無君子斯焉取斯〇惡乎同上 君子去仁惡乎成名ドコデ名ヲナソウゾヤ〇安所同上 皆爲之輕重民安所措手足乎

オキマセウソヤ、○惡乎ナンラ事ト同シ、何等ノ敢問夫子惡乎長、○孰ドチラ●ドレ又問長與少孰最愛、●清盛會諸公卿問兩都孰便、便ナルソ、○何所トチラ●ドレ不知爲國計者、欲何所擇哉、欲スルソヤ、○何同上足下即欲求婦何取、ドチラヲ取ルゾ、○孰タレ今浮屠者、孰カ爲而孰傳之邪、孰カ

謂無妄之人、何ドンナコト何等ノ事也、劉裕嘗行遇大蛇擊之、後至其所、見有群兒擣藥、裕問何爲、何ドンナマツリゴト●何等ノ政也、哀公問曰、何爲則民服、奚同上子路曰、衛君待子而爲政、子將奚先、何ドンナツクリカタ何等ノ作法、義經曰、何謂逆櫓、奚ドンナカンムリ曰奚冠、曰冠素、何樣ノ冠ヲ蒙ルソ、白冠ヲ蒙ルノ義、

論語ノ誨人不倦、何有於我哉ノ何有ナル辭ハ、翻滅助動詞ノ何有悔哉ノ何有ナル辭ト異ナルヤ、

三六二●此レ大ニ異ナル也、何ナレハ何有悔哉ハ何ソ悔ル有ランヤト訓ミ、乃チ逆ニ落スノ辭ニシ、而シテ何有於我哉ハ我ニ何ガ有ラフゾヤト訓ミ、我身ニ何等ノ才能ガ有ラフヅヤノ義ニシ、乃チ順ニ落スノ辭ナレバ也、

作リテ孰カ之ヲ傳ヘマスゾヤ、○何ドコニイヅクニ齊王曰、天下何皈、トコニ皈スルソ、何往而不自得哉、トコヘ往キテ自得セヌゾヤ、○何ナニ其志何欲、ナニヲ欲シマスソ、○安ドコニ安在其不辱也、其辱ナラサルハ何所ニアリマスゾヤ、

然ラハ則チ第五段ノ不斷歇詞、問疑歇詞及ニ斯ノ疑問副詞等ハ、皆順落語ナルカ、

一六三●曰然リ、

果シテ然ラハ、則チ稱シ逆落語ト言フ可キ者ハ、獨リ其句頭ニ翻滅動詞及ニ翻滅助動詞ヲ蒙ル者ノミナルカ、

三六四●曰然リ、其他ニ在テハ、則チ句頭ニ可ノ字ヲ冒シ、其尾ニ撲滅歇詞ヲ押ム者モ亦逆落語ノ類耳、

註 往時ヲ回憶スルニ、甚シ哉學問ノ道ノ開ケサルヤ、吾猶語ノ順落逆語ノ辨ヲ知ラス、之ヲ混繆雜誤シ、而シテ分別スル無シ、況ヤ先輩ヲヤ、況ヤ他人ヲヤ、久キ哉其因襲ヤ、今ニシテ盡ク之ヲ改ルハ殆ン

指現副詞例

自言其名○貞任自將精兵八千○帝然之親出仁壽殿●親取劔璽○勃蘇乃蘇秦王身問之○刺史

ト難シトス、然リト雖トモ順落語ヲ訓ムニ逆落語ヲ讀ムノ法ヲ以スレハ、則チ其語氣方ニ温醇含蓄ノ氣象ヲ失フ、但此レノミニ非ラス、又随テ其義ヲ害スルニ至ル、則チ之ヲ忽セニス可ケンヤ、以上ノ附假名ニ於テ、予ノ痛ク煩労ヲ致ス者ハ、殆マサニ是カ爲メ也、學者其レ深ク焉ヲ思ヘヨ、

指現副詞トハ何ゾ、而シテ何ノ類ゾ、

三六五●此ハ則チ儼ト其人若クハ其物ヲ指シ現ハス所ノ辞ニシ、而シテ指示代名詞ノ類也、而レ𪜈此詞ハ大抵常ニ副詞ノ位ニ居ル也、

然ラハ則チ其辞ハ如何ン、

三六六●自ミツカラ親同上身同上ミミヅカラ躬同上躬自同上躬親同上

縣令不躬爲之師○躬親聽断●躬親撫養○豪傑競興各自據國○欲口解諭○上皇手書

問ナル辞モ亦含有副詞ノ類

各自カクジ●オノ〳〵ミヅカラ口クチツカラクチミツカラ手テツカラテミツカラ等是レ也、

手ト口ナル辞ハ、何ヲ以テ斯ノ異訓ヲ持ツゾ、

三六七●手ハ手自口ハ口自ノ畧辞也、是ノ故ニ此ノ如キノ異ナル訓有ル焉、

九節　有含副詞

有含ナル辞ハ何ノ謂ヒソヤ、

三六八●ソハ其詞ノ中ニ他ノ意ヲ含ムノ謂ヒ也、

何ヲ以テ有含副詞ハ他意ヲ含蓄スルゾ、

三六九●斯詞ハ本ト是レ變則ニ由リ他ノ字ヲ省キシ者也、雖ヘ然ルモ其省キシ所ノ字ハ、自ラ其詞ノ中ニ含有スレハ也、

註 今正則ニ由リ、一例ヲ援キ之ヲ言ヘハ、風發雷動

ナレ𪜈、其類多カラサルカ故ニ之ヲ畧ス、乃チ其例ハ左ノ如シ、

中間廢之、殆百餘年、○而意中間變、中ハナカコロト讀ム、

ノ句ハ、本ト當ニ如風而發、如雷而動ノ二句ニ作ルヘシ、而ルニ變則ヲ用ルノ久キ、因襲シ以テ常ト爲リ、作家猶其本ヲ知ラス、好テ變則ノ句法ヲ用フ、雖ヘ然ルモ之ヲ讀ムニハ、正則ノ如クナラサレバ、其義通セズ、是ニ於テヤ(コトク)ナル捨假名ヲ用ヒ、風發雷動ヲ風ノコトク發シ雷ノ如ク動クト訓ム、有含トハ凡テ此ノ如キ者ヲ謂フ也、年々盛月々衰ヲ年盛月衰ニ作リ、以テ年々月々ノ意ヲ含マシムルモ、亦是レト同一也、

副詞中ニ於テ、之ヲ學フニ、其尤モ當ニ力ヲ盡スヘキ者ハ、何ゾヤ、

三七〇● ソハ有含副詞也歟(デアリマス)、何ナレバ學者誠ニ

含如副詞例

如蟻附而上、○矢丸如雨下、○嘗曰晉王如龍行如虎步、○如靁鼓大進、○如臣僚

力ヲ此ニ致シ、以テ其有含ノ理ヲ悟レハ、則チ白文ヲ讀ム猶破竹ノ勢ヲ生シ、且文ヲ作リ誤謬無ケレハ也、

有含副詞ハ分チ幾類ト爲スゾ、

三七一● 分チ八ト爲ス也、一ニ曰含如副詞、二ニ曰含以副詞、三ニ含自副詞、四ニ含於副詞、五ニ含每副詞、六ニ含方副詞、七ニ曰含累副詞、八ニ曰含耳副詞、

容易ニ夫ノ八類ヲ教ルニ何ノ方ヲ以テスルゾ、

三七二● ソハ例文ヲ左圖ニ引載シ、而シテ斯□ヲ其例文ノ間ニ納レ、且其省ク所ノ字ヲ把リ、以テ其□中ニ容レ、學者ニ一目之ヲ自覺セシム、

第一 含如副詞ノ圖

天下如禽奔如獸遁、而不可復制也、○如雲合如景

視之、○卿曹勿如雷同也、○如雷動如雲合、如魚鱗雜襲、

含以副詞ノ解釋及ニ例

國策ニ曰、豫讓曰、臣事范中行氏、范中行氏以衆人遇之、臣故以衆人報之、智伯以國士遇臣、臣故以國士報之ト、史畧之ヲ引キ曰、云范中行氏

附、○如魚貫而進、○如雲集京師、○則所嚮如魚潰矣、○我以如瓦合之師抗之、○悵別如兒女啼、○而如馬食之、○甚則如奴僕視之、○南方之兵如蜂起、

第二　含以副詞ノ圖

生（イキナガラ イキタルマヽ）幼孩以生埋之（生タル幼孩ヲ以テ埋ルノ義也、）必以生致競（生タル競ヲ以テ送リ致セノ義、）○如臣者、以斗量以帚掃不足數耳、○乃以膝行入謝罪、○當以手行邪、○正忠兵以槍刺殺之、○以何面目立於天下乎、○我以何面目復見、○寢殿以青布緣葦簾、○虞允文亟督水軍以海鰍船迎擊死鬪、○正成曰、以衆敗以寡繼、敢死之兵、○四面以肉薄而登、○上皇以手書、○欲以口解諭、○以温顔接之、○我故以温言待之、

以衆人遇我、我故以衆人報之、知伯以國士遇我、我故以國士報之ニ作ル、則チ當ニ以テ含以副詞ヲ悟ルニ足ルヘシ、○則以一網盡之、○以特旨補官、

含自副詞ノ本體ノ例

公則一軍由間道夾攻之、（由ハ自ト同シ、）

第三　含自副詞ノ圖

官軍自水陸逼之、○分兵自海陸相攻、○自腹背取之、○自便道之官、○金人自間道遶出其後、○秀吉將兵七万五千、自三道入勢、○官軍自陸襲之則入湖、自水攻之則登岸、○宋師自南北受敵、○自東登入穴、○嘗詔刺史毋得自外徙、○徒多自道亡、○義經從士聞變自四至（四ハ四方也、）○自四面來還、○自四面肉薄而登、○自水攻自陸襲、○自間道夾攻之、

第四　含於副詞ノ圖

子必於途覩之、○於途聞內難至長安、○於道不拾遺、○阿剌罕於途係病死、○於面折於廷爭、○出則於巷議、○於外禦焚攻、於內給炊飲、○於上可坐万

舍於副詞ノ本體ノ例

於道見棄女ノ○小子後生於何考德而問業焉、

舍每副詞ノ本體ノ例

水田每畝稅三升、○每戶長一人、○每畝課兵糧、

舍累副詞ノ本體ノ例

人於下可建五丈旗、○於山無盜賊、○入則於心非、

第五　舍每副詞ノ圖

每人佩一竹枝爲號、○每家給每人足、○遂使七道、每國建二佛寺、○每人懷怒心、○每年貢舡八十艘、

第六　舍方副詞ノ圖

義經從士聞變四方至、○正成遣卒數千執炬北方走、累々不絕、○東方奔坂本、○清氏南方奔、○既而賊軍西方上、○東南方有天子氣、○西方至靈州、

第七　舍累副詞ノ圖

藤原氏以外戚世世執政權、○使世世掌之、○中國之人世世守之、○盜跖日日殺不辜、○吾日日三省吾身、○大災年年有之、○賦斂年年增、○不世世出、世々無患、○世々稱孤寡、

舍以舍於等ノ諸詞ノ淵源

此ハ乃チ古人カ文ヲ作ルノ際、務テ煩ヲ去リ簡ニ就クニ淵源スル也、其然ル所以ノ者ハ、甲人カ使韓信自陸擊之、而周勃自水攻之ノ句

註　圖中ノ諸詞ハ皆副詞也、故ニ青布緣葦簾ニ青布緣ス、官軍水陸逼之ハ、官軍之ニ水陸逼リ、子必途覩之ハ、子必ス之ヲ途覩ル、上可坐万人ハ、万人ヲ上ニ坐ス可ク、西至靈州ハ、靈州ニ西至ストモ訓ムヘシ、今乃チ然ラサル者ハ、古人ノ副詮法ニ從ヒ斯ヲ添ヘ以テ其省キシ字ヲ顯ハスカ故也、学者其レ焉ヲ察シ、當ニ以テ其他ヲ推知スヘシ、

上欄ヲ看テ諸詞ノ本體ヲ知リ、而シテ下圖ヲ歷觀シ之ヲ譬考スレハ、則チ舍以ヨリ舍累ニ至ルマデノ諸詞ハ、純然タル名詞也、今乃チ是ヲ以テ副詞ト爲スハ何ソヤ、

三七三、其故ニ有リ、本ト是レ名詞ト雖モ、而モ之ヲ

ヲ得、自ノ字ノ重省ヲ厭ヒ、下ノ自ノ字ヲ去リ、改メ使韓信自陸擊之、而周勃水攻之ニ作レリ、而ルニ乙人之ヲ看ズテ良法ト爲シ、之ヲ摹倣シ以テ使關羽陸擊之而張飛水攻之ト爲ス、爾來因襲シ卒ニ其本ヲ忘ル、ニ至リ、因テ以テ副詞ノ位ニ居ラシメ、故ヲ以テ變シ副詞ト爲ル、此レ其故ノ一也、因襲ノ久キ、人其本ヲ忘レ、看テ以テ副詞ト爲ス、此レ其故ノ二也、斗量帚掃ノ斗帚ノ二字ノ如キ、水攻陸襲ノ水陸ノ二字ノ如キ、家給人足ノ家人ノ二字ノ如キ、面折廷爭ノ面廷ノ二字ノ如キハ、亦皆是レ純然タル名詞ト雖モ、而モ今變シ純然タル副詞爲リ、夫レ此等ノ詞今變シ純然タル副詞タレハ、他ノ名詞モ亦副詞ト爲サヽルヲ得ス、蓋皆副詞ノ位ニ居リ以テ動詞ヲ助ルノ詞ナレハ也、此レ其故ノ三也、

註 先輩既ニ生致競ヲ生致スト訓ミ、奴僕視之ヲ之ヲ奴僕視スト讀ミ、衆人遇之衆人報之ヲ之ヲ衆人遇シ之ニ衆人報スト訓讀スルヲ省テ、則チ當ニ其此諸詞ヲ副詞視スルノ久キヲ知ルヘシ、

第八　含耳副詞圖

頫ト而已モ亦耳ト同シ、故ニ而已ヲ含ム者モ雜載ス、

但タヽ……ハカリ　學士但盡力於文章耳、○只同上　汝只見今人文章淺庸頫、○止同上　人凡讀書且止宜讀耳、○翅同上　當不翅三而已矣、○唯同上　項籍唯不能忍、兩、○徒同上　世徒見夫由科第而進者耳、○啻同上

七段　前後置詞

首節　前後置詞ハ何ソ、

前後置詞ハ何ソ、

三七四●ソハ大都名詞若クハ代名詞ノ或ハ前或ハ

詞ト爲ル也、含以副詞ノ解釋ニ引ク所ノ國策ノ文ト史畧ノ文ヲ參看シ、則チ以テ焉ヲ視ル可シ、

轉讀前置詞例

權移霸府、始自法皇、●臣至自六波羅、●自祖父正成以來、●從天降、從地出、從四方來者、皆罹吾網、●幹離不由東路陷真定、●由助教爲博士、○於ヨリ柔然起於漢

後ニ置ク所ノ辞也、獨リ後置詞ハ往々他ノ詞ノ後ニ置ク有リ、而シテ一定ナラス、

前置詞ノ類ハ、分チ幾許ト爲スヤ、

三七五●轉讀前置詞ト冒名前置詞ノ二ニ分ツ也、而シテ轉讀ハ倒ニ轉シ讀ム者ヲ謂ヒ、冒名ハ直ニ他ノ名詞ノ頭ニ冠冒スル者ヲ謂フ、

轉讀前置詞ヲ敎誨セヨ、

三七六●自ヨリ於ニ●ヲヨリ與ト與ヨリハ沿ソフ以モツテ每コトニ就ツキツキテ爲タメニ舉コソツテ及ト兼ト比コロホヒコロニナリ於オキテ在アリアツテ等也、

轉讀前置詞ノ圖

自ヨリ以一軍自龍門入●從同上大風從西北而起、

北、○戰于石橋山、ニ●舍乎此、則夷狄矣、ヲ○務與民休息、●與之苦戰、○循墻而走、●水灑々循除而鳴、○爲暴雷震死、○以其子賴元任管領、○每夜巡捕、●每見垂涙、○於上皇爲庶兄、於今上爲伯父、

冒名前置詞例

吾十有五而志于学、

●自從天慶馴致寛治、●由同上公則一軍由間道夾攻之、○於ヨリ●ニ●ヲ于同上乎同上相捆墜於馬、ヨリ●或舉于管庫、ヨリ●道莫大乎仁義、ヨリ●自納於不測之誅、ヲ●火于秦、ニ●不隨乎時、ニ○與ト馬逸與衆相失、○與ヨリハ曰汝與其敵凡人、寧敵王者、○以モツテ以博識稱、●以中京寧府爲北京、○每コトニ每群臣奏對、温顔接之、○就ツキテ命就三宅寄齋學、○爲タメニ爲我著書、○舉コソツテ舉天下之人、○比コロホヒコロニナリ人呼曰高平太、比十八九、○在アリアツテ在上一段、○於オキテオキテハ於道見棄女、●於東垣外耕田、○沿ソフ沿道將士以次饗之、●隨同上命使西征、隨流而攘、●並同上並海而西、●循同上循左麓而發銃、沿循隨並ノ四字ハ、副詞ノ位ニ在テハ、其義相似タリ、

●前後十有五年、○函嶺以東、非朝廷之有、●十五年以前、逋租、●今年已來、●自周公而上○有黒雲竟天廣十許丈、

歇止詞ヲ以テ後置詞ト爲ス者ノ例

求也何如、子曰求也千室之邑、●今也則亡、●子曰回也其庶

冒名前置詞ハ唯其響ヲ助ル爲メニノミ用ルカ、

三七七●曰然リ、故ニ毫モ意義無シ、乃チ左圖ノ如シ、

冒名前置詞ノ圖

有(イウ)咨爾有衆、●帝舜有虞氏、○以(イ)自祖父正成以來、●已(同上)十歳已上皆入大學、●而(同上)副將而下不用命者斬之、許(キヨ)潭中魚可百許頭、

二節　後置詞

歇止詞ヲ以テ後置ト爲セハ、則チ何如ナル作用有ルヤ、

三七八●其作用ハ一定ナラス、因テ其概畧ヲ引擧シ以テ之ヲ示スヤ、則チ左圖ノ如シ、

第一　歇止後置詞ノ圖

乎、(以上皆呼ヒ醒ス辞、)夫達也者質直云々、●中也者天下之大本也、和也者天下之達道也、(同上、)

又例

賜也達、於從政乎何有、(政ニ從フニオキマシテ、)於予也(ヤ●呼ヒ起スノ辞、)子曰、賜也爾愛其羊、●回也不愚、●柴也愚、參也魯、師也辟、○也者(ヤハ●同上)孝弟也者、其爲仁之本歟、○乎(ヨ●呼ヒ醒スノ辞、)子曰參乎、吾道一以貫之、●太息曰子乎、楚國亡之日至矣、○乎(デアリマスヨ●褒メ断スルノ辞、)使者出、子曰使乎使乎、(堂々タル御使者デアリマスヨ)ト云フガ如シ、賢人乎賢人乎、非質有其内、惡能用之哉、○哉(デアリマスカ●卑シミ断スルノ辞、)問子西曰彼哉彼哉、(彼奴デアリマスカ)ト云フガ如シ、○歟(ラウヨ●マセウヨ虚断ノ辞、)子在陳曰、皈歟皈歟、吾黨之小子、

其他ヲ敎ヘヨ、

三七九●或ハ其語ヲ婉ニスル爲メ、或ハ其語ヲ勁ニスル爲ニ、歇止詞ヲ添ヘ以テ其語聲ヲ助ル者有リ、

第二　歇止後置詞ノ圖

歟改是予ニオキテ、○已矣乎其終能復古乎、○君子哉若人、●美哉水洋々乎、○遠矣周汜之長也、●大矣●久矣●多矣、●必也使無訟乎、○於是馬河伯欣然自喜、○卒然問曰、天下惡乎定

又例

即托陸者則海

歟改（ヤアラタムルカ）是（コレ）予（ヲ）ニオキテ、○已（ヤム）矣乎（カナ）其終（ソノオワリ）能（ヨク）復古（フルキニ）乎、○君子（クンシ）哉若人（ヤソノヒト）、●美（ウツクシキカナ）哉水洋々乎、○遠（トオキカナ）矣周汜之長也、●大矣●久矣●多矣、●必也使無訟乎、○於是（ココニ）馬河伯欣然自喜、○卒然問曰、天下惡乎定（イカンソサダマラン）

又例

即托陸者（オカノヒトニ）則海

歟改（ヤアラタムルカ）是（コレ）予（ヲ）ニオキテ、○已（ヤム）矣乎（カナ）其終（ソノオワリ）能（ヨク）復古（フルキニ）乎、○君子（クンシ）哉若人（ヤソノヒト）、●美（ウツクシキカナ）哉水洋々乎、○遠（トオキカナ）矣周汜之長也、●大矣●久矣●多矣、●必也使無訟乎、○於是（ココニ）馬河伯欣然自喜（ミヅカラヨロコブ）、○卒然問曰、天下惡乎定（イカンソサダマラン）

歟改（ヤアラタムルカ）是（コレ）予（ヲ）ニオキテ、○已（ヤム）矣乎（カナ）其終（ソノオワリ）能（ヨク）復古（フルキニ）乎、○君子（クンシ）哉若人（ヤソノヒト）、●美（ウツクシキカナ）哉水洋々乎、○遠（トオキカナ）矣周汜之長也、●大矣●久矣●多矣、●必也使無訟乎、○於是（ココニ）馬河伯欣然自喜（ミヅカラヨロコブ）、○卒然問曰、天下惡乎定（イカンソサダマラン）

又例

即托陸者（オカノヒトニ）則海

乎（マシテカ）能（ヨク）以禮讓爲國乎何有（國ヲ治メマシ、テカト訓ム、）○歟同上糞土之墻不可杇也、於予（ヲ）ニオキテ誅（メ）何（ソシラ）ン、○矣乎（マセウヨ）子曰已矣乎、吾未見能見其過而内自訟者也、○哉（マヌヨ）憲公之論將卒（ヲ）有味哉有味

乎（マシテカ）能（ヨク）以禮讓爲國乎何有（國ヲ治メマシ、テカト訓ム、）○歟同上糞土之墻不可杇也、於予（ヲ）ニオキテ誅（メ）何（ソシラ）ン、○矣乎（マセウヨ）子曰已矣乎、吾未見能見其過而内自訟者也、○哉（マヌヨ）憲公之論將卒（ヲ）有味哉有味

歟止後置詞ナル者ノ字ニハ、幾許ノ作用有リヤ、

三八〇●二有リ、一ハ則チ他ノ詞ヲ私造名詞ト爲サシムルノ作用有リ、王見大王之狗臥者（ヲ）ス臥起者（オキル）

歟止後置詞ナル者ノ字ニハ、幾許ノ作用有リヤ、

三八〇●二有リ、一ハ則チ他ノ詞ヲ私造名詞ト爲サシムルノ作用有リ、王見大王之狗臥者（ヲ）ス臥起者（オキル）

善乎司馬光之言也、○夫同上悲夫一人之身分而至於塗人、以上ハ皆其語ヲ婉ニスル爲ニ用ル者、○也ヤ必也射乎、○矣イ子曰巧言令色鮮矣仁、○乎ヤ於是乎言之、○焉ヤ同シ、乎ト有動於心必於草書焉發之、以上ハ皆其語ヲ勁スル爲ニ用ル者也、○惡乎成名、此乎ハ唯響ヲ助ル爲ニ用ヒ、

善乎（アリマス）司馬光之言也、○夫同上悲夫一人之身分而至於塗人、以上ハ皆其語ヲ婉ニスル爲ニ用ル者、○也ヤ必也射乎、○矣イ子曰巧言令色鮮矣仁、○乎ヤ於是乎言之、○焉ヤ同シ、乎ト有動於心必於草書焉發之、以上ハ皆其語ヲ勁スル爲ニ用ル者也、○惡乎成名、此乎ハ唯響ヲ助ル爲ニ用ヒ、

者（ウミノテキ）直犯闕矣、○奉育之勇而死死者（シトイフモノ）人之所必不免、●有正考父者（イフモノ）佐宋、●鴻臚館者（イフモノ）爲外賓所置也、

指示後置詞ノ例

外無一甲之援、●天下之学者、○徳川世良田諸族、皆新田氏自出、

者（ウミノテキ）直犯闕矣、○奉育之勇而死死者（シトイフモノ）人之所必不免、●有正考父者（イフモノ）佐宋、●鴻臚館者（イフモノ）爲外賓所置也、

指示後置詞ノ例

外無一甲之援、●天下之学者、○徳川世良田諸族、皆新田氏自出、

起行者（ユクモノ）行止者（トマルモノ）止ノ句ノ者ノ字ノ如シ、一ハ則チ分詞狀ノ作用有リ、即チ孔子對曰有顔回者（ナルモノ）好學ノ句ノ者ノ字ノ如シ、何ナレハ凡ソ此ノ如キ者ナル辭ハ、動詞ノ謂ナル辭ト指示代名詞トノ作用ヲ兼ケ掌レハ也、

三節　後置詞ノ雜類

後置詞ニモ亦指示ノ辭有リヤ、

三八一●曰有リ、即チ爲大軍襲來之勢ノ之ナル辭ト禍何自來ノ自ナル辭等ノ如シ、

後置詞ニモ亦響ヲ助ケ趣ヲ成スノ辭有リヤ、

三八二●幾許ノ許ナル辭ヤ、古來朝來從來近來等ノ來ナル辭ハ、乃チ只響ヲ助ケ趣ヲ成ス爲ニ用ル所ノ

起行者（ユクモノ）行止者（トマルモノ）止ノ句ノ者ノ字ノ如シ、一ハ則チ分詞狀ノ作用有リ、即チ孔子對曰有顔回者（ナルモノ）好學ノ句ノ者ノ字ノ如シ、何ナレハ凡ソ此ノ如キ者ナル辭ハ、動詞ノ謂ナル辭ト指示代名詞トノ作用ヲ兼ケ掌レハ也、

三節　後置詞ノ雜類

後置詞ニモ亦指示ノ辭有リヤ、

三八一●曰有リ、即チ爲大軍襲來之勢ノ之ナル辭ト禍何自來ノ自ナル辭等ノ如シ、

後置詞ニモ亦響ヲ助ケ趣ヲ成スノ辭有リヤ、

三八二●幾許ノ許ナル辭ヤ、古來朝來從來近來等ノ來ナル辭ハ、乃チ只響ヲ助ケ趣ヲ成ス爲ニ用ル所ノ

比ト然ノ例

如牛元翼比者爲不少○因襲之久如君臣然、

辞也、何ナレハ此等ノ辞ハ何ノ義モ無ケレハ也、

其他ノ後置詞ハ若何ン、

三八三●ソハ古人カ註シ相比スルノ辞ト云ヒシ所ノ比ト然ナル両辞是レ也、即チ僅如毛髮比ノ比ナル辞ト閨門之内若朝廷然ノ然ナル辞ノ如シ、

有尾副詞ナル浩乎ノ乎ヤ、欣然ノ然ヤ、鏗爾ノ爾ト勉焉ノ焉等ノ如キモ、亦後置詞ノ属ナルヤ、

三八四●曰然リ、

第八段　接轉詞

首節　接轉詞　舊名接續詞、用字明辨ニ在リ、分チ接語辞・轉語辞ト曰フ、

接轉詞ハ分チ幾許ト爲スソ、

三八五●則チ接詞ト轉詞ノ二ニ分ツ也、

接詞トハ何ヲ謂フソ、

三八六●或ハ上ノ辞ト下ノ辞ヲ接續シ、或ハ下句ヲ以テ上文ヲ承繼スル者、並ニ之ヲ接詞ト謂フ、

入則孝ノ句ト敗績而退ノ句ニ於テハ、何ナル辞カ接詞即チ接續詞ナルソ、

三八七●則ト而ナル辞カ、則チ接詞即チ接續詞ニシ、而シテ所謂上ノ辞ト下ノ辞トヲ接シ續ク者也、何ナレハ則ナル辞ハ入ナル辞ト孝ナル辞トヲ接續シ、而ナル辞ハ敗績ナル辞ト退ナル辞トヲ接續スレハ也、

接詞ニ用ル所ノ而ノ字ハ何如ナル義ゾ、

接詞雜例

泰山不讓土壤故大、○先是新羅海寇至故有此命、○死則皮面扶眼、○信長知其可用也、乃許之、○於是乎始有武門之稱焉、○欲以此汚之、○是亾國之樂也、○古

之君子、其責已也周、以重、●其待已也廉、○何必讀書然後爲學、○於是颶風大作、○僅赦三人皈國、以語其主、○乃送屍六波羅撿之、○京師乃安、○蓋其爲人酷肖秦皇漢武、而雄才大畧遠出其右、

三八八●ソハ而（シカフシテ●ソフシテ）ト訓ミ、而シテ重ネ語ルノ辞也、即チ敗績而退ノ句ノ而ナル辞ハ、敗績シタル上ニ退キ去リシヲ云ヒ現ハセシカ如シ、

軒轅乃習用干戈、以征不享ノ二句ト、縱火第外戰煙焰中、如此者両晝夜ノ三句ニ在リ、乃ナル辞ヲ除クノ外、孰カ接詞即チ接續詞爲ルゾ、

三八九●其接詞ノ如キハ、則チ是レ以ナル辞ト如此者ナル辞ノ二ニシ、而シテ所謂下句ヲ以テ上意ヲ承ケ繼ク者也、何ナレハ征不享ノ三字ハ、以（ソレヲモツテ）ナル辞ヲ以テ上ノ軒轅乃習干戈ノ意ヲ承ケ接シ、両晝夜ノ三字ハ如此者（カクノゴトキモノ●コンナコト）ナル辞ヲ以テ縱火第外戰煙焰中ノ二句意ヲ承ケ繼ケハ也、

接詞ノ例

財聚則民散、財散則民聚、○則是宦官宮妾之孝於其親、○乃是朋邪之人爾、○即是聖賢之心、○蓋將弔而更以賀也、○因飲泣不能語、●仍持節將蜀滑襄荊、○因爲作詩以遺之、○因

上ノ辞ト下ノ辞トヲ接續スルニ於テ、專ラ用ル所ノ接詞即チ接續詞ハ如何ン、

三九〇●此ハ則チ以（モツテ●ソレヲモツテ●コレヲモツテ●ヨツテ）而（シカフシテ●ソフシテ）則（ハ●レハ●スナハチ）乃即廼便等モ是ニ同ジ、等ノ辞也、然リ而シテ且ナル辞モ亦時ニ之ヲ用ヒ、故ナル辞ハ罕ニ之ヲ用フ、

其他ノ接詞ハ、大抵皆上句ト下句トヲ接續スルノ辞ナルカ、

三九一●曰然リ、

圖ヲ設ケ接詞ヲ類擧シ、以テ其概ヲ知ラシメヨ、

三九二●左圖ニ引援スル所ハ、則チ其雜也、

接詞ノ圖

則（ハ●レハ●スナハチ）富則多事、壽則多辱、●舍乎此、則夷狄矣、

以爲實能之○所以（ユヘニ故ト同シ）所以要先決於心、詳度本末○何也素所自樹立使然也、●何者其身可愛而盜賊之不足以死也、●何邪詩經之道發○甚至其片言隻字○斯コレニ●斯ハ此ヲスナハチト則ノ間也子游曰事君數斯辱矣朋友數斯疏矣、○是啓之也、●茲所謂惑矣、●惟我后之德、○此乃秦之所以吞二天下一也、○此以盡歛之無厭也、○是乃畏天下議己、●是以見殺、●斯以奇矣、○繇是拜衛兵曹之命、●因此又煩聖慈、○以此終其身而名後世、●用是爲天子爭臣、○爲是舉移是一、○於是乎命之以官、

○乃同上 夫我乃行之、●周公曰天子不可戲乃封、小弱弟於唐、○即同上 不文即俚俗矣、●與聊城共據期年之敝即臣見公之不能得也、○廼同上 至始皇廼竝天下、●廼以其子妻之、○便同上 官滿便終老嵩下、●單于謂陵不可復得便欲引還、○以ソレヲモッテ●コレヨソヲモッテ無厭爪牙以爭食也、●造書契以代結繩之政、○而ニカウシテ●ソウシテ羅而致之幕下、●項籍反是而亡不亦宜乎、○故ユヘニ 河海不擇細流故深、●養犧牲以庖厨故曰庖犧、○蓋●ソハ●ソノワケハ●ユヘニ自是不復度弟子蓋化之也、●蓋尋常尺寸之間耳、○因ヨッテ因與來往、○何則ナゼナレバ●何者等モ是ニ同シ、何也●何邪何則堅刃易牙閔方三子彼固亂人國者、○此コレ是●斯●茲●惟此自然之理也、○是故コノユヘニ是故爲下者不獲罪於上、○是以コノユヘニ●ソレモ●斯以●是以君子遠庖厨也、○由是コレニヨッテ繇是●由此●因此緣此●由之●由斯等皆相同シ、由是閣下之庭無穢之跡矣、○以是○以故ユヘヲモッテ即直方女所生以故時政頗屬意于賴朝、○於是コニオキテ宗任來戰敗績而退於是負任自將精兵八千人心者如是其遠也、如此●若是●若此●若然ハ皆此●於是●於斯●於此●於茲●於是ト同シ、○若是カクノゴトキ●カクノゴトク 其於人心者如是其遠也、如此●若是●若此●若然ハ皆此●於是●於斯●於此●於茲●於是ト同シ、○若是カクノゴトキ●カクノゴトク 其於相同シ、○然而●然則シカレバスナハチ●カクノゴトクニシテ然而不王者未之有也、如是而●若此●而モ相同シ、○然則シカレバスナハチ●カクノゴトクニシテ然而不王者、將不諟於地下矣、如此則●若是則●若是乎モ同シ、○如此者カクノゴトキモノ●コレヲモッテ若此者非愈之所能也、如是者●若然者モ相同シ、○自是コレヨリ

○如此看來、安有真之是處、●如是三年國衰、○如是者、身危、○自此必漸衰散、○夫如此、則安得而不言、○當此時也、天地爲陵震怒、●方是時劉氏安矣、○由此觀之、王氏之福蓋未艾也、○繇是而言、夫豈有求而爲哉、○夫自百家之言、而後有六自是潮之士皆篤於文行、自此・自茲・從此・從茲モ相同シ、○夫是故是以去疾而得死、夫是以ハ是ト同シ、○夫然、ソレシカリ・夫ソレカノゴトシ如是ト同シ、夫然故災害不生、○當是之時ニアタリテ當此時・當此之時・當此時也・當是時也・當此之際テ當此時・當方是之時・於此之時・及是時等皆相同シ、當是之時自由黨興焉、○由是觀之コレニヨリコ由此觀之・繇是觀之・自是觀之・以是觀之・以此觀之等皆相同シ、由是觀之猶百剛強不能忍之氣、○由是言之コレニヨリコ繇是而言・以此而言モ相同シ、由是言之、當亮得辭之時、亮之年八十六、○云爾カクイフユヱ所以然者ハ・カクノワケハ是ナル辭ハ何ヲ以テ其類此ノ如ク多キヿ、

經、●然後一決於書、○且周公以王之言不可苟焉、○且又淮北宋地、楚魏之所欲也、○其餘輔而相者周於天下、猶且絶於陳、○拜臣郎中、尋蒙國恩除臣洗馬、○繼而有師命、○延及齊民至今號稱易治、

古韻通用ノ解

儉喪與其易也寧戚、○且カツソウヲ且先賀其得賢主人ヲ學臣召而敎之、更不考定高下、○猶ナホ・ソレデサヘモ猶且モ亦同シ、正直行々焉如退之、猶所云若是、○加シカノミナラス・クワフルニ加之モ同シ、三河宛陳亦然、加以商賈、○繼ツヾキテ繼之・尋・旋等モ皆同シ、文帝既下江南、繼事夷狄、○與ト今之時與孟子之時又加遠矣、○及ナラヒニ孔子如蔡及葉、●兼ニ金帛以獻乞和、○俗同上以城伐叛將敗、○延ヒキヨブ延及モ相同シ、俗化之厚、延于靈獻、○況マシテ・猶モ同シ、況万々無此理、○而況シカシテ・ソレデモシテ・而況ソレデモシテ乎モ同シ、而況以其戲乎、

釋

或ハ同韻或ハ通韻或ハ近韻ノ故ヲ以テ、古人カ之ヲ通用セシ概ヲ言ヘハ、只翅唯惟止啻祇徒等ヲ用ヒ(タヽ)ノ義トシ、又莫毋無ノ如キ、則即ノ如キ、乃廼ノ如キ、幾(イクバク)ノ代リニ何(イクバク)ヲ用ヒ、又幾何(イクバク)ヲ熟用スル等ノ如キ、枚擧ニ勝ヘス、學者其レ當ニ焉ヲ推知スヘシ、

純接詞ノ辨

純接詞ハ皆是レ人ノ口ヨリ發スル所ノ聲音ヲ寫ス者ナル、猶淋漓髣髴等ノゴトシ、夫レ然リ、故ニ其辞ニ義有リテ字形ニ義無シ、故ニ其居ク所ノ位ニ由タ多キヤ、

三九三。是此茲斯之惟ハ皆通韻ニシテ同義也、夫レ然リ、故ニ古人意ニ随ヒ之ヲ取リ用ヒシガ故也、

然ラハ則チ何(ド)ノ字ヲ用ヒ、宜ク常用ト爲スソ、

三九四。當ニ是此ノ二字ヲ用ヒ而シテ常用ノ者ト爲スヘシ、唯是ハ婉ニシテ此ハ勁、是ヲ小異ト爲ス、

斯ナル辞ハ如何ン、

三九五。斯モ亦相同シ、獨リ上文ヲ承接スル者大ニ同シカラス、故ニ斯ハ則ト同シト古人云ヘリ、然モ其實同シカラス、蓋斯ハ(コヽニ)ト訓ミ、而シテ其作用ノ如キハ、此ナル辞ト則ナル辞ノ間ニ在リ、即チ魯無(レ)君子斯焉(ヲ)取(ル)斯(ヲ)ノ上ノ斯ノ如シ、

上圖ニ就テ之ヲ言ヘハ、則チ接詞ハ何其類ノ甚

三九六。ソハ其種属ヲ概擧スルカ故也、苟ニ之ヲ區別スレハ、必モ此ノ如ク多キニ非サル也、

然ラハ則チ其區別ハ如何ン、

三九七。一ニ曰純接詞、二ニ曰熟語接詞、三ニ曰假接詞、而シテ假トハ他ノ詞ヲ假リ用ル者ヲ謂フ、

純接詞ヲ又分ケ幾許ト爲セハ、純粹ナル接詞ノ骨即チ其本體ヲ呈露スルヲ得ルヤ、

三九八。純接詞ニ母ト子ノ別アリ、而シテ其子ナル者ハ皆其母ヨリ生出シ、即チ變化シタル者也、故ニ其母ナル者ヲ別ニ母接詞、其子ナル者ヲ子接詞ト號シ、分ケ以テ二ト爲ス、假接詞モ亦然リ、即チ左圖ノ如シ、

テ、種々ノ義ヲ生シ窮リ無シ、則チ下圖ノ附假名ヲ看テ焉ヲ知ルヘシ、

假接詞ノ解釋

及ハ本ト動詞也、夫ノ孔子如蔡及葉ヲ孔子如蔡而及葉ニ改メ作レハ、則チ及ハ動詞也、今乃チ而ノ字ヲ除キ、如蔡及葉ニ作リシヲ以テ、

純母接詞ノ圖

則ハ●スナハチ●トキハ●カクノコトケレバ●コヽニオキテ●即ハ●スナハチ●トキハ●コヽニオキテ●スクニ●トリモナホサス●則ト同クシ、而シテ其用稍狹キ也、○乃スナハチ●ヨツテ●ハ●ヨツテ●コヽニオキテ●廼同上○便即ト同シ、只近來古文中ニ多ク之ヲ用ヒス、○以モツテ●ソレヲモツテ●コレヲモツテ○而シカフシテ●ソフシテ●然同上、唯多ク之ヲ用ヒス、○故ユヘニ●カルガユヘニ○蓋ソハ●ソノワケハ●ナゼナレバ●オモフニ●ユヘニ●コノユヘニ●コヽニオキテ○且カツ●ソノウヱ●ソウシテ且ナル辞ハ往々而ナル辞ノ如ク用フル者有リ、

子純接語詞

則是則ナル辞ノ變、○即是即ノ變、○乃是乃ノ變、○而後而ノ變、○然後然ノ變、○然而シカリシカフシテ●シカリソフシテ然ト而ノ變、○是故コノユヘニ●夫是故ソレコノユヘニ●以故ユヘヲモツテ此三ハ故ノ變、○且又カツ且ノマタ變、

母假接詞ノ圖

是コレ●此茲斯惟ノ四ハ皆相同シ、故ニ畧ス、○因ヨツテ●カミノコトニヨツテ●由●

及ノ字忽チ其作用ヲ失ヒ接詞ト爲レリ、然モ動詞ハ自ラ動詞也、故ニ如蔡及葉ヲ蔡ニ如キ葉ニ及フト訓ムモ通シ、而シテ及ノ字始テ動詞ノ本色ヲ顯ハス也、凡ソ假接詞ハ皆是ト同ク、假ニ用テ接詞ト爲スモ、而モ其實ハ毫モ其本

仍並ニ同上、○也ヤ●スナハナ○又マタ○更サラニ○猶ナホ○加シカノミナラス○繼ツキテ○與ト○及ナラヒニ○兼ナラヒニ○俗ナラヒニ○延ヒキテ○況

子假接詞ノ圖

是乃●是則●以是●是以●自是●正是●於是●夫是以●由是觀之●以是言之以上ハ皆是ノ變○因以●因爲ヨツテタメニ●因爲是此三ハ因ノ變、○猶且猶ノ變、○加之加ノ變○繼而繼ノ變○延及延ノ變也、然レ圧其實ハ延及カ正ニシテ、延ハ其畧ナリ、

熟語接詞ノ圖

如此夫然●夫如此●若然者●如此者●然則●若然●若此則●如是等ハ、皆其變化ナリ、○所以言者○云爾○當是時○何也○甚至

其餘ニ猶假接詞ト稱ス可キ者有リヤ、

三九九●實ジツニ誠マコトニ正マサニ皆ミナ共トモニ率オホムネ舉皆スヘテミナ時則

分ヲ失ハサル也、其餘ハ當ニ是ニ由テ焉ヲ推知スヘシ、

假接詞例

『正是天與陛下經營之時、○『固一世之雄也、○『良有以也、○亦可ニ以爲ス成人ト矣、

辭ノ例

臣竊ニ爲ス殿下危ム之ヲ爲ス殿下計ヲ』者、宜ク赴ニ那古耶ニ云々、

助響接詞例

子曰、聖人吾不ㇾ得ㇾ而見ㇾ之ヲ矣、○雖モ有ㇾ百盤、可ㇾ得ㇾ而間ㇾ哉、○今ニ而爲ス之ヲ、○『繼キ而有ニ師命ニ』

此等ハ而テト訓ス可シ、

名詞ニ動詞ノ作用ヲ兼ネ爲ス可ㇾ謂ㇾ(イフ)ヘシ等ノ若キ辭ヲ以テ、緊ク上文ヲ斷スレハ、則チ其辭ハ必ス接詞ノ作用有リ、何ナレハ其辭ハ緊ク上文ニ接シ斷スルカ故也、故ニ此ノ如キ者ヲ指シ假接詞ト曰フ、其レ豈不可ナランヤ、

然ラハ則チ一二ノ例ヲ引援セヨ、

四〇〇●即チ而君以疾卒ス實ニ治平三年四月也ノ實ナル辭ヤ、東南受ㇾ漢江淮ヲ』宛モ亦一都會也ノ宛(アタカモ)ナル辭等ノ如シ、

奇異ナル接詞有ラハ、則チ之ヲ教ヘヨ、

四〇一●此ハ即チ者(スナハチ)ナル辭也、何ナレハ者ナル辭ハ常ニ句尾ニ在リ以テ、直ニ下文ニ接シ、而シテ其作用ハ則ノ字ト同ジケレハ也、

例ヲ引キ尾ヲ以テ接スル所ノ者ヲ教ヘヨ、

四〇二●ソハ無他ノ奇道ニ其敗必ス矣ニ爲今ノ計ヲ』者陛下復幸ニ叡山ニ云々ノ』者(スナハチ)ナル辭ノ如シ、

接詞ニモ亦唯響ヲ助ルノミニ用ル者有リヤ、

四〇三●民無ニ得而稱ス焉ト』使ム人不ㇾ得而知ㇾ焉ヲ』ト』ノ兩ノ』而ノ字ノ如キハ、唯其發音ヲ快美ニスル爲メニ用フル者也、故ニ之ヲ助響接詞ト謂フ、

今而既而由此而觀之等ノ』而ノ字モ亦同キカ、

四〇四●曰然リ、而ナル辭ニ大異ナル用法有ラハ之ヲ教ヘヨ、

四〇五●ソハ甘茂之吏道而聞ㇾ之ヲ』ノ而ノ字孟嘗君怪ニ其疾也衣冠而見ㇾ之ヲ曰ノ』而ノ字等ノ如キ是レ也、何ナ

シムル所ノ而ノ字ノ例

清盛意頗解禮而遣之、此禮而ハ禮ヲ施シテノ義ナリ、敵爭蹙之、菴原麾而進、此麾而ハ麾ヲ打振リ指揮ヲ爲シテノ義、

轉詞ノ雜例

及藤原氏以外戚世執政權、○至貞觀之後、○不若赴東國倚

レハ此等ノ而ナル辞ハ、其頭ニ戴ク所ノ名詞ニ動詞ノ作用ヲ兼ルヲ爲サシムルノ作用有レハ也、

註 其故如何ントナレハ、道而聞之ノ名詞ナル道ノ字ハ、而ノ字ヲ尾ニ得タルニ因テ、道ニ(在テ)ノ義ヲ兼ネ現ハシ、衣冠而見之曰ノ名詞ナル衣冠ノ二字ハ、其尾ニ而ノ字ヲ得タルノ故ヲ以テ、衣ヲ(衣)冠ヲ(冠ス)ノ義ヲ兼テ云ヒ顯ハセハ也、

二節 轉詞 旧名轉語辞

轉詞即チ轉語辞トハ、何ナル辞ヲ謂フゾ、

四〇六● 上ニ黒シト云ヒシヲ忽チ白シト云ヒ易ヘ、上ニ智ト云ヒシヲ忽チ愚ト云ヒ易ル等ノ處ニ於テ、其間ニ一二ノ辞ヲ挿ミ以テ其云ヒ換ヘルノ意ヲ示

其豪族、○奈何熙寧以來誤於安石、○不圖今日始覩太平之象、○縱江東父兄憐而王我、何面目復見、○今日之事、縱令公老耄發事、○否者請幸於此耳、○既而筑前守文屋善友與新羅戰破之、

小轉省語詞及ニ若ノ字ノ例

ス者有リ、此レ之ヲ轉詞即チ轉語辞ト謂フ、

然ラハ則チ轉詞ハ接詞ノ属ニ非サルカ、

四〇七● 亦是レ一種ノ接詞也、何ナレハ轉詞ハ則チ緊ク上文ノ意ヲ承接シテ轉スル者ナレハ也、

轉詞ハ分ケ爲スヤ幾許ニ、

四〇八● 分ケ以テ小轉詞ト大轉詞ノ二ニ分ツ也、

小轉詞トハ何如ナル作用ノ者ヲ謂フゾ、

四〇九● 或ハ一句中ニ於テ轉シ語ル者、或ハ轉シ語ル一二句ナル者、或ハ轉シ語ル勢ヒノ七八句ニ及フ者等ハ、皆小轉詞ト爲ス、

小轉詞ノ研究ハ、何ナル辞ヨリ始ム宜(キ)ゾ、

四一〇● 我學士ノ覚ラサルノ尤モ甚キ者ハ、小轉省

今既喪ヒ道鑵ヲ、兵力衰削ス、而ヒ偶克ク勁敵ニ、道鑵亦
シ兵力カ衰ヘレハ劣ル宜ツナリ而レ
ニ勁敵一ニ勝ツノ義、○人而ヒ不仁、人ナレハ仁慈ナル宜ツナリ而ル
ニ不仁也ノ義、○太公封ヒ於齊、五月而ヒ報ス政ヲ、五月僅ニ
タノ月数ナルヲ以テ政ヲ報スル能ハサル宜ツナリ而ル
ニ政ヲ報スルノ義、周公曰何疾キ也ッ、○伯禽至ル魯ニ、三年而ヒ報ス政ヲ、
三年ノ月数ハ許多ナルカ故ニ早ク政ヲ報スル宜ツナリ而ル
ニ三年ノ後ニ政ヲ報スルノ義也、周公曰何遅キ也ッ、○一年而ヒ崩ス、一年
僅カナル故ニ崩セヌ宜ツナリ而ル
ニ崩スノ義、○白屋若ク朱門ノ、此レ人事之ヲ惑然者也、

又

臣亮言ス、先帝創業未ダ半ヲ而ヒ中道ニ崩殂ス、創業未タ半途ナラサル故ニ崩殂シテハナラヌ時ナリ而ルニ中道ニテ崩殂セリ、

語詞ヨリ甚キ莫シ、故ニ當ニ焉ヨリ始ムヘシ、

小轉省語詞ハ孰ゾ、

四一一●而シカモ●然シカルニ同上然而同上是レ也、

一句中ニ用ル所ノ小轉省語詞ヲ細教セヨ、

四一二●生ル而ヒ神靈ナル、則チ生レシマヽノ者ハ頑愚ナル宜ク(ベ)ナリ而ルニ神靈ナリノ義也、

豈ト而ノ字ノ斡旋ヲ以テ許多ノ語ヲ省カスヤ、

註 常法ナレハ、當ニ生ル者宜ク頑愚ナル而ヒ神靈ナルニ作ルヘシ、

今乃ルニ此ノ如シ、

且ツ一例ヲ擧ケヨ、

四一三●奔育之勇而ヒ死ノ句ヲ解釋スレハ、奔育ノ勇ハ人ニ過絶スルカ故ニ死ス無キ宜ク(ベ)ナルニ而ルニ死スノ義也、○常法ナレハ、宜ク奔育之勇遠過ル于人故當ニ無カル死ス而ヒ死ス二作ルヘシ、

註 句中ニ用ル所ノ小轉詞ハ、獨リ而ノ字ニ止ルカ、

四一四●曰然リ、且ツ若或雖等ノ辭モ常ニ之ヲ用ス、

其他ノ轉詞ハ、大抵皆上句ヲ承接シテ轉スル爲メニ用ル者ナルカ、

四一五●曰然リ、

上句ヲ承ケテ轉スル爲メニ用ル所ノ小轉省詞ヲ引教セヨ、

四一六●是二人者未始不相須也、然而千百載乃一相遇焉ノ二句ヲ解釋スレハ、則チ是ノ二人ハ未タ嘗テ

今天下三分、益州罷弊、此誠危急存亡之秋也、然侍衛之臣不懈於內、忠志之士忘身於外、（危急ノ時ナレハ侍衛ノ臣モ忠志ノ士モ四方ニ離散スル宜ツナリ而ルニ侍衛ノ臣モ忠志ノ士モ離散セス事ヲ務ルノ義也、）

小轉翻振詞例

不然天下其誰不曰道在我、○不然則齊晉之與國也、○不則

相待タサルニアラサル也、然レハ則チ度々相遇フ宜ツナリ、然ルニ千年ニ僅カ一度相遇フノ義也、夫レ然リ、故ニ其作用ハ全ク小轉省語詞ナル而ノ字ニ同シ、

小轉省語詞ノ外、小轉詞ヲ分ケ幾何ト爲スゾ、

四一七●小轉翻振詞、小轉両関詞、小轉假設詞、小轉進歩詞、小轉疑語詞、小轉含耳詞、雜小轉詞ノ七ニ分ツ、

小轉翻振詞トハ何ヲ謂フゾ、

四一八●ソハ一轉シ以テ上文ニ反對スル所ノ說話ヲ言ヒ出スノ處ニ於テ故意翻ヒシ振フテ轉スル所ノ者ヲ謂フ、即チ不然若愈者亦君子之所宜動心者也ノ不然ヤ、而後增數級之爵、否則終歲不遷ノ否則ノ如シ、

饜飲食馳賢良以歡於朋徒、●願止我父暴行、不則使我速死、○不者（アラサレハ同上）不者若屬皆沮爲所虜、○否（同上）願君留意臣之計、否必爲二子所禽矣、○否則（同上）否則歎曰、君所交皆一時賢儁、○否即（同上）温望帝臨終禪位、否即居攝、

小轉両関詞トハ何ノ詞ヲ謂フゾ、

四一九●ソハ両意相関係シ以テ語ルノ時ニ當リ、其下意ニ轉スルノ際、之ヲ用ヒ以テ斡旋スルノ詞也、抑ナカラ或ハ両意並ニ同辞ヲ用テ之ヲ斡旋スルアリ、知ラサル可カラス、ソハ即チ左圖ノ如シ、

小轉両関詞ノ圖

抑（サナケレバ●タヾシハ●サウデナケレバ）南方強與、抑而強歟、（強デアリマスカ、）●所謂太史者、果其父邪、抑其身邪、（其身デアリマスカ、）○將（タヾシハ●サナケレバ●アルヒハ）非多行可愧知其不可強爲之者邪、將富貴難守薄功而厚饗之邪、（之ヲウケル者デアリマスカ、）○將▮▮▮抑（タヾシハ▮▮▮サナケレバ●ソウデナケレバ）將下民之好惡與彼蒼懸邪、（ヘタヽリマスノカ、）抑蒼茫無端而暫寓其間邪、（寓スルノデアリマスカ、）將▮

小轉兩關詞ノ例

有取乎、有リマスカ、抑其無取乎、無キカ、●求之歟、求メマスカ、抑與之歟、与ヘマスカ、○夫牧人將爲牧邪、爲シマスカ、將爲樵邪、為シマスカ、○雖不足當詩人孟子之謂、抑長育之使成材、其亦可矣○寧正言不諱以危身乎、危クシタモノカ、將從俗富貴以媮生乎、ヌスミマシタモノカ、○豈洛之士大夫能料於前而不能料於後也、カ、サルカ、將執事有待而爲也、ナスノカ、

同假詞ノ例

則僕與數道十年相知、不若茲火一夕之爲足下誉也、○與我處畎畝之中由是以樂堯舜之道、豈若使

■■■抑將 同上 其將往而全之歟、全シマスカ、抑將安而不救歟、救ヒマセヌノカ、○將■■■將■■■ サナケレバ・サウテナケレバ 將諱其嫌遂諱其姓乎、諱ミマシタモノカ、將不諱其嫌乎、諱ミマセヌデアリマスカ、○豈■■■抑■■■ サナケレバ・ソウデナケレバ 豈得之難而失之易歟、失ヒマスカ、抑本其成敗之迹而皆自於人歟、人ニヨリマスモノカ、○寧■■■將■■■ タヾシハ・サナケレバ・ソウテナケレバ 寧誅鋤草茆以力耕乎、耕シタモノカ、將游大人以成名乎、名ヲ成シタモノカ、○雖■■■抑■■■ シカシナガラ・シカシ・サリナガラ・シカレドモ 雖未盡當先王之意、抑其大畧可謂合矣、此抑ノ作用ハ全ク我邦人ノ用ル所ノ雖然ト同シ、

小轉兩關假詞ノ圖

不如 シカス・シカサル 百人揚之無益也、不如絶薪止火而已、○莫如 シクナシ・シクナキ・シクハナシ 欲人勿聞、莫如勿言、○與■■■不若 不如ト同シ、與其發於遠而禍大、不若發於近而禍小、○與■■■孰若 シカン・ナンゾ 豈若 曷若モ亦同シ 與其有樂於身、孰若無憂於其心、○爲■■■孰若 同上 大駭將殺童遽曰、爲兩郎僮、孰若爲一郎僮邪、孰若ノ不如逆落詞耳、

小轉兩關詞ニモ亦或ハ小轉省語詞ノ若キ者有リヤ、

四二○●ソハ即チ豈愈所謂其人哉、其人デ有リマセウカ、抑未聞後進之士有遇知於左右獲禮於門下者ノ抑ノ如シ、

註 何ナレハ此ハ則チ其人ナラハ後進ノ士ノ左右ニ遇知セラレテ師禮ヲ門下ニ獲ル者有ルヲ聞ク宜ナルニ抑ナガラ之レ有ルヲ聞カスノ義ニシ、即チ豈愈其人哉、果然則宜聞後進之士有遇知於左

是君爲堯舜之君哉、

小轉假設詞ノ實者ノ例

嚮令三師聽獨行、慕通達、○鄉使二世有庸主之行而任忠賢、（此二ハ並ニ假使ノ作用也、）

右獲禮於門下者抑未聞後進之士有遇知於左右獲禮於門下者ノ省筆ナレハ也、

小轉假設詞ヲ教誨セヨ、

四二一●一節若クハ一段ノ説話即チ文章既ニ畢リシ後、將ニ上文ト反對スル所ノ一説話ヲ言ヒ出シ以テ上ト對照セントスルノ時ニ當リ、一二ノ虚字ヲ以テ之ヲ斡旋シ説キ起ルヲ爲ス者、夫レ此レ之ヲ小轉假設詞ト謂フ、蓋シ假リ設ケ説クノ義也、

其類ハ幾許有ルヅ、

四二二●此ハ則チ虚實ノ二有リ、

先ツ其實ナル者ヲ教ヘヨ、

四二三●向使（サキニモシ）鄉使同上　嚮使同上

同上ノ六ハ、字形異ナリト雖モ、其義ハ一也、

其虚ナル者ハ如何ン、

四二四●設使（モシ）●（タトヘ）又籍令（シメハ）又設令（シメハ）又假令等籍使同上、又籍令作ル、假使同上、又假令作ル、借使同上、借令（モシ）相同シ、就使同上、又就令作ル、縱使同上、又縱令作ル等ノ如シ、又別ニ試使（コヽロミニ）●（シメバ）ナル一辭有リ、

其一字ナル者ハ如何ン、例ヲ引キ之ヲ教ヘヨ、

四二五●即チ設（モシ）有（モ）不幸（ミマカ）王以桐葉戲婦寺（上ト）亦將舉而從（上レ）之乎（從ヒマ（スカ））ノ設ノ字ト●縱（ヘ）大元仁恕（ニレ）天涵地容哀憐（モ）孤臣ノ縱ノ字等ノ如シ、

使ト令ナル辭ハ、則チ命令動詞也、而モ權ニ用ヒテ小轉假設詞ト爲ス可キカ、

同虚者ノ例

試使山東之國與陳涉度長絜大、比權量力、則不可同年而語矣、○使秦王計上世之事、並殷周之迹、以制御其政、○使錯自將而計吳楚、○使籍誠不以畜妻子憂餓寒、○設使其時輔理承化之功未盡章々

如是而非聖人之才而無叔父之親、以上ノ者ハ皆是レ假使ノ作用也、

藉令記之當時好公者少、史其果可信歟、○就使盾爲可責、然穿馬得免也、○假令僕伏法受誅、若九牛亡一毛、以上ハ皆是レ輕撇ノ作用也、

假饒立得功業、只是人欲之私、○假如其

四二六●曰然リ、

然ラハ則チ其例ヲ援ケヨ、

四二七●夫ノ使吳楚反錯以身任其責日夜淬礪東向而待之ノ使ノ字ヤ、使其心不以憂衣食亂ノ使ノ如シ、

小轉假設詞ノ作用ハ皆同一ナルカ、

四二八●曰否、何ナレハ輕撇ノ作用ト假使ノ作用トノ異ナル有レハ也、

假使ノ作用トハ何ヲ謂フゾ、

四二九●ソハ其人若クハ其物ニ云々ノ事ヲ爲サシムルト假リ定メミルノ謂ヒヲ曰フ也、

其例ヲ引キ教ヘヨ、

四三〇●乃チ向使紂惡未稔而自斃武庚念亂以圖存身至今尚在、奉其國命來朝京師、○脫有一人能如翱者、又皆疎遠、○假有見知者千万人、亦何足云耳、以上ハ皆輕撇ノ作用也、

ノ向使ト向使傭一夫於家ノ向使ノ字等ノ如シ、

輕撇ノ作用トハ如何ン、

四三一●ソハ故意ニ其人若クハ其物ノ云々ヲ筭ヘ擧ケ、反テ輕ク之ヲ撇ルノ作用有ルヲ謂フ、

又其例ヲ引教セヨ、

四三二●乃チ嚮令上世之士處乎今世策非甲科ノ嚮令ト假如釋氏能與人爲禍福ノ假如ノ字等ノ如シ、

輕撇ト假使ノ作用ハ、則チ小轉假詞ノ虛者ト實者トニ由テ異ナルカ、

四三三●曰否、ソハ其言ヒ下ス所ノ語勢ニ由リテ異ナル也、

雖ヘ然ルモ假使ノ作用ニ於テハ、則チ何ノ辭ヲ

雖ノ字ノ例

雖馳辨如濤波擒藻如春華○雖或衰之賢足以守國之政不爲敗○雖十易之不爲病

用ヒテ可ナルヤ、

四三四●虚者ト實者ト竝ニ用テ不可無シ、唯其語勢ノ何如ヲ顧ル耳、

雖ナル辞モ亦小轉假設詞ノ類ニシ、而シテ輕撇ノ作用有ルカ、

四三五●曰然リ、唯多クハ之ヲ句中ニ用ル耳、

小轉假設詞中ニ在テ、專ラ輕撇ノ爲メニ之ヲ用フ可キ者ハ、何ノ辞ゾヤ、

四三六●ソハ雖（イヘドモ・タトヘ■■モ）假如（タトヘ■■モ）假饒（同上）借如（同上）設（モシ■■モ・タトヘ■■モ）縱（同上）等也、何ナレハ此等ノ辞ハ、假使ノ作用無キ者ナレバ也、

請フ小轉進歩詞ヲ説ケヨ、

順進小轉進歩詞ノ例

水動則不能鑑物、靜則万物畢見矣、惟心亦然、動則万理皆昏、靜則万理皆徹、○惟

四三七●一節若クハ一段ノ説話即チ文章既ニ畢リ、虚字ヲ以テ斡旋シ、更ニ一歩ヲ進メ而シテ一説話ヲ爲ス、此レ文ノ常程也、而シテ其斡旋スル所ノ虚字ヲ號シ小轉進歩詞ト謂フ、

其進歩ニ於テ法有ル幾許ゾ、

四三八●三有リ、一ニ曰順進、二ニ滅進、三ニ翻進、

先ツ順進ヲ教ヘヨ、

四三九●ソハ順ニ上文ヲ承ケ轉進スル者ヲ謂フ、惟■亦然（サテ■モマタシカリ・サテ■モソノトホリナリ）ナル辞是レ也、即チ是天下之口相似也、惟耳亦然、至於聲天下期於師曠是天下之耳相似也ノ惟■亦然ノ如シ、

然ラハ則チ滅進ハ如何ン、

目亦然、至於子都天下莫不知其姣也、

順落滅進小轉進歩詞例

不惟舉之於口、而又筆之於書、●乃知陛下不惟赦之、又能聽之、○非獨其善可銘、

四四〇●ソハ故ラニ之ヲ提ケテ之ヲ撲滅即チ打消シ、更ニ一歩ヲ進メ説ク者ヲ謂フ、而シテ此ニ逆落ト順落トノ別有リ、

先ツ順落ノ者ヲ指教セヨ、

四四一●ソハ順落語ヲ以テ順ニ撲滅即チ打消ス者ヲ謂ヒ、而シテ不但此(タヾコレノミナラス●タヾコレハカリナラス)ト不獨▌▌(ヒトリ▌▌ノミナラス●タヾ▌▌ハカリナラス)ノ類是レ也、其概ハ左圖ノ如シ、

小轉進歩詞ノ順落滅進ナル者ノ圖

不但此也(タヾコレノミナラサルナリ●タヾコレバカリニアラザルナリ)不寧唯是(タヾコレノミナラス●タヾコレバカリナラズ)是寡大夫不得列於諸卿也、不寧唯是、又使圍蒙其先君、○不獨(ヒトリ▌▌ノミナラス●タヾ▌▌ハカリナラス)是不獨有其德、亦皆務于勤耳、○不惟(同上)不惟有超世之才、亦必有堅忍不拔之志、○不徒(同上)不徒曰此是此非、而賞罰加焉、○不唯(同上)不唯陛下之罪人、實管仲之罪人矣、○不啻(同上)不啻終身受用、且當貽之子孫、○不翊(同上)○不止(同上)○不特(同上)○不獨(不惟不徒不唯等又非獨非惟非徒非唯等ニ作ル、其義ハ異ナル)

無シ、**変** 不惟▌▌惟▌▌(タヾ▌▌タヾ▌▌ノミナラス●タヾ▌▌タヾ▌▌ハカリナラス)不惟其法惟其意、○非惟▌▌爲然也、雖▌▌亦有之(タヾ▌▌ノミシカリトナス)(ニアラサルナリタトヘ▌▌モマタコレアリ)非惟百乘之家爲然也、雖小國之君亦有之、非惟小國之君爲然也、雖大國之君亦有之、

次ニ逆落ノ者ヲ教ヘヨ、

四四二●ソハ逆落語ヲ以テ逆ニ撲滅スル者ヲ謂フ、即チ左圖ノ如シ、

小轉進歩詞ノ逆落滅進ナル者ノ圖

又有平生之舊、○非徒享是五福而已、必將有以致之、○非特好惡之所上下、蓋其久而愈明、○非唯省費、亦且弭怨、

同逆落ナル者ノ例

豈獨祖宗、自古堯舜

寧獨如此而已ナンゾタダカクノゴトキノミナランヤ●寧獨如此而已、惴々焉、惟不得出大賢之門下是懼、○豈獨アニタダノミナランヤ●ナニタダゾノミハカリナランヤ豈獨爲楚盛衰、亦增之所與同禍福也、○豈唯豈惟豈特豈止豈只豈徒豈啻等皆相同ク○豈獨亦然、

翻進小轉進歩

小轉進歩詞ノ減進ナル者ハ、雖ヘ順落ト逆落ノ異有ルモ、而モ其作用ハ並ニ同キカ、

四四三●曰然リ、

ソハ皆含耳詞ノ類ナルカ、

四四四●曰然リ、何ナレハ常程ニ從ヘハ、其句尾宜ニ而已ニナル辭ヲ押ムヘシ、今乃ルニ其十ノ八九ハ而已ナル辭ヲ省キテ之ヲ押マサレハ也、

然ラハ則チ翻進ハ如何シ、

四四五●一節若クハ一段ノ説話●即チ文章既ニ畢ルニ及ヒ、忽チ一筆ヲ提ケ緊ク上文ヲ翻ヒシ撲滅シ、以テ下ニ轉スルノ地ト爲シ、而シテ後一歩ヲ進メ説ク、今夫ノ上文ヲ翻シ撲滅スル所ノ辭ヲ呼ヒ、跡シ以テ減進小轉進歩詞ト爲ス、

例ヲ擧ケ以テ之ヲ教ヘヨ、

四四六●ソハ■則不然(ハシカラス●スナハチシカラズ)ナル辭ニシ、而シテ又■乃不然(ヤシカラス●スナハチシカラス)而不然(シカウシテシカラス●スナハチシカラス)等ニ作ル、即チ今也不然●衣臣庸之衣、食犬彘之食ノ也不然ノ如シ、

小轉疑語詞ハ何如ナル辭ゾヤ、

四四七●説話ヲ語リ下ルニ臨ミ、將ニ故ラニ疑ヒヲ

亦然、○豈獨斯高之罪、自商鞅變法以來、○豈唯用兵、事無不然、○夫豈唯其民之不忘其功以至於是、蓋子孫得其祖宗之法耳、

詞ノ例

聖人則不然、○君子則不然、○今也不然、天下有不幸而訴其寃、如訴之於天、○今之君子則不然、○今則不然、邊境之上豈無可乘之釁、○今乃不然、反昂然自得、○今之世而不然、厚刀布之斂、

生ジ轉セントスルノ時ニ、一二ノ虛字ヲ以テ忽チ之ヲ斡旋スル者、此ヲ名ケテ爾云フ也、即チ左圖ノ如シ、

小轉疑語詞ノ圖

或（モシ）ハ（アルヒハ）●或（アルヒハ）繼（ツイ）周者、○若（モシ）ハ（ナイシ）●若（モシ）ハ（タトシ）臨（ノゾム）是邦者、必皆朝廷ノ公卿大臣、若（モシ）天子之侍從、○儻（モシ）同上儻所謂天道是邪非邪、○倘同上樂工、皆盲、籍倘（モシ）可（キ）與此輩比竝（ナラブ）乎、可キ者デアリマスカ、○設（モシ）●設（アルヒハ）王者之德、在（リ）行（フ）之（ノ）何若（モシ）未（ズ）得其當、○若（モシ）若戲（モシ）而行（フ）之（ノ）、如ハ若ト同ジ、故ニ之ヲ畧ス、

小轉舍耳詞トハ何ノ謂ヒゾ、

四四八●ソハ獨ナル辭ノ一類ヲ以テ其句頭ニ冒シテ轉スル者ハ、本ト宜ニ其句尾ニ耳爾而已等ノ歇止詞ヲ押ムヘシ、而ルニ煩ヲ避ケ之ヲ省キ、而シテ其句中ニ含マシムル者多シ、因テ此一類ノ辭ヲ以テ轉スル者ヲ名ケ、而シテ爾云フ、

小轉舍耳詞ハ、本ト是レ轉詞ニ非サルカ、

四四九●曰然リ、然リト雖モ獨リ古文好テ是ヲ以テ轉換ヲ爲スノミナラス、尺牘ニ在テハ、純粹ナル轉詞然ノ如シ、夫レ是ヲ以テ轉詞ノ屬ト爲ス也、

小轉舍耳詞ノ圖

惟其（タヾソレ）ニ惟其動而不息、是以万物雜然（トシテ）各得其職、○獨（ヒトリ）ニ獨（タヾ）バカリ（ノミ）今子使万里ノ外國、獨無幾微出於言面、○惟同上惟恐四海之内天地之中不得其所、○唯同上唯陛下除誹謗以招切言、○夫唯（ソレタヾ）ニ夫唯智勇之不足以定天下、是以天下之難蠭起、○但

例

終日無覩、但見異類、○惟幸人君辨君子小人而已、○唯恐有變、○直不百歩耳、○唯能前知其當然、○唯是鄙鈍不通曉時事、○臣不敢遠引他事、只以今年内事驗之、○徒曰賞罰之耳、○獨見之於戰耳、○惟其如此、故于今須

成王之德、○有二子之材而不流者、夫惟賈生耳、

純小轉詞例

降及中葉、結爲朋黨之論、○李斯車舊卿、既已焚滅其書、○已乃延客入觀、縱以宴樂、

同假ナル者

無止（ヤムナキ・ヨンドコロナケレバ・ゼヒトモトナレバ）是謀、非吾所能及也、無止、則有一レ馬、鑿斯池也、築斯城也、○殊不知死者、形既朽神亦飄散、雖有刴燒舂磨且無所施、○不識其去者果何事也、●不識可以繼此而得見乎、○臣不意異端漢之間、張耳陳餘號多士、○降及（クタリ）ニオヨヒ●ト同シ

假小轉詞ノ圖

奈（イカンセン）●人賴衣食以生、奈人身所具皆不及禽獸、○無如（同上）無如淺人不知深造之益、只務貪多、○不意（オモヒガケナンダ）●不意今者此論復興、○殊不知其無古今之異者、固未始不可行也、○不知（シラズ）殊不知其無古今之異者、固未始不可行也、○不知（シリマセン）不知楊倨去時城門外送者幾人云々、

小轉詞ヲ用ヒ、以テ大轉詞ト爲スハ不可ナル九、

四五一●曰否々、蓋（ケダシ）顧作者ノ運用ノ如何ニ在ル耳、

四五二●然ラハ則チ何ヲ以テ之カ別ヲ爲スヤ、

作者ノ手腕ニ在テハ、則チ之ヲ互用シ不可莫シト雖モ、而モ小轉詞ハ常ニ多ク之ヲ小轉處ニ用

其（タトヒ）ー（ク）但其不幸仕不遇時、○但（タヾ）ー胡地玄氷、邊土慘裂、但聞悲風蕭條之聲、○徒（同上）初之所以不用者、徒以有仲焉耳、○只（只止祇ハ皆同シ、亦罕ニ祇第顧等モ之ヲ用フ、）

雜小轉詞トハ何ゾヤ、

四五〇●ソハ小轉詞ノ純ナル者ト假ナル者ヲ淆雜スルノ謂ヒ也、雖ヘ然ルモ此ノ如キ則チ初學其別ヲ知ル無シ、故ニ次ニ圖ヲ設ケ以テ其辨ヲ知ラシム、

純小轉詞ノ圖

既（スデニシテ・サルホドニ）既已（同上）既而（同上）已而（同上）已乃（同上）既衝圍阪（サカ）國府、●已而復出相（テ）魏以卒、○至是（コヽニイタリテ●）既（キ）至是益見任用、○及（及ビ）是（コヽニイタリ）迺更（カヘテ）族爲羽柴、至是（同上）及是得蜀鑑、○下至（クタリ）ー（イタリ）ー皆致客無數、下至（クタリ）ー（イタリ）ー皆致客無數、下至（クタリ）ー（イタリ）ー秦

邪説惑誤陛下至於此、

抑ノ字ノ例

豈惟▮▮ 抑アニタヾ▮▮ノミナランヤ

豈惟人聽疑惑 抑マタ恐二祖之霸眷顧依遲不即饗於下國也、

● 豈徒▮▮ 抑亦同上 若其弄筆墨以徼利達而已、豈徒二三子

ヒ、大轉詞ハ恒ニ多ク大轉處ニ用ルハ、蓋勢ヒ也、故ニ之カ別ヲ爲シ、其概ヲ示ス爾、故ニ是ニ拘々スル勿レ、

抑ナル辞ハ我人未タ其蘊ヲ盡サス、敢テ請フ勞ヲ辞セス之ヲ詳教シ、以テ此塲ヲ散セヨ、

四五三● 抑ナル辞モ亦音聲ヲ寫ス者也、是故ニ亦ナル辞ト合スル者ハ、其用ハ亦ノ字ニ在テ、抑ノ字ニ在ラス、即チ硜々然小人哉、抑亦可以爲次矣ノ抑ノ如シ、

註 亦ハ(コレモマタ(ソレモマタ)ト訓シ、両義ニ跨リ渉ルノ辞也、故ニ抑亦モ(コレモマタ(ソレモマタ)ト訓ム可シ、即チ曰不逆詐不憶詐抑亦ソレモマタ先覚者賢乎賢人デアリノ抑亦等ノ如シ、

豈惟吾子不遺抑僕之所遇有時焉耳ノ抑ノ字ハ、

之羞抑亦爲國之憂

亦ノ字ノ例

王曰、叟不遠千里而來亦將有以利吾國乎、此亦ハ蘇秦張儀ノ徒モ亦先生モ亦ト両義ニ跨リ渉ル、

其義亦ノ字ト同一ナルヤ、

四五四● 曰然リ、蓋抑ナル辞モ亦ノ字ノ如ク、彼意ト此意ニ跨ル所ノ詞ニシ、其作用ハ畧相同ケレハ也、

然ラハ則チ亦ナル辞ハ轉詞ナルヤ、

四五五● 曰否、ソハ副詞也、雖ヘ然ルモ常ニ多ク用ヒ以テ轉換ノ用ニ供スレハ、宜ク假者ノ類ト爲スヘシ、即チ王何必曰利、亦有仁義而已矣ノ亦ノ字ノ如シ、

註 此亦ハ古ノ堯舜文武モ亦王モ亦ト両義ニ跨渉ス、故ニ亦(ワウモマタ)ト訓ム、

大轉詞トハ何ソヤ、

四五六● 一節若クハ一段ノ説話既ニ畢リシ後、一轉シ以テ一段ノ大説話ヲ爲サント欲スルノ時、之ヲ斡

純大轉詞例

▌獨不見夫▌▌邪 ▌ヒトリカノ▌▌ヲミマセヌカ 對曰王獨不見夫博者之用梟邪欲食則食●季子謂梁王曰王獨不見夫服牛驂驥乎不可以行百歩○▌不云乎 ▌ニイハスヤ●ソハ▌ニモフシテアリマセンカ 且

旋スル者ヲ大轉詞ト謂フ、

大轉詞ヲ分チ幾許ト爲スヅ、

四五七●純ト假ノ二ニ分ツ也、乃チ左圖ノ如シ、

大轉詞ノ純ナル者ノ圖

至▌▌ ▌▌ニイタリ 至貞觀延喜之後、百度弛廢、○及▌▌ ▌▌ニオヨヒ●同上 ▌▌ニイタリ 及藤原氏以外戚世執政權、●及至▌▌ニイタルニオヨヒ ●迨至 同上 ○請ゴメンヲカフムリ是僕終已不得舒憤懣以曉左右、則長逝者魂魄、私恨無窮、請畧陳固陋、○初ハジメ●サイシヨ 初正成發京也、預知事不濟、●始 同上 始公以唯諾聞長安中、奔人危急、○先是コレヨリサキ●コノコトヨリイセン 先是太尉在涇州爲営田官、●前此 同上 ○夫ソレハサテオキ 夫自百家之言興、○凡オヨソ●ソレハサテオキ 凡春秋之書公書侯、

詩不云乎、豈弟君子、求福不回、○享國日淺、國家無事、及至始皇、奮六世之餘烈、○鰥魚爲潮患已非一日、若果可以驅殺、前此刺史當有行之者矣、○至於不可制、將誰咎哉、雖然成平氏之勢者、○抑又聞古之君子之相其君也、○蓋聞嘗手植三槐

●大凡 同上 大凡文之用四、事以實之、詞以章之、○蓋ツラ〳〵オモンミレバ●サテ●サレバ●ソレハサテオキ 蓋自上古聖神繼天立極、●蓋自天降生民、○今サテ●イマ 今楊子實一匹夫、在位不爲不久矣、○今乃サテシカルニ●イマシカルニ 今乃大得所圖、○若夫モシソレ●モシカノ 若夫霪雨霏々、連月不開、○若其モシソレ 若其左右山川之勝勢、○若廼サテマタ 若廼靈瑞符應又可畧聞矣、初劉媼妊高祖、●若乃 同上 乃若畧上二同シ ○今也イマヤ 今也舉夷狄之法加之先王之教之上、○然サレドモ●カクノゴトキモ●ミキノトホリナルモ 蓋一舉手一投足之勞也、然是物也負其異於衆也、○雖然タトヘシカルモ●タトヘミキノトホリナルモ●シカリトイヘドモ●サレドモ 於是相率以拜其君兄以求齒於聖人、雖然聖人者必欲天下之拜其君父兄、○抑シカシナカラ●ソレハサテオキ 心爲甚、王請

於庭曰、吾之子孫、

假大轉詞例

書辞宜答、會東從上來、○嘗試論之、世俗之所謂至知者、

感詞ナル其ノ字ノ解

句中ニ在テ何ノ指

度之、抑王興甲兵、危士臣、○抑又（サテマタ・マタ〳〵）此一説不可者也、抑又有大不可焉、（抑又ハ其實ハ而又若クハ然又ト同シ、）

大轉詞ノ假ナル者ノ圖

會（デアヒ・デツクハセ）縱火焚之、會暴風起、烟焰掩城、○蓋嘗論之、（ソレハサテオキカツテコレヲロンズ）蓋嘗論之、心之虛靈知覺一而已矣、○請嘗試言之（ゴメンヲカフムリコ、ロミニコレヲイハン）請嘗試言之、天無爲云々、

第九段　感詞

一節　感詞（舊名感歎詞又號間投詞）

感詞トハ如何ナル辞ゾ、

四五八●人ト對話スルノ際、忽然心ニ感スル有リ、覚ス所無キ其ナル字ハ、皆是レ虛斷ノ感詞爲リト雖モ、（ホンニ（ホンニマア）ナル新訓ヲ施セハ、必ス讀者ノ眼ヲ眩惑スルノ處往々之レ有リ、是ニ於テ是ヨリ以上ノ上欄下欄ノ附假名ニ於テ、往々指示代名詞ノ如ク附假名ヲ施シタルヘス口ヨリ發漏スル所ノ者也、

子卿視陵豈偷生之士而惜死之人哉（死ヲ惜ム人デアリマス）

四五九●豈（ナント）ナル辞カ、則チ感詞也、何ナレバ對話ノ際ニ、心ニ感スル有リ虛ニ問フノ辞ナレバ也、

豈（ナント）ト同キ所ノ其ナル辞ヲ敎ヘヨ、

四六〇●ソハ不其然乎不其然乎ノ其（ナント）ナル辞也、何ナレバ不其然乎ハ（ナントソウデハゴザラヌカ）ノ義ニシテ、感シテ虛ニ問ヒ輕婉ニ敲クノ辞ナレバ也、

孝弟也者其爲仁之本歟ノ其ナル辞ハ如何ン、

四六一●凡ソ此ノ如キ其ナル辞ハ（ホンニ（ホンニマア）ト訓ミ、感シ婉ニ斷スルノ意ヲ云ヒ顯ハスノ辞也、

者有リ、ソハ解釋ノ便ヲ取ル也、即チ孝弟也者其爲仁之本歟ノ其ニ(ソレハ)ノ假名ヲ施セシ等ノ如シ、學者其レ之ヲ察シ謬誤スル勿レ、

感詞ノ例

豈洛之士大夫能料於前而不能料於後也、●豈不偉歟、●此豈其憤世疾邪者邪ノ豈其ナル辞ハ如何ン、

四六二●此ハ是レ豈ト其ノ合詞也、故ニ(ナントマア)ト訓ミ、虚ニ問ヒ輕婉ニ敲クノ辞也、

曰惡是何言也ノ惡ナル辞ハ何ソ、

四六三●此惡ハ我(マア(ヤア)ト同ク、心ニ感シ驚ク有リテ覚ヘスロヨリ漏レ出ル所ノ辞也、

拔劍撞而破之曰、唉豎子不足與謀ノ唉ヤア)ナル辞ハ、何如ナル感詞ゾ、

四六四●此ハ則チ心中ニ怒氣ヲ帶ヒシニ因テ覚ヘスロ外ニ漏出スル所ノ辞也、故ニ唉豎子ハ我俗ノ(ヤアイクヂナシメ)ナル詞ニ能ク似タリ、

嗚呼噫嘻我知之矣ノ嗚呼噫嘻ナル辞ハ如何ン、

豈非無功於天而有害於人者乎、●夫豈無一言之幾於道者、○其(ホンニ●ホンニマア)桓魋其如予何、●曰樂其可知也、●如有用我者、吾其爲東周乎、(爲シマセウヨ)●從我者其由歟、●小車無軏其何以行之哉、●如琢如磨、其斯之謂歟、(以上ハ皆是レ虚ニ断スルノ辞、)

四六五●嗚呼噫嘻ハ(ハヽア)ト訓ミ、(ハヽアワカツタ)ト云フ如ク、心ニ悟ル有リ覚ヘズロヨリ發スル辞也、

嗟歎シテ覚ヘスロヨリ發スル所ノ辞ハ何ゾ、

四六六●ソハ嗚呼哀哉●嗚呼哀哉ノ嗚呼(オヲ)ナル辞也、何ナレハ此ハ哀歎スルヨリ覚ヘスロヨリ發スル所ノ辞ナレハ也、

歎美(ホメル)スルノ際ニ、覚ヘスロヨリ發スル者ハ何ゾ、

四六七●嗚呼此其所以爲子房歟ノ嗚呼(ヤア)ナル辞也、何ナレバ此ハ子房ノ子房爲ルヲ歎美スルノ辞ナレハ也、凡ソ此ノ如キ嗚呼ハ又(ホンニマア)ト訓ム、

先生曰吁子來前ノ孰カ感詞ナルゾ、

四六八●吁(ヤア●マア)ナル辞カ、則チ感詞也、何ナレバ先ツ

又例

烏虖（ホンニ・ホンニマア）嗚呼（ト同シ）、烏虖今之君天下者不亦勞乎、（此ハ憐ムノ辞也）●噫（ヤア・ホンニ）子夏聞之曰、噫言游過矣、（此ハ驚キテ呼ヒ掛ルノ辞、）●或曰噫刑戮也、（ホ驚キ恐ルヽノ辞、）○吁（ヤア）吁桀、雖偶能殺湯、天下豈無放桀者邪、（此ハ軽侮スルノ辞、）○嗟乎（同上）嗟乎孟嘗君、特人ヲ觀テ心感ジ、因テ之ヲ呼ヒ進メルノ辞ナレハ也、

輕侮シテ口ヨリ發スル者モ有リヤ、

四六九●曰有リ、嗚呼仲可謂不知本者矣ノ嗚呼（ヤア）ナル辞是レ也、何ナレバ此嗚呼ハ管仲ヲ輕侮スルヨリ覚ヘス口ヨリ發出スル所ノ辞ナレハ也、

豈其ノ二辞ヲ除クノ外、以上ノ解釋ニ因テ之ヲ觀レハ、人ノ心ニ起ル所ノ感情ハ種々異ナリト雖モ、而モ其口ヨリ發スル聲音ヲ寫ス所ノ字ハ、大抵相同キカ如シ、誠ニ然ルカ、

四七○●誠ニ然リ、乃チ左圖其概ヲ觀ス、

感詞ノ圖

虛ニ　豈（ナント）豈求之而未得邪、（得マセヌノカ、）●豈不亦雞鳴狗盜之雄耳、（亦之モ軽侮スルノ辞、）○嗟乎（ホンニ）嗟乎子之言是也、●嗟乎子之責我誠是也、愛我誠多也、今天下之人有如子者乎、●嗟哉（同上）嗟哉董生朝出耕、夜皈讀古人書、（此三ハ皆称美スルノ辞、）○於呼（ホンニ）於呼古之不得其死者衆矣、●於乎（同上）於乎君

問フノ辞　甚明歟、（明テハゴザラヌカ、）●豈非命也歟、（命デハゴザラヌカ、）●其（ナント）曰才難、不其然乎、（ソウデハゴザラヌカ、）

婉ニ断スノ辞　其（ホンニ・ホンニマア）巍々乎其有成功也、煥乎其有文章、●其（ヤア・マア）天之未喪斯文也、匡人其如予何、（匡人カ（マア）予ヲドウスルコトガデキマセウゾト云フガ如シ、）

呼ヒ掛ルノ辞　嗟嗟（ヤア・コリヤ）嗟嗟小子、敬受此書、●咨（同上）咨爾有衆、體予至懷、●帝曰俞、咨垂、

歎美スルノ辞　於戲（ヤア・ホンニマア）於戲前代帝王有盛德大業者、●嗟夫（同上）嗟夫群者、聖人所欲渙以混一天下者也、●嗚呼得賢臣以守大邑、

歎　嗟呼（オラ・ホンニ）嗟呼師道之不傳也久矣、●嗚呼（同上）嗚呼哀哉、公之生於世六十有六

人者亦可以察若言矣、此ニハ嗟歎ノ辞、○嘻同上嘻吾操鏝以入貴富之家有年矣、●嘻噫同上嘻噫區々而言而不知者、○嗟乎嗟乎ヤアヽ●ホンニ嗟乎嗟乎如僕尚何言哉、○嗟夫ホンニ嗟夫世之君子欲求非常之功、○噫ホンニ噫吾疑造物者之有無久矣、及是

息スルノ辞

年、●嗚呼噫嘻同上嗚呼噫嘻、吾想夫北風振漢、●吁同上吁可惜哉、●噫同上噫後之人其欲聞仁義道德之説孰從而聽之、●於戲同上於戲悲矣、●嗟同上嗟吾子美以一酒食之過至廢爲民而流落以死、●噫嘻同上即曰噫嘻我死矣、

感詞雜解

嗟乎ヤア縱觀秦皇帝曰、嗟乎大丈夫當如此矣、此ハ憤慨ノ辞○噫ホンニ一蛇無穴、號于中野、公曰噫、寡人之過也、此ハ悔悟ノ辞也、○咄ハヽア夜皈、私自尤曰咄、市有虎云々、此ハ感悟有ルノ辞、

圖ニ就テ之ヲ觀レハ歎美ト嗟歎ニ用ル所ノ詞ハ、此ノ如ク其類多シ、今常用ト爲ス可キ者ハ、何愈以爲誠有、

ノ辞ナルゾヤ、

四七一●吁噫嗚呼嗟乎嗟夫等ハ、常用ノ者也、其他ハ宜ク其文體ヲ斟酌シテ之ヲ撰用スヘシ、

以上ニ在テ區別セシ所ノ諸詞ノ名ヲ揭擧セヨ、

四七二●一ニ曰名詞二ニ曰代名詞三ニ曰形容詞四ニ曰動詞五ニ曰歇止詞六ニ曰副詞七ニ曰接轉詞八ニ曰前後置詞九ニ曰感詞是レ也、

第十段　諸詞ノ性質及ヒニ關繫

首節　名詞ノ関繫及ヒニ性質

名詞ノ呼異ニ就テ漢文ト英文ノ煩簡ノ辨

名詞ノ呼ヒ異ヒハ、則チ漢文ハ至テ簡ニシ、而シテ英文ハ極テ煩也、夫レ漢文ノ呼ヒ異ヒハ、下欄ノ解釋畧之ヲ盡スカ如ク其レ至簡也、英文ノ如キハ則チ然ラス、或ハ其辭ノ頭ヲ變シ、或ハ其辭ノ腹ヲ變シ、其辭ノ尾ヲ變シ、甚キハ其辭ノ全體ヲ變スル等、變化百出シ、實ニ

此以下ニ於テハ將ニ何ヲ解釋セントスルゾ、

四七三● 將ニ是ヨリシテ諸詞ノ性質及ヒニ其關係ヲ解釋セント欲スル也、

然ラハ則チ名詞ノ性質及ニ其關係ニ就テ幾許ノ解釋ヲ爲スゾ、

四七四● 蓋ハ乃チ名詞ノ呼異、名詞ノ數、合衆名詞、名詞ノ省畧法、名詞ノ坐次、名詞ノ位ノ七是レ也、

二節 名詞ノ呼異 舊名名詞ノ性

何ヲ以テ名詞ノ呼ヒ異チヒヲ辨スルヤ、

四七五● 其之レヲ辨スル所以ノ者ハ、均ク是レ人ヤ物ト雖モ、陰陽男女ノ異ナル有ルヲ以テ、故ニ其名詞モ亦隨テ其異ヲ生スルカ故也、

然ラハ則チ名詞ニ幾許ノ呼ヒ異ヒ有ルソ、

四七六● 男稱・女稱・通稱・無別稱・順稱ノ五是レ也、

孰カ男性即チ男稱ソ、

四七七● 主上皇太子親王公子等、及ヒニ父男伯父兄弟姪僧等ノ若キハ、皆男ノ稱也、

孰カ女性即チ女稱ソ、

四七八● 皇后皇女夫人等、及ヒニ母女ムス伯母姨妹妻尼等ノ若キハ、皆是レ女ノ類ヲ呼フノ稱也、

通稱トハ何ノ謂ヒソ、

四七九● ソハ男女竝ニ通シ用ル所ノ名稱ヲ謂フ、即チ祖ソ親オヤ子コ孫マゴ人間畜生禽獸又鳥獸トモ虫魚又鱗介、牛馬雞犬等ノ如シ、凡ソ此等ノ辭ハ、皆男ニ屬スル人

其煩ニ堪ヘサル也、是ノ故ニ英文ニ在テハ、其詳悉ヲ茲ニ加ヘサレハ、唯其文ヲ作ル能ハサルノミナラズ、之ヲ讀ムモ亦往々疑ヒヲ生スル有リ、然ルニ漢文ノ呼ヒ異ヒハ此ノ如ク其レ至簡也、夫レ是ノ故ニ学者其概畧ヲ知レハ、則

物ト女ニ属スル所ノ人物ニ於テ、並ニ通シ用ル也、

無別稱トハ何ゾヤ、

四八〇● 大凡ソ其物爲ルヤ、男ニモ非ラス、女ニモ非ラズ、亦通稱ニモ属ス可ラサル有リ、其之ヲ呼フノ名稱ヲ無別稱ト謂フ、即チ宮殿家屋草木河海山嶽等ノ如キ是レ也、

順稱トハ何ノ義ゾ、

四八一● 人ノ生年ノ序次ニ随ヒ、順次ニ其稱呼ヲ異ニスル有リ、夫レ此レ之ヲ順稱ト謂フ、

男ニ用ル所ノ順稱ヲ教ヘヨ、

四八二● 若シ其父母ニ兄弟有レハ、則チ其長ヲ伯父、其次ヲ仲父、又其次ヲ叔父、最末ヲ季父ト曰フ也、

チ文ヲ作ルニ足ル矣、

女ニ用ル所ノ順稱ハ如何ン、

四八三● ソハ男ト同ク、伯母仲母叔母季母ト、其生年ノ順次ニ随ヒ、以テ其稱呼ヲ異ニスル也、

果シテ然ラハ、雞犬牛馬等ノ如キハ、何如カシテ男ト女ノ別ヲ爲シテ之ヲ呼フゾ、

四八四● 古ニ鴛(オヲシ)鴦(メヲシ)鯨(オノジラ)鯢(メノジラ)等ノ字有リト雖モ、盡ク具備セス、是故ニ其男ヲ呼フニハ、牡ナル形容詞ヲ其名詞ノ頭ニ蒙ラシム、即チ牡牛牡馬牡鷄牡犬等ノ如シ、而シテ其女ニ於ルモ亦牝ナル形容詞ヲ以テス、即チ牝牛牝馬牝鷄牝犬等ノ如シ、

草木ニ於テハ之ヲ何如スルゾ、

四八五● 草木ノ男女ノ呼ヒ異ヒニ於テハ、雌雄ノ二

英文ノ單數ト複數ノ區別ノ辨

英文ニ於テ其單數ト複數ノ區別ヲ爲スノ法、蓋二有ル焉、一ハ則チ單數名詞ノ若キハ、其頭ニ必ス冠セシムルニ其字ヲ用ヒ、以テ之カ區別ヲ爲ス也、卽チ雄松雌松雄竹雌竹雄花雌花雄蓋雌蓋等ノ如シ、

三節　名詞ノ數

名詞ノ數トハ何ヲ謂フヅ、

四八六●　ソハ諸ノ名數ニ單數ナル者ト複數ナル者ノ別有ルヲ謂フ也、

單數トハ何ソ、

四八七●　ソハ人ナレハ則チ獨リ一人、物ナレハ則チ唯一物ノミナルヲ謂ヒ、以テ單數ト爲ス也、

複數トハ何ヅ、

四八八●　人ナレハ則チ二人以上、物ナレバ則チ二物以上ナルヲ以テ、稱シ複數ト謂フ、

單ヲ示ス所ノ冠詞 a an ヲ以テシ、複數名詞ノ如キハ、其頭ニ冠セシムルニ其複ヲ示ス所ノ冠詞 the ヲ以テスル也、一ハ則チ夫ノ單數ノ詞尾ノ若キハ、必ス之ヲ常ノ如ク作リ、以テ其單數ナルヲ知ラシメ、夫ノ複數ノ若キハ、其詞尾ニ漢文ニモ亦其名詞ニ於テ英文ノ如キ、判然タル單數ト複數ノ區別有リヤ、

四八九●　曰絶テ之レ無キ也、

雖ヘ然ルモ之カ區別ヲ指南セヨ、

四九〇●　漢文ニ在テ之カ區別ヲ爲サント欲セハ、則チ當ニ泛數單數複數ノ三ト爲スヘシ、

泛數トハ如何ン、

四九一●　ソハ單數ニモ非ラス、亦複數ニモ非ス、只泛然ト云ヒ現ハス所ノ名詞ヲ謂フ也、

例ヲ擧ケ之ヲ指南セヨ、

四九二●　國史略卷一ノ首ノ伐木丁丁ノ句ニ就キ之ヲ言ヘハ、木ナル辭ハ、並ニ泛然之ヲ言ヒ

加添スルニ一ノ字ヲ以テシ、而シテ讀者ニ其複數ナルヲ知ラシムル也、

單數名詞例

國史畧卷一、○文章一篇、○米一升、○茶一斤、○沒後無資臨棺殮所有布衾一條

現ハス者ナル如シ、且ツ人皆驚其不禮ノ句ノ人ナル辭モ、亦是レ泛然ト指シ言フ等ノ如シ、

或者夫ノ伐木披榛ノ木ヤ榛ノ如キ者ヲ以テ單數ト爲セリ、此レ謬リナルカ、

四九三● 此レ大ナル謬リ也、何ナレバ夫ノ伐リ木ヲ披榛ナル語ハ、許多ナル木ヲ伐去リ許多ナル榛ヲ刈リ披ラクノ義ナレハ也、

然ラハ則チ其單數名詞ノ體ハ如何ン、

四九四● 之カ體軀ヲ作ルノ法ハ、則チ物品分數名詞ノ單數詞ヲ以テ、或ハ其名詞ノ頭ニ添冠シ、或ハ其名詞ノ尾ニ加添スル也、即チ其頭ニ添冠スルハ一匹馬一株桑等ノ如ク、其尾ニ加添スルハ馬一匹桑一株等ノ如シ、而モ時ニ之ヲ畧シ一馬一桑ニ作リ、或ハ畧シ以テ馬一桑一ト爲ス等ノ如シ、

其複數名詞ノ體軀ハ如何ン、

四九五● 此モ亦物品分數名詞ノ複數詞ヲ以テス、其名詞ノ頭ニ添冠スルハ、則チ二尾魚三握扇等ノ如ク、其名詞ノ尾ニ加添スルハ、則チ魚四尾扇五握等ノ如ク、其體軀ヲ作爲スル也、亦畧シ六魚七扇ト爲シ、或ハ魚八扇九ニ作ル等ノ如シ、

複數名詞ノ體ヲ作ルニ、猶法有リヤ、

四九六● 曰有リ、蓋一種ノ字有リ、而シテ其複數ヲ示スノ符號ノ如シ、因テ以テ其名詞ノ尾ニ添ヘ、以テ其體ヲ作ル、凡ソ此ノ如キ者、之ヲ複數符號ト號ス、

而已、○一頭牛、○一隻舟、

複數名詞例

出戰袍三領、○源頼光牽駒三十匹、○畫佛五千四百七十餘幅、○與菊池戰爭數回、○造土偶人長八尺、○海濤涌起數十

百里、○溺死千許人、○薨年三十五、○益封一千戸、○自是年年攻戰不息、○外絶救援、人々危惧、○無篇々不妙、

複數符號トハ如何ン、

四九七● 等ナル字是レ也、而シテ之ト作用ヲ同スル者四有リ、徒属類輩コレ也、即チ僧徒醫輩學士属草木類等ノ如シ、

人々家々村々山々等ノ如ク、同一ナル名詞ノ重皆スル者モ、亦稱シ複數名詞ト曰フ可キカ、

四九八● 曰然リ、

其他猶單複ヲ分ツノ法有リヤ、

四九九● 曰有リ、宜ク前後ノ文意ニ由リ之ヲ分ツヘシ、乃チ四年始置史官於諸國ノ句ノ史官ナル名詞ハ下ノ諸國ノ二字ニ由リ其複數ナルヲ知ル等ノ如シ、

四節 合衆名詞 舊名集合名詞

庶人庶物一ニ諸人諸物ニ作リ、群臣一ニ衆臣ニ作ル、

合衆名詞例

搏擊善類無遺、○是時長慶集一部始至、○平氏欲復山陽道、○源氏軍日盛、○決

合衆名詞ノ義ヲ解釋セヨ、

五〇〇● 凡ソ衆多ノ人、若クハ衆多ノ物有リ、而シテ之ヲ一齊ニ云ヒ顯ハス者、是ヲ合衆名詞ト曰フ、

庶人庶物群臣百僚等ノ名詞ハ、複數名詞ナルカ、

五〇一● 曰然リ、然リト雖ヒ特ニ之ヲ呼ヒ合衆名詞ト曰フ、何ナレハ此等ノ名詞ハ皆衆多ノ物ヤ、人ヲ言ヒ現ハスヲ爲セハ也、

新田黨起攻足利尊氏ノ新田黨ナル辞ハ、此レ何ノ名詞ソヤ、

五〇二● 此レ合衆名詞也、何ナレハ一齊ニ衆多ナル新田黨派ノ軍ヲ云ヒ露ハセハ也、

新田黨ナル辞ノ合衆名詞爲ルハ、則チ既ニ命ヲ

意属官軍、○三好黨蜂起作亂、○黨與皆爲卿相、○盡逐衆不逞、○祭群神、賑庶民、

名詞ノ省畧法ノ例

二高以兵数万來圍之、○両川皆從焉、○佐公在東、○今吾遇

聞ク焉、敢テ問フ其特ニ之ヲ分ツハ何ノ故ゾヤ、

五〇三 凡ソ此等ノ名詞ハ、唯常ニ一人若クハ一物ノ名詞ノ如ク看做シテ之ヲ用ルノミナラス、其作用ハ全ク他ノ一人或ハ一物ノ名詞ト同一ナレハ也、即チ國人忿怒ノ國人ナル名詞ヤ、北天利下(アメリカ)ノ聯邦國會賞ス和親敦戰功(ワシントン)ノ句ノ國會ナル名詞等ノ如シ、

五節 名詞ノ省畧法

名詞ノ省畧法トハ何ゾ、

五〇四 凡ソ文章ハ簡ヲ尚フ、因テ高師直高師泰ヲ畧シ二高ニ作リ、吉川小早川ヲ畧シ二川ト曰ヒ、伊豆駿河ヲ畧シ豆駿ニ作リ、右兵衛佐公ヲ畧シ佐公ト曰フ等ノ如キ、之ヲ名詞ノ省畧法ト謂フ、

汝、猶見頭公也、○信豆駿武相五國應之、○清氏出京皈若、○曰朕何如周赧漢献、又曰赧献受制強臣、

英文ト漢文ノ異ヲ論ス

英文ハ名詞ヲ多ク用ヒスシテ、專ラ代名詞ヲ用ヒ、以テ文ヲ行ルヲ式ト爲ス、漢文ハ然ラス、然ル

其他ヲ指教セヨ、

五〇五 之ヲ早悟スル爲メニ國史略ノ神武帝記ヲ以テ之ヲ言ヘハ、其起筆ニ於テ、神武天皇ナル御名ヲ掲出シ、其下文ニ在テハ、之ヲ畧シ天皇云々若クハ帝云々ト曰フ類ノ如シ、

上書尺牘等ニ於テ、其起手ニ或ハ曰ク某帝陛下ト或ハ曰某閤下ト或ハ曰某先生ト書シ、其下文ニ於テ、之ヲ省畧シ陛下云々閤下云々先生云々ト曰フカ如キ、此レ何ノ法ゾ、

五〇六 亦是レ名詞ノ省畧法也、何ナレハ此ノ如キ者ハ、其名詞及ニ其添尾辞ヲ重復スルヲ厭ヒ、因テ之ヲ省畧スル者ナレハ也、

ニ或者漢文ニ於テ名詞ノ添尾辞ヲ重復スルヲ看、以テ代名詞ト爲ス、蓋漢文ハ名詞ヲ重復スルヲ以テ式ト爲スト代名詞ノ何物爲ルトヲ知ラサルニ由ル也、

名詞ノ主坐ノ例

上説ニ由リ之ヲ觀レハ、帝若クハ天皇陛下閤下先生等ヲ重復スルハ、皆代名詞ニ非サルカ、

五〇七● 此ノ如キ者ハ、皆代名詞ニ非サル也、何ナレハ漢文ハ名詞ヲ重復スルヲ以テ例ト爲セハ也、

六節 名詞ノ坐次 舊名名詞ノ格

坐次トハ何ゾ、

五〇八● 蓋ハ名詞ノ坐スル所ノ順次ヲ云フ、

名詞ノ坐次ハ幾許アルゾ、

五〇九● 主ノ坐次、客ノ坐次、塲所ノ坐次、所有ノ坐次、物ノ坐次是レ也、

尊氏敗走ノ尊氏ナル辞ハ、何ノ坐次ニ居ルゾ、

五一〇● ソハ主ノ坐次ニ居ルナリ、

細川顕氏敗走、○京師人民負擔奔竄、○橋已斷、○近士二十餘騎返戰、○直義暴卒、○畠山重忠娶時政女、○帝南走、○初石堂義房三浦高通叛、○義房高通出奔、○義詮與細川顕氏赤松則祐會、○義詮立崇光太弟、○官軍退保男山、○上至鳳

義貞破走尊氏ノ尊氏ハ、何ノ坐次ニ居ルゾ、

五一一● ソハ客ノ坐次ニ居ル也、

尊氏敗走ノ句ニ在テハ、主坐ノ名詞ナル尊氏ハ如何ナル動詞ヲ支配スルヤ、

五一二● ソハ敗走ナル動詞ヲ支配スルナリ、何ナレバ敗走ナル詞ハ尊氏ノ作用ヲ云ヒ現セハナリ、

義貞破走尊氏ナル句ニ於テハ、誰カ動詞ヲ支配スルゾ、

五一三● 主ノ坐ニ在ル所ノ義貞ガ破走ナル動詞ヲ支配スルナリ、何ナレバ義貞ノ作用ガ客ノ坐ニ居ル所ノ尊氏ニ波及スレバ也、

尊氏敗走ノ句ノ如ク、獨リ其名詞ガ其動詞ヲ支

翔、○巡先守雍丘、○賊將尹子奇陷睢陽、○上皇賜御書鎌倉、

目的格ト受ル格ノ解釋

夫ノ主坐ニ居ル所ノ名詞ナル義貞ノ作用ハ、尊氏ヲ目的トシテ、其作用ヲ尊氏ニ及ス如ク、主坐ニ居ル所ノ名詞ハ、多クハ其作用ヲ及配シテ、其作用ノ他ノ名詞ニ及ハサル所ノ名詞ハ、獨リ己ノ作用ヲ現スノミニシテ終ルカ、

五一四●曰ク然リ、

義貞破走尊氏ノ句ノ如ク、主坐ニ居ル所ノ名詞ノ作用ガ客坐ニ居ル所ノ名詞ニ及フ如ク、主坐ニモ一箇ノ名詞居リ、客坐ニモ亦一箇ノ名詞居ルトキハ、主坐ノ名詞ノ作用ハ、必ス客坐ノ名詞ニ及ブカ、

五一五●曰ク然リ、

直義陣伊豆府ノ句ニ於テハ、何カ塲所ノ坐次ゾ、

五一六●伊豆府ナル三字ノ居ル所ガ、即チ名詞ノ塲所ノ坐次ナリ、何ナレバ伊豆府ナル詞ハ、主坐ニ居ルスノ目的アリ、故ニ之ヲ又名ケテ目的ノ坐即チ目的格ト謂フ、且ツ夫ノ客坐ニ居ル所ノ尊氏ナル名詞ハ、主坐ノ作用ヲ受ルカ如ク、客坐ニ居ル所ノ名詞ハ、必ス主坐ノ名詞ノ作用ヲ受クル者ナリ、是故ニ又呼テ受ルノ坐即チ受ル名詞ナル直義ノ陣スル所ヲ言ヒ現セバナリ、

豊太閤賜名刀清正ノ句ニ於テハ、何所ガ名詞ノ物ノ坐次ゾ、

五一七●名刀ナル二字ノ居ル所カ、即チ名詞ノ物ノ坐次ナリ、何ナレバ主坐ナル豊太閤カ客坐ナル清正ニ物ヲ賜ハルヿヲ言ヒ現セハ也、

上嘗御豊樂院觀射ノ句ニ於テハ、何ノ名詞カ主坐ニ居リ、何ノ名詞ガ塲所ノ坐ニ居リ、何ノ名詞カ客ノ坐ニ居ルゾ、

五一八●上ナル名詞ガ主坐ニ居リ、豊樂院ナル名詞ガ塲所ノ坐ニ居リ、射ナル名詞ガ客坐ニ居ル也、

名詞ノ坐次ヲ明拆スルハ何ノ故ゾ、

格ト謂フ、

名詞ノ客坐ノ例

義詮立崇光太弟、○冉求爲季氏將、○畠山重忠娶時政女、○尊氏奉駕走近江、○荀藩奉王趨許昌、○上皇賜御書鎌倉、

名詞ノ所有ノ坐次ノ例

秀頼秀吉之子也、○

五一九●ソハ其句中ノ動詞及ヒニ副詞等ヲ支配スル者ヲ明ニスルカ爲メ也、

然ラバ則チ秀吉奉三法師赴京師ノ句ニ在リテハ奉ナル動詞ト赴ナル動詞ノ作用ヲ、誰カ支配シ、而シテ誰カ其作用ヲ受ルゾ、

五二●主坐ナル秀吉ガ、則チ是レ奉ナル動詞ト赴ナル動詞ノ作用ヲ支配シ、三法師ナル名詞ト京師ナル名詞トガ、則チ其作用ヲ受ル也、

上嘗御豊樂院觀射ノ句ニ於テ、副詞ナル嘗ノ字ト動詞ナル御觀ノ二字ハ、則チ誰カ支配シ、何ガ其作用ヲ受ルゾ、

五二一●主坐ニ居ル所ノ上ナル名詞ガ、則チ其作用

賊圍上皇宮、○實朝在時政第、○景時終頼朝世信寵不衰、○畠山重忠娶時政女、○自踰祠後高阜、○願得將軍之首以献秦王、○汝雖幼稚正成之子、○二孤之變、鎌倉訛傳、

名詞ノ場所ノ坐次ノ例

官軍退保男山、○尊

ヲ支配シ、豊樂院ナル場所ト射ナル客トガ、則チ其作用ヲ受ルナリ、

以上ニ説ク、名詞ノ坐次ノ辨別ニ於テハ、其句中ノ動詞ノ作用ヲ主ル者ハ、則チ獨リ主坐ニ居ル所ノ名詞ニシ、而シテ客ノ坐ヤ、物ノ坐ヤ、場所ノ坐ニ居ル所ノ名詞ハ、皆其作用ヲ受クル者ナルヲ知レバ、則チ足ルカ、

五二二●曰ク足レリ、

場所ノ坐次ヲ作ルニ於テ、其異ナル者ヲ教ヘヨ、

五二三●ソハ於（乎又ハ于ニ作ル）ナル前置詞ヲ以テ、其場所ニ居ル名詞ニ被ラセ、以テ其場所ヲ指示ス、即チ信長撃亡義元於桶峽ノ桶峽ニ於ノ字ヲ冒スルガ如シ、

氏奉駕走近江、○荀藩奉王趨許昌、○上在東宮、○巡先守雍丘、○賊將尹子奇陷睢陽、○克用還晉陽、○上出奔蜀、○父子亡走達旦、

名詞ノ物ノ坐次ノ解

物ノ坐次一ニ賜予ノ坐次ト云フ、然ル所以ノ者ハ、其賜フ

客ノ坐次ニ於テ、其形ノ異ナル者ハ如何ン、

五二四● 蓋一ノ名詞ガ物ノ坐次ニアル時、多クハ前置詞ナル於ノ字ヲ其名詞ノ頭ニ冒シ、以テ其客ヲ指シ現ハスナリ、則チ德川家康與唐皮甲於本多平八ノ句ノ於ノ字ノ如シ、

於ノ字ヲ或ハ省キ或ハ用フルハ、何ノ故ゾ、

五二五● 凡ソ文章ハ、複語ヲ用フルヲ貴フ、故ニ物ノ坐ト客ノ坐ニ居ル所ノ名詞カ、共ニ複語ナレバ、多クハ於ノ字ヲ省クナリ、即チ頼朝賜御書義經ノ句ノ如シ、然ルニ物ノ坐ト客ノ坐ニ居ル所ノ名詞ノ一ガ單ナル時ハ、則チ於ノ字ヲ添ヘ以テ複語ノ如キ響ヲ發セシムルナリ、即チ賜題於諸卿ノ句ニ在テ、於ノ字ヲ

タリ與ヘタリスル所ノ名詞ヲ此ニ居ラシムレバ也、又一ニ貢献ノ坐次トモ云フ、然ル所以ノモノハ、其貢献スル所ノ名詞ヲ此ニ居ラシムレバナリ、

名詞ノ物ノ坐次ノ例

上皇賜御書鎌倉、○長受業子思之門、○

以テ題ナル辭ノ響ヲ助クルカ如シ、

所有ノ坐次トハ何ゾ、

五二六● 其名詞ノ所有ノ物ヲ言ヒ現スノ坐ヲ謂フ、是此加藤清正之片鎌槍也ノ句ニ於テハ、何ノ名詞ガ所有ノ坐次ニ居ルゾ、

五二七● 加藤清正ナル名詞ガ所有ノ坐ニ居ルナリ、何ナレバ加藤清正ハ片鎌槍ノ所有主ナレバナリ、

秀吉之軍大振ノ句ニ於テハ、秀吉ナル名詞ガ所有ノ坐ニ居ルカ、

五二八● 曰ク然リ、何ナレバ大ニ振フ所ノ軍勢ハ、皆秀吉ノ所有物ナレバ也、

公曉提實朝首ノ句ニ於テハ、其所有ノ坐ニ居ル

上賜金銀諸寺、○大宰府始献腹赤魚於朝、

獨リ下欄ノ解釋ノ如クノミナラズ、所有ノ坐ニ居ル名詞ト其所有物ナル名詞ガ共ニ複語ナル時、其間ニ一ノ之ノ字ヲ挿メハ、必ズ惡シキ響ヲ發スルガ故ナリ、即チ秀吉之者ハ、則チ實朝ノ二字カ、

五二九● 曰然リ、何ナレバ此首ハ實朝ノ物ナレバ也、

上ノ解釋ニ由テ之ヲ見レバ、所有ノ坐ニ在ル名詞ハ、或ハ後置詞ナル之ノ字ヲ以テ之ヲ指示シ、或ハ之ノ字ヲ省ク者ハ、何ノ故ソヤ、

五三〇● 凡ソ文章ハ響アルヲ貴ブ、而シテ複語ハ自ラ響有リ、故ニ所有ノ坐ニ居ル名詞ト其所有物トガ共ニ複語ナルトキハ、則チ之ノ字ヲ省クナリ、即チ秀吉大軍大振ノ句ハ、秀吉ナル詞ト大軍ナル詞トガ共ニ複語ナルガ故ニ、之ノ字ヲ省クガ如シ、

單語ニ於テハ如何ン、

五三一● 所有ノ坐ノ名詞カ、其所有物ナル名詞ガ、若大軍大振ノ句ノ之ノ字ノ如シ、今我訓ヲ以テ之ヲ讀メハ、秀吉ノ大軍大ニ振フトナル故、別ニ惡シキ響ヲ生セサレ𪜈、支那法ヲ以テ之ヲ讀メバ、(シウキツシ・タイグン・タイシン)ト爲リ、一ノ之ノ字ノ爲ニ響ヲ惡シクスル、則チ以テ視シ單ナレバ、則チ一ノ之ノ字ヲ添ヘ其響ヲ助クルナリ、而シテ主坐ノ名詞ガ單ニシテ其所有物ハ複ナレハ、則チ帝之大軍大振ノ句ノ如ク作リ、所有ノ坐ニ居ル名詞ガ複ニシテ其所有物ノ單ナルハ、即チ秀吉之軍大振ノ句ノ如ク、之ノ字ヲ添ヘテ作ル也、

然リト雖モ公曉提實朝首ノ句ニ於テ、首ナル辞ハ單ナルニ、之ノ字ヲ省クハ何ノ故ゾヤ、

五三二● 是句ハ蓋シ上文ノ緩聲ヲ受クル爲ニ一ノ之ノ字ヲ省テ其語氣ヲ短縮スル也、

七節　名詞ノ位

名詞ノ位トハ何ゾ、

五三三● 位モ亦坐次ナリ、而モソハ坐次ト稍其作用

ル可シ、

凡ソ文章ノ音調緩急節奏ハ、全體ヲ以テ論スヘキ者ニシテ、此ノ如ク拔萃セル句ニ就テハ、其ノ之ノ字ヲ省クノ是非ハ言ヒ難キナリ、凡ソ大文字ニ在リ、簡單ヲ要スル所ニ於テ、常ニ所有主ヲ示ス所ノ之ノ字ヲ

省ク、此其常例為リ、故ニ一概ノ說ヲ為ス勿レ、

副詮法ヲ以テ兼掌ノ詞ノ例ヲ示ス

故支有之曰征夷大將軍非源氏不可拜、

○意謂使天下之人思之於心則存之於目、○其意謂方且以入鉾谷、用字明辨九丁ウヲ看ヨ

五三四● 兼掌ノ位、被解ノ位、解釋ノ位、呼醒ノ位、冒註ヲ異ニスルカ故ニ之ヲ別ツ、

名詞ノ位ヲ別テ幾許ト為スソ、

五三五● 名詞而ルニ他ノ詞ヲ兼ネ掌ルノ位ヲ云フ、

何ヲ以テ名詞ニシ而ルニ他ノ詞ヲ兼ネ掌ルヤ、

五三六● 他ノ詞ヲ省キ、此位ニ居ル名詞ニ其省キシ所ノ詞ノ作用ヲ兼ネ掌ラシムル故也、

五三七● 此位ニ居ル所ノ名詞ハ、大抵動詞ヲ兼ネ掌ル、時トシテハ前置詞ナル以ノ字ヲ兼ネ掌ル也、

兼ネ掌ル位ノ者ニ異ナル者アリヤ、

五三八● 曰有リ、即チ傳ニ八幡公臨終遺書ヲ云々ノ傳ナル辭ハ、宜ク傳曰ト云フヘシ、而ルニ曰ノ字ヲ省キ、傳ノ字ニ曰ノ字ノ作用ヲ兼ネ掌ラシムル等ノ如シ、

其正式ヲ指南セヨ、

五三九● 正式ナレハ、傳ニ八幡公臨終遺書ヲハ、宜ク史傳有之曰八幡公臨終遺書ニ作ルヘキ等ノ如シ、

此位ニ在ル名詞ハ、何ヲ以テ其等ノ辭ヲ省クソ、

五四〇● 其故ニ有リ、一ハ支那人動詞ヲ用フヘキ所ニ於テ好テ之ヲ省クノ語法ヲ用フルカ故也、之カ例ヲ云ヘハ、太閤是為日本人ト云フヘキヲ、好テ太閤是

被解ノ位●解釋ノ位ノ正則例

右馬助者、池氏所生ム家盛也、○鴻臚舘者、爲外賓所置也、單條ハ被解ノ位ヲ示シ、複條ハ解釈ノ位ヲ示ス、

副詮法ヲ以テ被解ノ位ヲ示ス

秀吉者、爲尾張愛智郡中村人也、○邑人築阿彌者、爲織田氏微者也、○且西討者、爲重支也、治部雖老ト云々、○信長者、爲當世豪傑也、必ス覇天下、○義府者、爲參知政事也、○時長門國者、爲知盛所管也、○當此時海陸者皆爲敵也、○塊物者爲龜形而鷹背也、○劒者爲一人敵也、不足学、○君子之德者爲風也、

リ好テ其等ノ辞ヲ省クカ故也、

被解ノ位トハ何ゾ、

五四一●解釋サルヽノ位置ヲ云フ也、何ナレバ此位ニ居ル所ノ名詞ハ、必ス他ノ名詞ノ爲メニ解明サルヽカ故也、

解釋ノ位トハ何ゾ、

五四二●ソハ解明ヲナスノ位ヲ云フ也、何ナレバ此位ニ在ル所ノ名詞ハ、被解ノ位ニ在ル所ノ名詞ノ如何ヲ解釋スレバ也、

楚齊之仇敵也ノ句ニ於テ、何ノ名詞カ被解ノ位ニ居リ、何ノ名詞ガ解釋ノ位ニ居ルゾ、

五四三●楚ナル名詞ガ被解ノ位ニ居リ、齊之仇敵ナル名詞カ解釋ノ位ニ居ル也、何ナレハ齊之仇敵也ノ五字ヲ以テ、楚ナル名詞ノ摸様ヲ解釋スレバ也、

被解ノ位ニ居ル所ノ名詞ノ正則ヲ指南セヨ、

五四四●其正則ハ、一ノ者ノ字ヲ以テ其名詞ノ尾ニ押ム也、即チ義家者賴義嫡子也ノ句ノ義家ナル名詞ノ尾ニ一ノ者ノ字ヲ押ミレカ如シ、

解釋ノ位ノ變則ヲ教ヘヨ、

五四五●解釋ノ位ニ居ル名詞ノ尾ニハ、必ズ一ノ也ノ字ヲ押ムヲ以テ常則ト爲ス、而モ往々煩ヲ避ケ其也ノ字ヲ省ク、即チ関白、人臣之極ノ句尾ニ也ノ字ヲ省キシガ如シ、

被解ノ位ト解釋ノ位ノ正則ヲ教ヘヨ、

小人之德者為草也、草上之風必偃、○魏者為齊之與國也、○雲者為龍之所能使為靈也、

解釋ノ位ノ例

秀吉、尾張愛智郡中村人、○邑人筑阿彌織田氏微者、○且西討重事、治部雖老云々、○信長當世豪傑、必覇天下、○義府参

五四六●關白人臣之極ノ句ハ、若シ正則ナレバ、宜ク關白者為人臣之極也ニ作ルヘキ等ノ如シ、而ルニ因襲ノ久キ、動詞ナル為ノ字ヲ除キ、也ノ字ヲ以テ動詞ト看做スヨリ、今ニ在テハ、則チ關白者人臣之極也ニ作ルヲ以テ正則ト為ス、

然ラハ則チ解釋ノ位ニ在テ、也ノ字ヲ省キシ者ハ、宜ク之ヲ添テ見ルヘキカ、

五四七●曰然リ、此故ニ其也ノ字ヲ省キシ句ニ於テハ、古人モ也ナル捨假名ヲ施シタリ、

呼醒ノ位トハ何ゾヤ、

五四八●通例ナレバ、動詞ノ下ニ位スヘキ名詞ヲ把リ、人ノ氣ノ附ク為ニ、故意ニ其名詞ヲ先ニ呼醒シ、而

知政事、○時長門國為知盛所管、○當此時海陸皆敵、○塊物亀形而鷹觜、○劔一人敵、不足斈、○君子之德風、小人之德草、草上之風必偃、○魏齊之與國也、○雲龍之所能使為靈也、

呼醒ノ位ノ例

據以起兵則覇業可圖也、○鳥吾知其能

シテ後動詞ニ及ブ者ヲ謂フ、

例ヲ擧ケテ之ヲ指南セヨ、

五四九●則秀吉可生致也ノ句ハ、常則ナレバ、當ニ則可生致秀吉也ト云フベシ、今乃ルニ故意秀吉ヲ呼ヒ醒シ、而シテ後ニ可生致也ト云フ等ノ如シ、

呼醒ノ位ノ圖

内大臣曰、京畿不保無變、四將吾猶以為少也、○輝元大悅曰、機不可失也、○聖人吾不得而見之矣、○善人吾不得而見之矣、○吾承敝鏖戰、謙信可擒也、

冒註ノ位トハ何ゾ、

五五○●其名詞ノ出所ヲ明ニスル為ニ、他ノ名詞ヲ引キ來リ、以テ其頭ニ被ラシムル者ヲ謂フ也、

越後人城長茂起亂ノ句ノ越後人ナル三字ハ、是レ冒註ノ位ニ居ル者カ、果シテ然ラハ、則チ又名詞ノ形詞ノ位ト云フモ可ナルカ、

五五一●曰然リ、冒註ノ位ニ在ル所ノ名詞ハ、其名詞ノ出所ヲ形容シ云ヒ、而シテ夫ノ形容詞ト其作用ヲ同クス、故ニ名詞ノ形詞ノ位ト云フモ可也、

貫渉ノ位トハ何ゾ、

五五二●ソハ一ノ名詞ヲ此位ニ居ラシメ、其名詞ニ或ハ二三句●或ハ四五句ニ貫キ関渉セシムル者ヲ謂フ、即チ齊南有太山東有琅邪西有清河北有渤海ノ四句ニ於テ、齊ナル辞ヲ最初ノ句頭ニ冒シ、以テ其下ノ四句ニ貫キ関渉セシムルガ如シ、

名詞ノ倒位トハ何ゾ、

五五三●順ナル位ニ居カズシテ●倒ニ動詞ノ上ニ居ク者ヲ謂フ、即チ宜ク無不寺之地ニ作ルヘキヲ、地ナル名詞ヲ倒ニ置キ、無地不寺ニ作リ、宜ク往至宇佐ニ通霄祝禱ト云フヘキヲ、祝禱ナル名詞ヲ倒ニ置キ、祝禱通霄ニ作ル等ノ如シ、

獨立ノ位トハ何ゾ、

五五四●ソハ獨リ名詞ノミヲ以テ一句ノ位ヲ占ムル者ヲ謂フ、即チ交出焚掠●文武第宅●蕩為荒野ノ三句ニ於テ、文武第宅ナル名詞カ、一句獨立スルガ如シ、

其他ニ於テハ、何時名詞ガ獨立ノ位ニ居ルゾ、

五五五●感慨シ云ヒ出ス所ノ名詞ト呼ヒ起ス名詞

飛魚吾知其能游、

冒註ノ位ノ例

重忠族稲毛重成、○謀襲頼朝妹夫藤原能保、○師文章博士源仲章、○長茂姪資盛據為坂反、○親衛姓源經基子満快之遠孫也、

貫渉ノ位ノ例

國人慣道徳則為君子國、習邪惡則為小人國、○正成笑曰、大丈夫功成則名垂竹帛不成則血膏草野、○子曰、惟仁者能好人、能惡人、

名詞倒位ノ例

城市之中無泉可飲、無可飲之泉ノ倒、○無歲不被兵之慮ノ倒、

名詞獨立位例

曰好男子、惜未知兵

法ヲ○出入使人呼ハ曰夫差ヲ而忘越人之殺而父邪○罵曰竪儒幾敗乃公事○曰殷大夫今人適数百里

同上年月ノ例

文治元年正月範頼至赤間関○元久元年三月伊賀伊勢盗起

同上提起ノ例

韋氏之亂陰聚才勇

トハ常ニ獨立ノ位ニ在ル也是故ニ感慨シ云ヒ出ス所ノ名詞ハ其頭ニ感詞ヲ戴クナリ即チ嗚呼仲可謂不知本者矣ノ句ノ仲ナル名詞ノ如シ而シテ呼ヒ起ス名詞ハ其上ニ曰ノ字ヲ冒スル也即チ子曰由誨女知之乎ノ由ナル名詞ノ如シ

提起ノ句ト年月日トハ獨立ノ位ニ居ルカ

五五六●悉ク然リト云ヒ難シト雖モ大抵ハ獨立ノ位ニ居ルナリ

八節　代名詞ノ性質及ニ關係

代名詞ノ人渉トハ何ゾ舊名人稱

之士○勅曰諸國官軍汝其師之以滅國賊

話者トハ説話ヲ爲ス者ヲ云ヒ聽者トハ其説話ヲ聽ク者ヲ云ヒ被話者トハ其身上ノ事ヲ話セラルヽ者ヲ云フ

英文ノ人渉ヲ細別スルノ縁由ヲ論ス

五五七●ソハ其説話スル語勢ノ他ノ人ニ渉ルト渉ラサルトノ別ヲ謂フ也

人渉ヲ解釋スル前ニ於テ別ニ知ルヲ要スヘキ者有リヤ

五五八●曰有リ話者聽者被話者ノ三是レ也

一日獨語曰吾是日本加藤清正也ノ句ニ在リ代名詞ナル吾ノ字ト名詞ナル加藤清正ノ字ハ名詞及ニ代名詞ノ幾人渉ナルヤ

五五九●並ニ是レ一人渉也何ナレバ吾ナル辞ト加藤清正ナル辞ハ即チ話者一人ニ止リ他人ニ渉ラサレハ也

汝是日本加藤清正乎ノ句ニ於テハ代名詞ナル

英文人渉ヲ細別スルニ二ノ故有リ、盡ク然リト云フニアラサレ𪜈、英文ハ往々先ツ代名詞ヲ以テ説話シ起リ、而シテ後其名詞ヲ説キ出スノ式アリ、故ニ其代名詞ニ一人渉二人渉三人渉ノ別ヲ嚴ニ立テ置カザレバ、多ク代名詞ヲ

汝ノ字ト、名詞ナル加藤清正ノ字ハ、名詞及ニ代名詞ノ幾人渉ナルヤ、

五六〇 並ニ是レ二人渉也、何ナレバ汝ナル辞ト清正ナル辞ハ、話者ノ口ヨリ出テ聽者ノ上ニ渉レバ也、

一日清正謂秀吉曰在朝鮮聞虎聲ノ句ニ在テハ、名詞ナル虎聲ハ幾人渉ナルヤ、

五六一 此レ是ハ三人渉也、何ナレバ被話者ノ名即チ虎聲ナル名詞ハ、話者ナル清正ノ口ヨリ出テ、聽者ナル秀吉ニマテ渉レバ也、

上説ノ如キハ、漢文ニモ亦一人渉二人渉三人渉ノ別有リ、而ルニ之ヲ名詞ノ関係ニ説カズ、反テ代名詞ノ内ニ説クハ何ノ故ゾヤ、

誤用シテ解スベカラザルニ至ル、是レ人渉ヲ細別スル所以ノ一ナリ、英文ニハ過去現在未來ノ辞ノ使ヒ分ケ有リ、而シテ一人渉ト二人渉ノ如キハ、宜ク現在詞ヲ用フヘキ者也、獨リ三人渉ハ過去詞ヲ用フ、是故ニ人渉ヲ詳ニセザ

五六二 彼ニ在テハ益ナク、此ニ在テハ少シク益有レハ也、

代名詞ノ一人渉ヲ教ヘヨ、

五六三 吾是日本之人也ノ吾ノ字ヤ、我則好讀書ノ我ノ字ノ如ク、已ノ名ニ代ヘ用フル所ノ代名詞ハ、皆一人渉也、何ナレハ已ノ名ニ代用スル所ノ代名詞ハ、皆話者一人ニ止リ、他ノ人ニ渉ラザレバ也、吾國豊穰也ノ吾ノ字ヤ、我父好道德ノ我ノ字ノ如ク、吾我等ノ辞ヲ以テ、指示代名形詞ト爲シテ用フレバ、則チ皆三人渉也、何ナレハ此ノ如ク指示代名形詞ト爲シ用フル者ハ、其口氣必ズ話者ト聽者ト被話者トノ三人ニ渉レハ也、

レバ、過去現在未來ノ云ヒ別ケヲナス能ハス、是レ人渉ヲ細別スル所以ノ二也、而ルニ漢文ニハ代名詞ヲ以テ語リ起リ名詞ニ及ブノ例ト三世時ノ區別無シ、故ニ人渉ノ事ハ知ラサルモ亦可ナリ、

汝年幾何ノ汝ナル辞ハ、幾人渉ナルヤ、

五六四● 即チ二人渉也、何ナレバ汝ナル辞ハ、話者ト聽者トニ渉レハ也、

汝父年幾何ノ汝ノ字ヤ、爾國安所ノ爾ノ字ノ如ク用フレバ、則チ幾人渉ゾヤ、

五六五● 並ニ是レ三人渉也、何ナレバ此ノ如ク指示代名形詞ト爲シテ用フレバ、則チ其辞ガ話者ト聽者ト被話者トノ三人ニ渉レバ也、

何ノ關係有リ、而シテ此ノ如ク一人渉二人渉三人渉ノ別ヲ爲スゾ、

五六六● 吾我等ヲ己ノ名ニ代ヘ用フレバ、則チ一人渉ナルノ故ヲ以テ、唯(ワレ)ト訓ス、今又吾我等ノ字ヲ

代名詞ノ複称ノ例

若我輩人、○吾儕何同科、●何獨吾儕、●吾儕選於衆中、●吾儕小人、朝不及夕、●吾儕雖老且窮、○群臣皆喜曰、雍齒且侯、吾属無患矣、●章將軍等詐吾属降諸侯、○汝曹不願效之也、○命曰若等走至長

指示代名形詞ト爲シテ用フレバ、則チ或ハ(ワガ)ト訓シ、或ハ(ワレノ)ト訓ズ、ソハ三人渉ナレバ也、汝爾等ノ字ヲ人ノ名ニ代ヘ用フレハ、則チ二人渉ナルノ故ヲ以テ、唯(ナンヂ)ト訓ス、今又汝爾等ノ字ヲ指示代名形詞ト爲シテ用フレバ、則チ或ハ(ナンヂガ)ト訓シ、或ハ(ナンヂノ)ト訓ズ、ソハ三人渉ナレバ也、夫レ然リ、故ニ人渉ノ關係ハ、吾我ヤ汝爾等ヲ代名形詞ト爲シテ用フルト指示代名形詞ト爲シテ用フルトノ辨別也、

代名詞ノ複稱ハ、如何ニ之ヲ作ルゾ、

五六七● ソハ皆複稱符號ヲ以テ其代名詞ノ尾ニ添ヘ、以テ其體ヲ爲ス也、即チ已ノ名ニ代ヘ用フルノ複稱ハ、吾等亦天民ノ吾等ノ如ク、人ノ名ニ代ヘ用フル

濱●與若等好也、○不者若属皆且爲所虜、

指示代名詞ノ複稱ノ例

曰此輩宜束之高閣云々、○良曰陛下以此属取天下、●此属畏不能盡封、

代名詞ノ被解解釋ノ位ノ例

或教之曰彼宗姓●

所ノ者ハ、汝輩烏得婿之ノ汝輩ノ如シ、

指示代名詞ノ複稱ハ如何ン、

五六八●亦上ト異ナラス、即チ此輩此属等ノ如シ、

代名詞ノ位ニモ、亦言フヘキアリヤ、

五六九●ソハ名詞ノ位ト異ナル無シト雖モ、宜ク僅ニ其一二ヲ擧テ之ヲ知ラシムヘシ、或曰關白至矣清盛曰此大臣也ノ此(コノヒト)ナル辞ハ、被解ノ位ニ居ル、是故ニ解釋ノ位ニ居ル所ノ大臣也ノ三字ヲ以テ之ヲ解釋スルカ如シ、

信臣精卒列利兵而誰何ノ誰何ナル代名詞ノ居ル所ハ、是レ何ノ位ソ、

五七〇●ソハ兼掌ノ位也、何ナレバ此誰何(タレゾト、ウ)ハ問

弘範曰、彼忠義也、保無他、○義朝之捷也、賞爲右馬頭、義朝奏曰、是先臣満仲所拜、左條ハ被解ノ位、右條ハ解釋ノ位、

兼掌ノ位ノ例

公與近臣微行、入邑中佛寺、寺僧誰何、公曰番衆也、

倒位ノ例

不病人之不已知也、○軍旅之叓未之学、

フテ汝ハ誰ト爲ス、其者ハ何ト爲スト云フノ義ニシテ、問爲ナル二字ノ動詞ノ作用ヲ兼ネ掌レバ也、

子曰莫我知也、知我者其天乎ノ上ノ我ナル代名詞ハ、何ノ位ニ居ルゾ、

五七一●此ハ是レ代名詞ノ倒位ニ居ル也、何ナレハ常則ナレバ、下句ノ如ク知我ニ作ルヘキヲ、上句ニ在テハ、我ナル代名詞ヲ倒ニ居ラシメ、我知ニ作レハ也、

代名詞ノ貫渉ノ位ヲ指南セヨ、

五七二●子曰吾十有五而志于學三十而立四十而不惑五十而知天命六十而耳順七十而從心所欲不踰矩ノ吾ナル代名詞ハ、五句ノ上ニ位シ、下ノ五句ニ貫キ渉ルガ如シ、

也、●我未見力不足者、蓋有之矣、我未之見也、

虛數形詞ハ一卷ノ四十八丁ノ裏ニ出ツ、

九節　形容詞ノ性質及ニ關係

實數形詞ノ外ニ、常ニ單數ト複數ヲ指シ示ス所ノ形容詞有リヤ、

五七三●曰有リ、將門獨身出走ノ句ノ獨ナル形容詞ハ、單數ヲ云ヒ現ハシ、虛數形詞ニ累擧セシ所ノ諸民各郡等ノ辞ハ、皆複數ヲ云ヒ現ハス也、

衆多之人ヤ、許多之人等ニ於ル、衆多之ナル辞ト許多之ナル辞ハ、是レ形容詞ナルヤ、

五七四●亦是レ一種ノ形容詞也、然リト雖モ此ノ如キハ、形容詞ニ属セサル也、何ナレハ夫ノ衆多之人ヤ、

形容詞状ノ語法ノ例

武藏國、○葬畝傍山東北陵、○轉攻名草戸畔菟田縣主兄猾、○又有高尾張土蜘蛛、○詔擧廉節之士、○何舍本國之神而敬蕃國之神、○士之能享大名顯當世者、

許多之人ヤノ如キ者ハ、一箇ノ成語ナレバ也、是故ニ此ノ如キ成語ハ、別ニ呼テ形容詞状ノ語法ト謂フ、

尋常之人ヤ、咫尺之間ヤ、磊落奇偉之人ヤ、尋常之計等ノ如キモ、亦形容詞状ノ語法ナルヤ、

五七五●曰然リ、

凡ソ上ノ如キ者ハ、皆名詞ノ所有ノ坐ニ居ルヤ、

五七六●曰然リ、何ナレハ磊落奇偉之人ノ人ナル辞ハ、磊落奇偉者ノ持チ物ナレハ也、

上ノ如キ形容詞状ノ如キ語ハ、何ノ辞ニ属シテ可ナルヤ、

五七七●此等ハ皆私造名詞ノ類也、故ニ宜ク之ヲ私造名詞ニ属スヘキ也、

莫不有先達之士負天下望者爲之前焉、○天下之所謂禮樂刑政教化之具皆已脩理、○天災時變昆蟲草木之妖豈盡銷息、○終失其千歲不拔之權授之嚮所奴僕視者、宜ク名詞門ノ八十章ヲ照シ看ルヘシ、

形容詞ヲ以テ

多少筆力ノ多少ナル辞ハ、多ト云フノ義ナルゾ、少ト云フノ義ナルゾ、

五七八●是ハ此レ多ト云フノ義也、夫ノ少ノ字ノ如キハ、熟字ナルヲ以テ、與ニ用ヒ以テ其響ヲ節スル也、漢文常ニ此例多シ、知ラサル可カラズ、

英文ノ形容詞ニハ、比較級ナル者有リ、能ク上中下三等ヲ云ヒ現ハス、而シテ漢文ニモ亦此ノ如キ者有リヤ、

五七九●絶テ無シ、只一ノ最ノ字ノミ、前ノ説話即チ上文ニ對シ、其極点ヲ云ヒ現ハス也、即チ最上最奇最末最後等ノ如シ、

英文ニ在テハ、形容詞ヲ以テ名詞ノ後ニ置ク例

名詞ノ後ニ置ク例

漁父莞爾而笑、○夫子循々然善誘人、●元就慨然有討賊之志、○魁閎之士洋々焉動其心、

有尾詞ヲ形容詞ト爲シ用フ例

魏乎天地不足爲容也、○崒乎泰山不足

多シ、漢文ニモ亦此例アリヤ、

五八〇●曰有リ、諸侯晏然不討ノ晏然(ヘイキデ)ヤ夫子油然而笑ノ油然(ニツタリト)等ノ如シ、

此ノ如ケレバ、則チ肅如也ノ如キ、也ヲ押ム有尾詞ヲ除クノ外、有尾動詞ト有尾副詞ノ類ハ、亦皆形容詞ト爲シ之ヲ用テ可ナルヤ、

五八一●曰可也、即チ蕞爾小國ノ蕞爾(チイサナル)ノ詞ヤ、昭乎日月不足爲明ノ昭乎(アキラカナル)ノ如キハ、皆是レ純然タル形容詞也、

也ヲ押ム有尾詞ヲ除クノ外、有尾動詞及ニ有尾副詞ニハ、往々形容詞トモ副詞トモ定メ難キ者有ルハ、何ノ故ゾヤ、

爲高、

一句意ヲ形容スル者ノ例

凜然乱臣賊子之大閑也、○曠然相期於形骸之外、○惴然眇然自處於衆人之下、○忽焉不加喜戚於

五八二● 先輩ガ是等ノ辞ヲ看テ一概ニ形容詞ト爲ス如ク、此等ノ辞ハ多クハ一句ノ意ヲ形容スル爲ニ用フル者ニシ、而シテ尋常ノ形容詞トハ大ニ其趣ヲ異ニセリ、夫レ然リ、故ニ辞ノ區別ニ於テハ、反テ此等ノ辞ヲ形容詞ノ段ニ載セザリシ也、

一句意ヲ形容スル者トハ、如何ナル者ヲ云フゾ、

五八三● 蕩々乎民無能名焉ノ蕩々乎（パアツトシテ）ナル辞ヤ、叓至而循々焉欲去之使他人任其責ノ循々焉（アトビツサリ）ナル辞等ノ如シ、

塲ヲ散スルニ臨ミ、何ノ詞ヲ解釋スルゾ、

五八四● 童ハ（オサナキ）ト訓ジ、幼ト義ヲ同フシ、男稱女稱共ニ之ヲ用フル也、即チ童男幼男童女幼女ノ如シ、

其心、

動詞ノ性質及ニ關係

〈十節 動詞ノ口氣

動詞ノ口氣トハ何ゾ、

五八五● ソハ動詞ノ言ヒ回シヲ云フ也、然ル所以ノ者ハ、其口氣即チ言回シニヨリテ、其動詞カ忽チ常ノ作用ヨリモ異ナル所ノ意ヲ云ヒ現ハセハ也、

動詞ノ口氣ハ其數多キカ、

五八六● 曰多シ、故ニ是以下ニ於テ、逐條之ヲ解釋ス可シ、

曰ク過去、曰ク現在、曰ク未來、英文ニ在テハ、此三

副詮法ヲ以テ過去口氣ノ例ヲ示ス

尊氏曰、向戕親王也、徵兵也、二者非尊氏所爲、詳訴其寃、猶得霽威、○昔者吾之再妊也、相國期其生男、而女生焉、吾恐相國恨怒也、密使人易之一傘工男兒、

ヲ以テ動詞ノ時ト云ヒ、而シテ其動詞ヲ以テ、過去現在未來ノ三時ヲ云ヒ分ツ有リ、漢文ノ動詞ニモ亦此ノ如キ者有リヤ、

五八七● 絶テ之レ無シ、

然ラハ則チ漢文ノ動詞ニ在テハ、何ヲ以テ過去現在未來ノ別ヲ爲スヤ、

五八八● 唯其口氣ヲ以テ之ガ別ヲ爲シ、且他ノ辞ヲ添ヒ以テ之ヲ云ヒ別ツ也、

然ラハ則チ請フ過去ノ口氣ヲ指南セヨ、

五八九● 乃請僧稱佛曰、吾不死於壇浦、以有清宗故耳ノ吾不死於壇浦ノ一句ハ、過去ノ口氣也、何ナレハ是一句ハ、過キ去リシ事ヲ話スルノ語ナレバ也、

副詮法ヲ以テ現在口氣ノ例ヲ示ス

孝公下令、今賓客群臣有能出奇計強秦者、吾其尊官與之分土、○尊氏曰、戕親王也、徵兵也、二者非尊氏所爲、今詳訴其寃、猶得霽威、○賊脱據

過去ノ叓ヲ明言スルニハ、之ヲ如何セバ可ゾ、

五九〇● ソハ曾向昔等ノ字ヲ副詞トシテ用フレバ、則チ明カ也、即チ吾不死於壇浦ノ句ヲ改テ吾曾不死於壇浦ニ作ル等ノ如シ、夫レ然リ、故ニ過去ノ口氣ハ、副詞ナル曾(カツテ)向(サキニ)昔(サキニ)等ノ辞ト關係スル也、

現在口氣ハ何如ン、

五九一● ソハ曰吾不死於壇浦、以有清宗故耳ノ以有清宗故耳ノ句ノ如シ、何ナレバ此句ハ、現在ノ事ヲ話スルノ語ナレハ也、

何如セバ則チ現在ノ事ヲ明言スルヲ得ルゾ、

五九二● ソハ或ハ今乃ナル轉詞ヲ以テ斡旋スルカ、或ハ今ノ字ヲ以テ副詞ト爲セハ、之ヲ明言シ得ル也、

天王山非吾利也、二子其往、

副詮法ヲ以テ未來口氣ノ例ヲ示ス

孝公下令、賓客群臣有能出奇計強秦者、吾其將尊官與之分土、○尊氏曰、我親王也、徵兵也、二者非尊氏所爲、詳訴其寃、猶將得霽威、○且復用則チ夫ノ二句ヲ改メ、或ハ吾不死於壇浦、以今有清宗、故耳ニ作リ、或ハ吾不死於壇浦今乃以有清宗故耳ニ作ル等ノ如シ、夫レ然リ、故ニ今ナル辭ハ、現在口氣ト關係スル也、

未來口氣ハ何如ン、

五九三● 且遣大臣吊喪分兵助以討賊、彼倘得志、我高枕有邦國ノ我高枕有邦國ハ、則チ未來ノ口氣也、何ナレバ此一句ハ、未來ノ事ヲ話スル所ノ語ナレハ也、

未來ノ事ヲ明言スルニハ、之ヲ如何セバ則チ可ナルゾ、

五九四● 將來ノ辭ナル將ノ字ヤ、異日他日等ノ字ヲ以テスレバ、則チ之ヲ明言スルヲ得ル也、即チ漸將荒廢ノ將ノ字ヤ異日見濟北穀城山下ノ句ノ異日ノ字等ノ如シ、故ニ異日他日等ノ名詞將(平)且同上等ノ副詞ハ、皆未來ノ口氣ト關係スル也、

未來ノ口氣ハ、如何ナル語ノ後ニ續クゾヤ、

五九五● 悉ク然ルニアラサレ𪜈、大抵ハ現在語ノ後ニ續ク也、則チ彼倘得志ノ句ハ現在ノ支ヲ語リ、我高枕有邦國ノ二句ノ、彼倘得志ノ未來ノ口ヲ語ル等ノ如シ、

佯言ノ口氣トハ何ゾ、

五九六● ソハ佯リ語ルノ口氣ニシ、而シテ只爲ノ字ノミ此作用有リ、故ニ昔ヨリ此爲ノ字ヲ(マネシ)ト訓セリ、卽チ滿幸之走也、有詬而止之者爲不聞而逃ノ爲

佯言口氣ノ例

得擁太子ノ進退自如、爲起越前而潛蚊上野ニ、○而難違兼隆約、則爲不知嫁於兼隆、

省言口氣ノ例

糞土之墻不可朽也、於予歟、何誅、何誅宰予ノ省語也、

逆語ノ口氣例

迫以嚴誅、即チ以嚴誅迫也、○答以長高、即チ以長高答也、○忠顕告以實、以実告也、○公欲封以尼谿之田、公欲以尼谿之田封也、○刀劍室飾以珠玉、以珠玉飾也、○養犧牲以庖厨、以庖厨養犧牲也、

下落口氣ノ例

聖人不死大盜不止、○不入于楊則入于墨、○不塞不流、不止不行、

命令口氣ノ例

曰先生自此升矣、○曰光顔、汝爲陳許帥、○曰弘、汝以卒万二千屬而子公武往討

ノ字ノ如シ、

省言ノ口氣トハ何ゾ、

五九七● 其宜シク云フヘキ語ヲ故ラニ省キ云フ者ヲ謂フ、即チ子曰能以禮讓爲國乎何有ハ、何有難乎ノ畧ニシテ不有難也ノ逆落語也、今乃ルニ省キ言フ此ノ如シ、凡ソ此ノ如キ者ヲ省言ノ口氣ト云フ、

逆語ノ口氣トハ何ヲ謂フゾ、

五九八● 故ラニ逆ニ語ル口氣ヲ謂フ也、宜ク順ニ以大義諭ト云フヘキヲ故ラニ諭以大義ト云ヒ、以謀反誣ト云フヘキヲ誣以謀反ト云フ等ノ如シ、

下落ノ口氣トハ何ゾ、

五九九● 非ナル辞ハ撲滅動詞ニシテ常ニ能ク他ノ辞ヲ打消ス也、然トモ下落ノ口氣ニ於テハ、唯打消サバルノミナラス、反テ之ニ限ルノ意ヲ言ヒ現ハス也、即チ非智勇孰能之ノ非ナル辞ハ則チ其支ハ必ス智勇者ニ限ルノ意ヲ現ハスガ如シ、

助動詞ナル不ノ字ハ如何、

六〇〇● 不ノ字ヲ以テ非ノ字ニ代ヘ用ヒ、以テ下落ノ口氣ト爲ストキハ、其作用相同シキ也、則チ不憤不啓不悱不發ノ不憤不悱ノ二ノ不(サレ)ノ字ハ、憤ニ限リ悱ニ限ルノ意ヲ云ヒ現ハス如シ、

命令ノ口氣トハ何ゾ、

六〇一● ソハ命令スル爲ニ語ル口氣ヲ謂フ也、即チ羽曰坐ノ坐ノ字ヤ、曰爲我著書ノ著ノ字等ノ如シ、

之、○曰道古、汝其觀察鄂岳、○曰賊脫擄天王山非吾刹也、二子其徃、○宗盛大怒曰、汝責我破蒐道之軍、必生致競、○乃呼曰已矣勿爲賊所獲

動詞獨立ノ位ノ例

遣兵索義澄於近江、弗獲七年云々、○義仲爭爲不可弗聽、義仲憤懣云々、○原思爲之宰、與之粟九百、辭、子曰毋、以與爾鄰里鄉黨乎、

命令ノ位ノ例

前驅叱令下馬曰院也、○僅赦三人使皈國、以語其主、○親出仁壽殿、賜題於諸卿、而使作詩文、○以李靖使師諸軍、訓之、

動詞ノ副位例

命令ノ口氣ハ、何ヲ以テ別ツヤ、

六〇二●蓋其命令スル所ノ諸ノ言ナルコトヲ指示ス所ノ曰ノ字ヲ●其語ノ始ニ冒スルヲ以テ之ヲ別ツ也、齊田橫與其徒入海島、●上召曰橫來●大者王、小者侯、ノ來ナル辭ノ上ニ曰ノ字ヲ冒スル等ノ如シ、

十一節　動詞ノ位

動詞ノ位ヲ謂フハ何ゾ、

六〇三●リハ動詞ノ居ル所ノ位ニ由リ、其作用ノ異ナルアレハ也、

獨立ノ位トハ何ゾ、

六〇四●獨リ動詞ノミヲ以テ一句ノ位ヲ占ムル者ヲ謂フ、賴朝親臨、落之●皈●墮馬疾作ルノ●皈ナル辭ノ如シ、

六〇五●此位ニ居ル所ノ名詞ハ、必ス命令ヲ云ヒ現ハス、故ニ爾云フ也、即チ正成叱之起ノ起ナル辭ノ如シ、起ナル辭ハ、固是レ命令詞ニアラサル也、而ルニ今命令ヲ云ヒ現ハスハ何ゾヤ、

六〇六●凡ソ此位ニ居ル所ノ辭ハ、其位ニ由テ命令ノ作用アルニアラス、其實ハ命令動詞ナル使（又令ニ作ル）ナル辭ヲ省キシニ由リテ然ル也、故ニ正式ニ從ヒ、此位ニ居ル辭ノ頭ニ使ナル辭ヲ冒セシムレハ、其義始テ見ル也、即チ上欄ノ副詮ノ如シ、

動詞ノ副位トハ何ゾ、

六〇七●動詞而ルニ副詞ノ位ニ居ル者ヲ謂フ、即チ

遁至循州、○嘗取應得舉矣、○將士競附之、○詔使正成先驅、○顧射其龕、○前逼內城、○分爲兩家、○帝出觀之、○往平之、○破殺高家、○信長怒殺光秀、○信長罵擊光秀、○秀吉奮討北條氏、

貫冒ノ位ノ例

走據島廣山ノ走ノ字ノ如シ、

走據島廣山ノ句ノ走據ナル二字ハ、是レ重沓ノ動詞ニ非サルカ、

六〇八● 曰非ラサル也、何ナレバ重沓動詞トハ窮極華麗ノ窮極ナル辞ノ如ク、二字ニシテ一義ヲ兼ル者ヲ言ヘハ也、

然レバ則チ動詞ノ副位ニ居ル者ハ、何ノ異ナル有ルソ、

六〇九● 副位ニ在ル動詞ハ、上ノ者ノ作用ヲ云現ハス也、之ヲ明釋スレバ、一夜大雪積過一丈ノ句ノ、副詞ノ位ニ居ル積ナル動詞ハ、上ノ雪ノ形狀ヲ現ハシ、過ナル動詞ハ、一丈ナル名詞ノ作用ヲ現ハス等ノ如シ、

温望帝臨終禪位否即居攝、○使臣良奉白璧一雙、再拜献將軍足下、玉斗一雙、再拜献亞父足下、

兼被位ノ正則

遂爲乱兵所弑、○既而被擒、○至是見任用、○其言不見信於世也、○隱居者無所累於世、

貫冒ノ位トハ何ゾ、

六一〇● ソハ重復ヲ厭ヒ、下句宜ク用フヘキ動詞ヲ省キ、上句ノ動詞ヲ下句マデ貫キ冒セシムル者ヲ謂フ、庭有老槐四行、南牆鉅竹千挺ノ南牆鉅竹千挺ハ、宜ク南牆有鉅竹千挺ニ作ルヘキヲ、上ノ有ノ字ヲ貫冒シテ之ヲ省クガ如シ、

兼被ノ位トハ何ソ、

六一一● 兼被ノ位トハ、被所見等ノ助動詞ノ作用ヲ兼ヌル者ヲ云フ、

此位ニ居ル所ノ動詞ハ、何ヲ以テ助動詞ノ作用ヲ兼ヌルゾ、

六一二● ソハ固是レ宜ク助動詞ヲ用フベシ、而ルニ

副詮法ヲ以テ兼被位例ヲ示ス

而内所制於官寺、●裕由是所知名、●馬秦客楊均皆所幸於后、●巨刹皆爲兵火所燒、●曜醉墮馬爲勤所獲、●爲北凉沮渠蒙遜所誘、●爲暴雷所震死、○陳蔡大夫謀曰、孔子被用於

之ヲ省キシガ故也、

其助動詞ヲ省クニ於テ、一定ノ則有リヤ、

六一三●則有ル三也、一ハ則チ動詞ノ下ニ前置詞ナル於（于ニ作リ又乎ニ作ル）ノ字ガ來ル時ハ、多クハ助動詞ヲ省ク也、紂敗於牧野ノ句ハ、宜ク紂被敗於牧野ニ作ルヘキヲ、敗ナル動詞ノ下ニ於ノ字ガ來リタル故ニ、今被ナル辞ヲ廢シ、此ノ如ク作リタルガ如シ、一ハ則チ副位ニ居ル動詞ノ下ニ爲ナル動詞ガ來ル時ハ、往々助動詞ヲ省クヲ爲ス、即チ拜爲將軍ノ句ハ、宜ク被拜爲將軍ト作ルヘキヲ、拜ナル動詞ノ下ニ爲ノ字ガ來リタル故ニ、今被ナル助動詞ヲ廢シ、之ヲ作ル此ノ如シ、一ハ則チ爲▌▌所▌ノ如ク、爲ナル前置詞ト所ナル

魯則陳蔡危矣、●既屢立大功、勢被尊重、●奈何熙寧以來、被誤於安石、●子游曰、事君数斯被辱矣、朋友数、斯被疏矣、●太公被封於齊、○不患無己知、求爲可見知也、●禦人以口給、屢見憎於人、●初政清明者二歳、而盧祀見用矣、○被廢爲庶人、

助動詞トヲ對シ云フ語法ニ於テハ、常ニ所ナル助動詞ヲ省ク也、即チ爲亂兵所弑ヲ爲亂兵弑ニ作ルガ如シ、

其他ニ於テハ、一定ノ則無キヤ、

六一四●固ニ一定ノ則無キ也、唯上下ノ文ヲ以テ其省クト省カザルトヲ辨スルノミ、即チ裕由是知名（ナラシラル）ノ知ヤ、褚遂良貶（ヘンセラル）ノ貶等ノ如シ、

動詞ノ後位トハ何ゾ、

六一五●宜ク動詞ヲ前ニ云フベシ、而ルニ之ヲ後ニ云フ、即チ對曰吾斯未能信之ト云フベキヲ、對曰吾斯之未能信ト云フ如シ、

動詞ノ後位ハ、則チ變則カ、

六一六●曰否、何ナレバ古人多ク此語法ヲ用フレバ

○被擢爲判官、

動詞後位ノ例

軍旅之事未之學也、○不病人之不已知也、○子曰君子而不仁者有矣夫、○子曰莫我知也、知我者其天乎、

動詞ノ尾滅法ノ例

自堯舜已來士有不遇者無、○輙謂左右

也、即チ吾未之見也ノ見ヤ、不患無己知ノ知ナル辞等ノ如シ、

雖ヘ然ルモ後人ハ動詞ノ後位法ヲ用フルヤ、

六一七●後人モ亦往々後位法ヲ用フル也、而レ圧今ニ在テハ、常ノ式ニ從フヲ以テ正則ト爲ス也、即チ吾未見之也ノ句ヤ、不患無知己ノ句等ノ如シ、

十二節　動詞ノ撲滅法及ニ其變ナル者、

撲滅ニ就テ、上ニ説キシ者ノ外、尚関係有リヤ、

六一八●曰有リ、次ニ歴釋スル如シ、

動詞ノ尾滅法トハ何ゾ、

六一九●其語ノ尾ニ於テ、故ラニ其云ヒシ語ヲ撲滅即チ打消ノ法ヲ謂フ也、即チ上嘗謂蚡曰卿除吏盡未

曰韓休知否●爲傳繼二疏踪跡否不落莫否●有是克否●未知於足下之意合否○吾不能了釋氏之信不○可謂善人者非邪●所謂天道是邪非邪●由此觀之怨邪非邪、

撲滅法ノ奇ナル者ノ例

事無大小與之謀○

ノ句ニ就テ之ヲ云ヘハ、除盡ト云ヒシ語ヲ未ナル一字ヲ以テ忽チ之ヲ打消ス如シ、

上文ヲ打消ス者モ、亦之レ有リヤ、

六二〇●曰有リ、上閉目搖頭曰全未全未ノ二ノ未ノ字ハ、則チ是レ上文ヲ打消スモノ也、

撲滅動詞及ニ打消助動詞ニ、何ノ奇有ルゾ、

六二一●奇有ル尤モ甚シ、今其一ヲ言ヘハ、無ナル撲滅動詞ハ、有無ノ無ノ義ヲ現ハサズシテ、反テ限ラズナル意ヲ現ハス、即チ無貴無賤ノ無ナル辞ハ、貴ニ限ラズ賤ニ限ラズノ意ヲ現ハス如シ、

無ナル辞ニ就テ、尚其他ヲ教ヘヨ、

六二二●無幾何ト無日トノ無ノ字ハ、共ニ無經ノ義

万機無巨細、無經幾何潜還鎌倉、●禍至無經日矣、○不經四年、又爲全忠所弑、●不經十日、両將之頭可致麾下、●乃答使者曰、當不經日發矣、○不終日而成、○不有暇占便利、○不爲王者未之有也、●遂不復爲相、●不足爲奇、○未經二

ヲ云ヒ現ハス也、故ニ無經幾何ヤ、無經日ニ作ラズシテ常ニ無幾何無日ニ作ル也、

撲滅助動詞ナル不ト未ナル辞ハ何如ン、

六二三●是モ亦無ナル辞ト作用ヲ同フシ、經ノ字ノ作用ヲ兼ル也、即チ不四年ハ不經四年ト同シク、未二歳ハ未經二歳ト同シキ等ノ如シ、

撲滅詞ナル不ノ字ニ就テ、其他ノ奇ヲ教ヘヨ、

六二四●不ナル辞ハ、助動詞也、而ルニ常ニ爲ノ字ナル動詞ノ作用ヲ兼ヌ、即チ直不爲百歩耳ヲ直不百歩耳ニ作リ、又ハ不有暇ヲ不暇ニ作ル等ノ如シ、

歳信西之墓云々、●未經幾何義長敗、○以女配之亡經幾何徙諸醜地、

提起ノ口氣ノ例

陽子將爲祿仕乎、古之人有云、仕不爲貧、而有時乎爲貧云々、

十三節　歇止詞ノ關係

歇止詞ノ提起ノ口氣トハ何ゾ、

六二五●凡ソ文章、一節若クハ一段既ニ終リテ後、將ニ一句若クハ二句ヲ提キテ下文ヲ呼ヒ起サントスルヤ、必ス一ノ歇止詞ヲ用ヒ以テ下文ヲ呼ヒ起ス、夫レ此レ之ヲ歇止詞ノ提起ノ口氣ト謂フ、

其口氣ニ幾許ノ異ナル有リヤ、

六二六●二ノ異有ル也、一ハ則チ故ラニ斷シ以テ下文ヲ呼醒ス、即チ初正成發京也、預知支不濟ノ也ノ字ノ如シ、一ハ則チ故ラニ問敲クノ勢ヲ爲シテ下文ヲ跌起ス、即チ將欲延年益壽乎、則何不歸十五都灌園於鄙勸秦王顕巖穴之士養老存孤云々ノ乎ナル辞ノ如

●意者亦捐蒸棄世東游於齊乎、請裂地定封、富比陶衛、世々稱孤、與齊久存、此亦一計也、●以盾爲無弑心乎、其可輕以大惡加之、以盾不討賊情可責而宜加之乎、則其後頑然未嘗討賊云々、●王之弟當封邪、周公宜以時言云々、○其召至京師

シ、乎一ニ邪ノ字ニ作ル、

上説ノ如キハ、則チ陽子之不賢其上矣、若果賢則固畏天命而問字ノ下ト果賢ノ字ノ下ニハ、此邪ノ字ヲ押ム可キカ、

六二七●曰宜ク押ムベシ、今乃ル字ヲ省キタルハ、文勢ノ急ナルヲ以且陽子之不賢ト若果賢ノ二句ラニ問ヒ敲キテ起ルノ口氣ナシテ起ス乎ナル辭ヲ押ム語ノノ字ヲ頭ニ冒リ斡旋スベキカ

六二八●曰然リ、然レ𪜈文勢ノ急ナ

而復爲刺史也、中山劉夢得禹錫亦在遣中云々、○當韓之亡秦之方盛也、以刀鉅鼎鑊待天下之士云々、

命令ノ口氣ノ例

董生勉乎哉、ツトメナサレヨ、

者ノ字ノ貫上ノ例

其書州書國書氏書

ノ字ヲ省ク也、

歇止詞ノ命令ノ口氣ハ如何シ

六二九●亦二ノ異ナル有リ、一ハ則令スル者、即チ呼曰已矣(ヤメナサレヨ)ノ矣ノニ命令スル者、即チ子曰毋以與爾隣乎ノ如シ、

歇止詞ノ貫上法トハ何ゾヤ、

六三〇●者ナル辞ヲ以テ、宜ク毎句シテ押マス、最後ノ句ニ至リ之ヲ押シ句ニ貫キ兼ネシム、之ヲ歇止詞ノチ從天降從地出從四方來者皆罹五共ニ者ノ字ヲ省テ、下ノ者ノ字ニ上

人、其君不得爲諸侯者、其臣不得爲大夫者、擧皆奏楚也、

過去現在未來ノ副詞ノ例

前獲書言史吏云、具與劉秀才書及今乃見書藁云々、○然向無孟子則皆服左衽、○先所追到行営者、○莊公存之時、樂曾

ネシムル等ノ如シ、

十四節　副詞ノ関係

漢文ニ於テ專ラ過去現在未來ノ言ヒ分ヲ爲ス者ハ何ゾ、

六三一●昔者今者後時等ノ如キ名詞ハ、能ク之ヲ言ヒ分ツト雖モ、副詞モ亦能ク之カ言ヒ分ケヲ爲ス也、

其副詞ハ則チ如何ン、

六三二●向(サキニ)鄉(同上)嚮(同上)曾(カツテ)嘗(同上)等ノ諸字ハ、能ク過去ノ事ヲ云ヒ現ハシ、今ナル辞ハ、現在ノヿヲ云ヒ現ハシ、後(ノチニ)將(マサニ)且(同上)等ノ辞ハ、皆未來ノ事ヲ云ヒ現ハ

淫于宮中、○上嘗御豊樂院觀射、○必將有以取之、○子與賀且得罪、○晩而朝廷方將用之、○昔竇融以河西皈漢、今三仁去而殷墟、(單條ハ過去、左複條ハ現在、右複條ハ未來ヲ示ス、)

副詞ノ單数複数ノ例

汝獨爲之、勿誘惑他人、●在孫惟汝、在子

ス也、

副詞ニモ亦單數複數ヲ分ツ者有リヤ、

六三三●曰有リ、秀吉獨赴之ノ獨ナル辞ハ、其單数ヲ現ハス、是故ニ特惟等モ往々單数ヲ云ヒ現ハス也、其複数ヲ現ハス者ハ、諸與能貞親善者ノ諸ナル辞、自是各分朋黨ノ各ナル辞、再適長安ノ再ナル辞、皆免田租ノ皆ナル辞、請與出遊ノ與ナル辞、遷客騷人多會于此ノ多ナル辞等ノ如キハ、皆能ク複数ヲ云ヒ現ハス也、

漢文ノ副詞ニ於テ、英文ノ形容詞ノ比較級ノ如キ者有ラバ、則チ焉ヲ教ヘヨ、

六三四●最愛ノ最ナル辞ヤ、更爲之ノ更ナル辞ヤ、猶務之ノ猶ナル辞等ハ、皆前ノ説話即チ上文ニ對シ一

惟吾、●不」引」手ヲ救ハ及ヒ撫」之、●凡三人、獨リ愈ル爲」先ヅ收用」セ以上單數○諸從護良始終ス者皆被」誅、●夫子之求ル之ヲ也、其諸異乎人之求」之ヲ歟、●使」各及ヒ其鄉里」、●十歲已上ハ皆入ル大學、●再拜獻將軍足下、●盡」遷之ヲ邊」、●道詮屢遊」詣ル門跡」、

比較級ニ似ル

歩ヲ進テ云フノ辭也、其尤ナル者ハ愈(イヨ)益(マス)等ノ辭也、凡ソ此等ノ辭ハ、與ニ上文ニ對シテ一歩ヲ進ノ語ルノ辭也、故ニ是等ノ諸辭ハ、英文ノ比較級ノ辭ニ稍似ル也、

其他ハ如何ン、

六三五●又進ノ」又ナル辭ヤ、且爲ス之ヲ」且ナル辭ヤ、至テ」高ノ至ナル辭モ亦皆是類也、

副詞ノ較語ノ法トハ何ゾ、

六三六●ソハ彼者ト此者ト較ヘ云フ者ヲ謂フ也、

例ヲ擧テ之ヲ指南セヨ、

六三七●寧爲ル」雜ロ無爲ル」牛後ト」ノ寧ナル辭ハ、(ムシロ)又(アタツトリナラバ)ト訓ミ、此二句ニ在テ雜ロト牛後

者

蒼曰爲」善ヲ最樂、○」猶素服從」支、○蠻貊之人尚猶嘉」ス子之節ヲ、○比四代」仍襲」爵名ヲ、○」更考經文ヲ、○仰」之ヲ彌高、○信長滋怒」テ、○太史氏又能張」大ス其」支ヲ、

副詞較語ノ例

王獨不」見」夫ノ服」牛ノ驂ヲ驥」乎、●王獨不」見」夫博者之用」梟ヲ耶、世間ノ人ト較ベ云フガ如ク、能ク彼ト此ヲ較ヘ言フ也、

其他ハ如何ン、

六三八●獨ナル辭モ、亦用テ較ヘ語ルノ辭ト爲セリ、世之學者傳習已」ニ久シ」而ル貴陽之士獨リ未タ」之ヲ多ク見ノ」獨ナル辭ノ如シ、因テ之カ解釋ヲ爲セハ、世ノ學者カ傳習已ニ久シケレバ●貴陽ノ士ガ多ク之ヲ見ルハヅナルニ而ルニ貴陽ノ士ハ獨リ未タ多ク之ヲ見ズト、世ノ學者ト貴陽ノ士トヲ較ヘ言フガ如シ、

副詞ノ跨リ語ル法トハ何ソヤ、

六三九●ソハ跨リ語ル云フ也、

跨リ語ルヲ云フ辭ナル亦ノ辭ヲ以テ、兩意ニ

其例ヲ擧ケ示セヨ、

ハ皆之ヲ見タルニ王ハ獨リ之ヲ見サルノ義、●古之人所以大過人者、無他焉、善推其所為而已矣、今恩足以及禽獸、而功不至於百姓者、獨何與、古ノ聖賢ハ皆此心ヲ推シテ帝王ト為タルニ今宣王ハ此心ヲ推シテ帝王トナラサル者ハ獨リ何ソヤノ義、○將游大人以成名乎、寧正言不忌以危身乎、

六四〇● 嗚呼其亦幸而出於三代之後而不見黜於禹湯文武周公孔子也其亦不幸而不出於三代之前不見正於禹湯文武周公孔子也ノ句ニ於テ、両ノ亦ノ字ヲ以テ両義ニ跨リ語ル如シ、

跨リ語ル語法ニ於テハ、第一ノ句ニ於テ亦ノ字ヲ省クヲ以テ常例ト為スカ、

六四一● 曰然リ、先君好馬・王亦好馬・先君好狗・王亦好狗ノ四句ニ於テ、上ノ両句ニ於テハ亦ノ字ヲ省キ、下ノ両句ハ亦ノ字ヲ用フル如シ、

敢ナル辭ハ、何時逆落語ノ位ニ居リ、何時順落語ノ位ニ居ルゾ、

六四二● ソハ不ナル助動詞ノ下ニ居ル時ハ、順落語

副詞ノ跨語例 正人指邪為邪、邪人亦指正人為邪、○義詮亦侍御宴、吾不敢吐情實ノ敢ノ字ハ動詞也、故ニ不敢ハ敢テセズト訓ムヘシ、古來辭ノ辨ヲ知ラザルヨリ、副詞ノ敢モ動詞ノ敢モ皆一樣ニ(アヘテ)ト訓シ來リシハ、

也、即チ吾不敢吐情實ノ敢ナル辭ノ如シ、不ナル助動詞ノ上ニ居ル時ハ、逆落語也、即チ愈敢不吐露情實ノ敢ナル辭ノ如シ、

肯ナル辭ノ逆落ノ位ト順落ノ位モ、亦畧敢ナル辭ト同ジキカ、

六四三● 亦略相同シ、

十五節 前後置詞ノ關係

自ナル前置詞ノ關係ヲ教ヘヨ、

六四四● 自ナル前置詞ハ、常ニ以來ナル辭ヤ以後ヤ以西以東等ノ辭ト對シ呼ブヲ為ス也、即チ道長自往

大ニ非也、不敢ハ則チ（サシテ、セズ）ノ義也、

自ナル辞ノ関係例

自祖父正成以來、○自堯舜已來、○自三四年來、○自天子而下、○自齒朝之士而上、○自陝以西、召公主之、自陝以東、周公主之、

自ト至ナル辞

一條帝以來ト自函嶺以西ノ二句ニ於ケルカ如シ、

其他ハ何ト對シ呼ブゾ、

六四五●至ナル動詞ト對シ呼ブ也、即チ自工部尚書至吏部尚書句ノ至ナル辞等ノ如シ、

自ナル前置詞ハ、時トシテ之ヲ省クアリヤ、

六四六●曰然リ、自函嶺以東ヲ函嶺以東ニ作リ、曜醉墮自馬ヲ曜醉墮馬ニ作ル等ノ如シ、

與ナル辞ノ關係ヲ教ヘヨ、

六四七●與（ヨリ・ナラバ）ハ常ニ寧（ムシロ・フタツトリナラバ）ト對呼スル也、即チ與其殺不辜寧失不經ノ如シ、

以ナル前置詞ハ如何ン、

六四八●以ナル辞ハ、爲ナル辞ト對呼シ、或ハ任ナル

ノ關係ノ例

自京師至吉野、處々置斥候、

自ナル辞ヲ省ク例

飲食寢興皆非自己出、○自平清盛爲相國以降、○自熙寧以來、誤於安石、○自天寶以還、

與ナル辞ノ関係ノ例

辞ト對呼スル也、

以ナル前置詞ハ、常ニ多ク省クカ、

六四九●曰然リ、即チ以頼朝爲總追捕使ヲ常ニ頼朝爲總追捕使ニ作リ、以義經任判官ヲ常ニ義經任判官ニ作ル等ノ如シ、

爲ナル前置詞ハ、何ノ辞ト對呼スルゾ、

六五●助動詞ナル所ノ字ト對シ呼ブ也、即チ宗盛爲義經所擒ノ如シ、

其省略法ヲ指南セヨ、

六五一●或ハ所ナル辞ヲ省キ宗盛爲義經擒ニ作リ、或ハ其關係ノ名詞ト爲ナル前置詞ヲ除キ宗盛所擒ニ作ル如シ、

汝與其敵凡人寧敵王者○與其死於臣之手無寧死於二三子之手乎

以ト爲ナル辞ノ関係ノ例

以縯爲大司徒●以中京寧府爲北京●國以簡賢爲務賢以孝行爲首○以其子頼元任管領

以ナル辞ヲ省

爲ナル辞ト所ナル辞ノ對呼スル者ニ於テ、奇異ナル者有ラハ、請フ焉ヲ指教セヨ、

六五二●上句ニ於テ、其關係ノ名詞ヲ明言スレバ、則チ其下ノ句ハ其關係ノ名詞ヲ省キ、爲ナル辞ト所ナル辞ヲ續ケ云ヒ、以テ其關係スル名詞ヲ含蓄セシムル也、即チ與朱氏爲仇暮年頗爲朱氏所蹙ヲ與朱氏爲仇暮年頗爲所蹙ニ作ル如シ、

十六節　接轉詞ノ關係

接轉詞ノ關係ハ、辞ノ區別ノ段ニ於テ、其関係ノ語ヲ此□ノ如キ圏中ニ收メ、以テ之ヲ示サレタ

ク例

置兵政司王孫栗隈爲長官○鄧禹爲首

爲ト所ナル辞ノ関係ノ例

百濟爲新羅所侵○爲孫程等所立

同省畧例

巨刹皆爲兵火燒○百濟所侵

奇異ナル者例

闓語仁傑曰、朕用卿

リ、是ノ故ニ既ニ之ヲ知ルト雖モ、猶敢テ教ヲ請ハントスル者有リ、即チ則乃以而ノ四字ノ用法是レ也、敢テ問フ而ノ字ト以ノ字ハ互(カハリバン)ニ之ヲ用フルカ、

六五三●曰然リ、凡ソ文章ハ其形貌ノ一様ナルヲ忌ム、故ニ對句ヲ以テ文ヲ行ル時ハ、或ハ上ノ句或ハ下ノ句ニ於テ、一ノ以ノ字ヲ改メ而ノ字ト爲ス、秦皇東游以厭其氣呂后望雲而知所處ノ二句ニ於テ、以ノ字ト而ノ字ノ文ヲ互ニシテ用フルガ如シ、

而ノ字ニ就テ、用法ノ異ナル者有ラハ、則チ焉ヲ示教セヨ、

六五四●ソハ甲ノ説話ヨリ乙ノ説話ニ進ミ移ル時

師德所薦也、仁傑退而歎曰、妻公盛德、我爲妻公所容久矣、

乃ノ字ヲ而ノ字ニ代ヘ用ルノ例

文王九十七乃終、○大夫不拜乃飲、

上ノ句ニ於テ則ノ字ヲ除キ、最下ノ句ニ至リ則ノ字ヲ冒シ斷スル例

況迺翱一時有道而能文者、則莫若韓愈、愈嘗有賦矣、則不過羨一鳥之光榮歎一飽之無時爾、推是心、則使光榮而飽、則不復云矣、

ニ、用フル所ノ而ナル辭也、即チ坡ノ表忠觀碑ノ遂破李景兵取福州而仁佐之弟忠懿王俶又大出兵攻景云々ノ而ナル辭是レ也、此ノ而（ソウシテ・シカウシテ）ハ且ノ字ニ似テ婉ナル甚シ、

丁卯大雨三日乃止ノ乃ナル辭ハ、何ノ字ノ代ニ用ヒシゾ、

六五五●而ノ字ノ代リニ用ヒシ者也、乃ナル辭ヲ以テ往々而ナル辭ト互用ヲ爲ス、則チ是ヲ以テ見ル可シ、則ノ字ヲ斷スル辭トシテ用フル法ヲ教ヘヨ、

六五六●凡ソ說話、即チ文章、其續ケ語ルノ處ニ於テ、宜ク勢テ則ノ字ヲ用フベカラズ、何ナレバ輕ク則ノ字ヲ用フレハ、其斷スルノ處、勢ヲ失ヘハ也、是故ニ其續ケ語ルノ處ニ於テ、雖ヘ數句ナルモ、務メテ則ノ字ヲ用ヒス、其全ク當ニ斷スヘキノ處ニ至リ、則ノ字ヲ下シ之ヲ斷スレハ、必ス勢ヒ有リ、是レ則ノ字ヲ以テ斷スルノ法度也、

則ノ字ヲ以テ斷スルノ句尾ニハ、何ノ歌止詞ヲ以テ其語ヲ止ム可キヤ、

六五七●多クハ矣ノ字ヲ以テ之ヲ止ム、即チ舍之ヲ則夷狄矣ノ矣ノ如シ、其他ハ宜ク其句勢ヲ酌酌シテ斷歌止詞ヲ撰用スヘシ、

十七節　文章ノ關係

句法節法段法篇法等ノ辨ハ、文学篇ニ至リ、當ニ之ヲ詳明ニスヘシ、

余英文ヲ讀ム毎ニ、夫ノ文章家ノ代名詞ト句讀点ノ作用ヲ以テ巧ニ許多ノ

文章トハ何ナル者ヲ云フゾ、

六五八● 其説話ヲ叙スルニ於テ、其長ト短トニ拘ハラズ、能ク一體ヲ備ヘタル者ヲ謂フ也、

句トハ何ゾヤ、

六五九● 宜ク一氣ニ讀ム可キ者ヲ謂フ也、故ニ短キ一字ナル有リ、長キハ四十字餘ニ至ル者有リト雖モ、皆宜ク之ヲ一氣ニ讀ムベシ、

句法ニ幾何ノ別有ルゾ、

六六〇● 短句法長句法四字句法對句法等是レ也、

句讀トハ何ゾ、

六六一● 一氣ニ讀ム可キノ符號是レ也、

讀(トウ)トハ何ゾ、

字句ヲ省クヲ嘆美セサル無シ、我邦ノ文章ノ如ク、唯短キヲ恐レ飽マテ説破スルヲ以テ務メト爲スノ文章ニ於テハ、句讀点ハ贅物ノ如クナレ𪜈、余所謂古文章ニ於テハ、句讀点ノ作用、實ニ與リテ力有リト謂フ可シ、學者其レ諸ヲ

六六二● ソハ一句ノ中ニ於テ、宜ク別ツベキ者有ル時ニ用フル所ノ符號ヲ謂フ也、

句讀点ヲ批(ウツ)ノ正則ヲ教ヘヨ、

六六三● 正則ニ二有リ、一ハ則チ多褹。夜久。菴美。度感人來貢ノ如ク、讀ニハ白圓点ヲ用ヒ、句ニハ黒圓点ヲ用フ、一ハ則チ多褹。夜久。菴美。度感人來貢ノ如ク、讀ノ白圓点ハ字間ニ嵌入シ、句ニ至テハ常ノ如クスル也、

變則ハ如何ン、

六六四● ソハ則チ多褹夜久菴美度感人來貢ノ如シ、

句讀点ニ圓点ヲ用ヒスシテ、批点ヲ用フル者有リヤ、

六六五● 曰有リ、即チ多褹、夜久、菴美、度感人來貢ハ如シ、

忽ニス可ケンヤ、
句法ノ辨ト句ヲ作
ルノ方法等ノ如キ
ハ、文學篇ニ至リテ
焉ヲ詳悉ニス可シ、

文學トハ作文ノ方
法ヲ闡明スルノ學
ヲ謂フ、今乃チ我國
曽テ此一學科無キ

本編ニ於テ用フル所ノ句讀ノ点式ハ如何ン、

六六六● ソハ多襍夜久菴美度感人來貢ハ如ク、讀ニ
ハ黒点ヲ左傍ニ用ヒ、句ニハ朱点ヲ右傍ニ施シタリ、

文章ニ於テ句讀点ヲ用フルハ、只一句ノ句切ヲ
指南スル爲メノミカ、

六六七● 曰然リ然リト雖モ大文字ニ在テハ、常ニ句
讀点ノ作用ヲ以テ、許多ノ字句ヲ省クヲ得ル也、故ニ
大文字ヲ作ル者ハ、實ニ句讀点ヲ以テ金玉視スル也、

岡氏之支那文典巻之下終

48-13451

ハ、實ニ文明ノ一大
關玷也、吾向ニ覚ル
有リ、腹稿既ニ成ル、
因テ作文学ノ一新
科ヲ設ケ、常ニ之ヲ
塾生ニ講授ス、然モ
新学ヲ創成スルノ
難キハ、嶮山ニ上ル
ヨリ甚シ、抑ナガラ
來年ヲ期シ、努テ文
学篇ヲ發兌ス可シ、

参校者
栗原松四郎
門人 千馬武雄
安藤幸太郎
橋本馬之助
宮川宗一郎

明治十九年十二月三日版權免許
同　二十年一月十五日出版發售

編輯兼出版人　東京府平民　岡　三慶
京橋區元數寄屋町三丁目壱番地

出版人　東京府平民　出雲寺萬次郎
日本橋區横山町一丁目壱番地

賣捌所　相生社
京橋區元數寄屋町三丁目壱番地

○二十三年近ニ在リ、三慶岡先生因テ斯文ノ振ハザルヲ慨シ、今般至速大成ノ新法ヲ案シ、作文学用字学文典学文章学ノ四課ヲ設ケ之ヲ口授シ、且文章ヲ添削スルノ義務ヲ躬自ラ盡シ玉フ也、故ニ文章ノ添削ヲ請フ者ハ、先ヅ束脩金貳圓ヲ納メ、而シテ後三百字以下ノ文ハ拾銭、七百字以下ハ貳拾銭宛ト、其文ヲ返スノ郵便切手ヲ添ヘ、相生社へ向ケ送ル可シ、且入塾セント欲シ、塾則ヲ望ム者ハ、貳銭ノ郵便切手ヲ送リナバ、則チ規則書ヲ呈ス可シ、

岡三慶先生著書既鐫價格表

一辞千金　作文秘訣　一冊　原價二十銭
該書ハ文ヲ作ル工夫ノ仕方、惡シキ文ヲ善ク為ス法等凡ソ作文ノ秘訣蘊奥ヲ懇篤ニ指南セシ者ナリ、

大學講義　全二冊　原價三十銭
孟子講義　全四冊　原價八十銭
該二書ハ先生得意ノ新見ヲ振ヒ、雄豪ノ大筆ヲ鼓シ陳註腐説ヲ一掃シ以テ本文ヲ詳解シ文法ノ蘊奥ヲ説明セシ者也、

唐宋八大家文法明辨　初篇八冊自韓至欧　原價一円八十銭
該書ハ文法ノ奥秘ヨリ、行文ノ巧拙及ビ價作等ニ至ルマデ、詳明ニ説明シ、寔ニ文法明辨ノ名肯カザルノ書ナリ、

唐宋八大家講義　九冊自韓至柳　原價二円二十銭
該書ハ本文ヲ詳解シ、且文法ノ奥義ヲ説ク者也、

文章軌範文法明辨 自初篇至五篇合十一冊 原價二円八十五錢

該書ハ古人文法ノ奥秘ヲ闡明シ、作文ノ方ト讀書ノ法トヲ、懇切詳細ニ指南セシ者ナリ、

上等作文五百題 三冊 原價七十六錢

該書ハ岡先生ノ文章ヲ雅文体トナシ、句讀ヲ正シ、節段ヲ明ニシ、至テ讀ミ易キ書ナリ、

開卷驚新 **作文用字明辨** 一冊 原價六十六錢

該書ハ起辞接辞進辞轉辞襯辞歇辞等ニ至マテ、博引詳釈シ、以テ其用法ヲ明ニ指南セシ者也、

名家作文五百題 一冊 原價二十二錢

該書ハ日本名家ノ文ヲ集メ、評点ヲ施シ、巧拙ヲ拆チ、文法ヲ指南セシ者ナリ、

復文必携 **三慶文抄** 二冊 原價四十二錢

該書ハ上等作文五百題ノ原本也、故ニ上等作文ヲ復文スルノ照會ニ能キ書ナリ、

初學文法圖解 一冊 原價二十三錢

該書ハ作文ノ法ヲ図ヲ以テ指南セシ者ナリ、故ニ初学文法ヲ悟ル、是ヨリ善キハナシ、

開卷驚奇 **震世文體明辨** 四冊

該書ハ先生新著ノ奇文大作ニシ、文章ノ體格ヲ區分シ、法度ヲ明弁シ、学者ヲシテ一目以テ其法度体格ヲ悟入スルヲ得セシム、且上欄ニ文ノ種子八種ヲ集載シ、以テ作文ノ用ニ供ス、故ニ一回之ヲ通読歴看スレバ、三尺ノ童子モ猶能ク文章家タルヲ得ベシ、況ヤ五尺ノ大男子ニ於テヲヤ、

文法七十七則指南 一冊 原價二十錢

該書ハ作文七十七ノ規則ヲ闡明セシ者ナリ、

茲ニ原價ト云フハ定價ヲ大減セシ者ニテ、此價格表ノ如ク御送金アレバ、府ノ内外ト無ク、郵税ヲ受ケズ送附ス可シ、

發賣所 出雲寺萬次郎

松栢堂出版發售書目錄

○續唐宋八大家文讀本 全十二冊 正價金一円五十錢

○増補 啓蒙正文章軌範 猪野中行辨義 全六冊 定價金一円十錢

○初學日本文典 物集高見著 全二冊 定價金六十五錢

○小學文例 佐治次太郎編輯 全二冊 定價金五十錢

○文章義解 塩野入安編輯 全二冊 定價金五十五錢

○小學教官 普通用文 福城駒太郎編 全一冊 定價金四十錢

○小學女子作文捷徑 大島東陽著并書 全一冊 定價金三十錢

○養蠶新論 田島弥平著 前續 全五冊 定價金一円卅二錢五厘

○算法新書 長谷川善左衛門閲 大本 全一冊 正價金五十錢

○皇朝史略質問錄 子安信成編輯 全三冊 定價金四十錢

○鼇頭類語記事論説 簡牘軌範 小笠原勝修編輯 全二冊 定價金六十錢

○致富新論譯解 中島雄讃并逸三同訳 全三冊 正價金三十錢

○開明小學千字文 大島尭田編并書 全一冊 定價金二十錢

○脩身子守話 竹内無覚著 全一冊 定價金十五錢

諸國賣

西京三條通　出雲寺文次郎
仝大文字町　田中治兵衛
大坂北久太郎町　柳原喜兵衛
仝南久宝寺町　前川善兵衛
仝心無橋通　松村九兵衛
仝本町四丁目　岡島真七
仝北久太郎町　辻本信太郎
尾州名古屋　永樂屋東四郎
遠州濱松　白木健造
駿州静岡　廣瀬市造
甲州山梨　内藤傳右衛門
上総大多喜　江澤金五郎
仝長南　石塚竹次郎
仝東金　能勢嘉右衛門
仝長者町　青柳周藏
仝磯ヶ谷　内藤幸七

房州龍嶋　宗村正興
仝北條　山下常
下総野田　茂木林藏
仝流山　博文堂
仝麥丸　櫻屋幸七
仝布佐　榎本治郎右衛門
仝佐原　朝野利兵衛
仝千葉　藤屋錠次郎
常州江戸嵜　和泉屋半兵衛
武州鴻ノ巣　長島爲一郎
美濃岐阜　三浦源介
上州高崎　後藤鋼吉
信州長野　西澤喜太郎
越後長岡　目黒十郎
仝三條　樋口小左衛門
陸前仙臺　伊勢屋安右衛門

捌書肆

日本橋通一丁目　須原屋茂兵衛
仝二丁目　山城屋佐兵衛
芝三島町　山中市兵衛
日本橋通二丁目　小林新兵衛
仝三丁目　丸屋善七
仝　開成堂
仝四丁目　江島伊兵衛
仝　牧野善兵衛
仝　和田篤太郎
南傳馬町一丁目　吉川半七
仝二丁目　小林新造
銀坐二丁目　山中孝之介
仝四丁目　博聞社
芝宇田川町　内野彌平治
日本橋通一丁目　大倉孫兵衛
本町二丁目　柳川梅次郎

本町三丁目　原亮三郎
大傳馬町二丁目　内田芳兵衛
通旅籠町　東生亀次郎
新大坂町　小林喜右衛門
通油町　水野慶治郎
馬喰町二丁目　石川治兵衛
若松町　榊原友吉
横山町二丁目　内田彌兵衛
仝三丁目　辻岡文助
仝　高橋松之助
浅草茅町　北澤伊八
仝廣小路　浅倉屋久兵衛
池ノ端仲町　岡村庄介
神田松住町　別所平七
仝表神保町　中西屋邦太
富澤町　片山金三郎

010190528796